

シ處置ノ遺漏ナキ様注意スヘシ

第六條 局長ハ屬ノ内書記一人乃至二人ヲ命シテ内密ノ文書ヲ取扱ハシメ及文書往復等總テ局中ノ庶務ヲ擔當セシムヘシ

第七條 各局ニ配送スル文書ハ往復課ヨリ各局書記ニ授付シ書記ハ先ツ之ヲ局長ニ差出シ局長ハ査閱ノ上各課ニ配付シ其緩急ヲ示シ處分方ヲ授ケテ速ニ之ニ從事セシムヘシ

第八條 各局長ニ於テ發議ノ意見アルトキハ口頭ヲ以テ大臣ニ具陳シ又ハ案ヲ具ヘテ大臣ノ決裁ヲ請フヘシ

第九條 往復課ニ於テ決裁濟ノ文書ヲ受クルトキハ直ニ淨寫校正シ課長之ニ檢印シテ即日達方ヲ取扱ハシムヘシ若シ文書輻湊シテ即日運ヒ難キトキハ課長ニ於テ其前後緩急ヲ示シ成ルヘク速ニ施行セシムヘシ

第十條 凡ソ文書ハ本省ニ到來スルヨリ施行濟ニ至ル迄何日何局ニ送何日何局ニ戻リタルヤヲ明ニシ何時タリトモ直ニ文書ノ所在ヲ知り得ルヲ要ス其取締ハ往復課并各局書記ノ擔任ナリトス

第十一條 文書ノ急施ヲ要スルモノ及内密ノ取扱ヲ爲スヘキモノハ「急」又ハ「秘」ノ印ヲ捺シ取扱ノ際特ニ注意ヲ要ス

第十二條 内密文書ハ各局ニ於テハ書記又ハ局長ノ指定スル者ノ外取扱フコトヲ得ス但往復ノ順序ハ常例ニ準スト雖モ其取扱主任者ニ於テ自ラ携帶シテ受授スルカ又ハ嚴封ヲ以テ送付スヘシ

第十三條 凡ソ文書ハ各局ニ受付タル日ヨリ五日以内ニ處分案ヲ具ヘテ往復課ニ回付スヘシ其合議ニ係ルモノハ三日以内ニ往復課ニ回付スヘシ若シ取調ノ爲メ期限内ニ回付スルコト能ハサルモノアルトキハ豫メ局長ヨリ次官ニ申告シテ其允許ヲ受ケ且之ヲ往復課長ニ通知スヘシ

第十四條 各課員ハ他課ノ事務多端ニシテ助手ヲ要スルトキハ上官ノ指圖ニ依リ本務外ノ事タリトモ之ニ從事スヘシ

第十五條 事務ニ服スヘキ時限ハ時々ノ達ヲ以テ之ヲ定ムト雖モ事務繁多ナルトキハ上官ノ指圖ニ依

リ定時限外夜中迄モ服務スヘシ

第十六條 臨時事務多端ニシテ常員ヲ以テ事務ノ處辨ニ差支アリト認ムルトキハ局内各課ノ人員ヲ以テ繰合セ助手セシメ局内ノ繰合ヲ以テ處辨シ難キトキハ總務局長ニ申立テ他ノ局員ヲ以テ助手タラシムルコトヲ得

第十七條 省中各局ノ事務室ハ本省官吏ノ外各局長ノ許可ヲ得スシテ室内ニ入ラシムルコトヲ得ス

第十八條 各局所管ノ書類ハ公務ノ外局長ノ許可ヲ得スシテ他人ニ示シ又ハ寫帖ヲ與フルコトヲ得ス

第十九條 各員日々退出ノ時ハ取扱ノ書類物品ヲ取纏メ散亂セサル様嚴重取締スヘシ

法規分類大全

官職門九

官制

内務省二

記録課職務掛ヨリ大丞へ伺 七年一月十日

分課順序如何相立可然哉相伺申候

庶務課

一 往復課

二 受付課

三 用度課

五 記録課

○課名ノ上ノ数字ハ大丞ノ決スル所ナリ

内務省第一次年報節録

明治七年一月十日開省ノ際卿輔所在ノ官房ヲ上局ト稱シ大小丞總テ局中ニ在テ一切ノ事務ヲ掌理シ卿輔書記一員ヲ置ク是時ニ方テ職務ノ事項記録課中ニ在リ

内務省ヨリ各寮局へ達 七年一月十九日

當省職務掛ノ儀是迄記録課中ノ一分課ニ有之候處自今更ニ職務課相設候條爲心得此旨相達候也

内務省ヨリ各寮司課へ達 七年一月二十七日

本省中主計課ヲ置候條此旨爲心得相達候事

内務省ヨリ各局課へ達 七年十一月十五日

當省中兼テ設置候各課ヲ廢シ更ニ別紙ノ通局課ヲ開設候條此段相達候也

内務省分課

七年十一月十五日局課ヲ改置ス

卿輔所在ノ官房ヲ上局ト稱ス

九年四月二日卿輔附ノ稱呼ヲ廢シ書記職務掛ヲ置ク

職務課ヲ置ク

七年十一月十五日各課ヲ改置ス

主計課ヲ置ク

七年十一月十五日局課ヲ改置シ第四局之ヲ置ス

省中各課ヲ改置ス

八年五月三十日局課ヲ改置ス

(別紙)

第一局 分テ三課ト爲ス

第一課 職務

- 一 諸官員ノ職務進退ニ屬スル文書官記及身上ニ屬スル願伺届等取扱之事
- 一 出勤簿ヲ調査シ勤惰表ヲ制スル事
- 一 諸官員ノ履歴及ヒ住所ヲ明カニスル事
- 一 省中及府縣ノ官員録ヲ整頓シ其人員ヲ分明ニスル事
- 一 官員ノ黜陟轉任ニ付院省其他ヘ往復スル文書及ヒ諸辭令委任狀等ヲ書記スル事
- 一 府縣奏任官ノ呼出狀ヲ作り之ヲ傳達スル事
- 一 府縣奏任以上ノ官員出京赴任或ハ歸省養痾等ヲ明瞭ニスル事
- 一 祝日拜賀ノ官員名簿取扱ノ事
- 一 昇降時限ヲ改定スルルハ省中一般ヘ通達スル事

第二課 内書記

- 一 凡ソ事ノ創造變更ニ係ルモノハ卿輔ノ命ヲ受ケ之ヲ審議シ或ハ其法案ヲ起草スル事
- 一 卿輔ノ命ニヨリテ諸上達ノ公文及院省其他ヘ往復スル翰牘府縣ヘ布達ノ文書等ノ草案ヲ起ス事
- 一 本省管主ノ事務實際振擧セサルアレハ其理由ヲ細察シ其得失ヲ審案スル事
- 一 事ノ會集熟議ヲ要スルルハ其旨趣ヲ卿輔ニ開申スル事

第三課 外書記

- 一 院省使ノ往復ノ文書ヲ淨書スル事
- 一 府縣ノ申牒ヘ指令ヲ淨書スル事
- 一 府縣ノ布達スル文書ヲ淨書シ或ハ之ヲ印刷ニ附スル事
- 一 省中各寮局ヘ達書及回文等取扱ノ事

七年十二月二十三日第一局第二課章程中ニ一項ヲ追加ス

八年一月二十五日第一局中ニ第四課ヲ置ク

一本省ノ印章ヲ管護スル事

第二局 分テ三課ト爲ス

第一課 囚獄 懲役

- 一 囚獄懲役場ニ關スル一切ノ規則ヲ取扱フ事
- 一 囚獄懲役場諸費ノ事
- 一 囚人護送費ノ事
- 一 牢醫牢番監使劊子等ノ給料増減ノ事
- 一 所刑ニ付テノ諸費ノ事

第二課 庶務

- 一 民費賦課ヲ取調ル事
- 一 賦金取調ノ事
- 一 府縣ヨリ申請スル條件各寮局ノ主務ニ屬セサルモノヲ成規例格ニ照シテ指令ノ草案ヲ作ル事

第三課 琉球

- 一 諸願伺届等ヲ調査シ指令ノ考案ヲ起草スル事
- 一 諸布告布達ノ類ヲ下附スル事
- 一 該藩ニ係ル一切ノ事務取扱ノ事

第三局 分テ三課ト爲ス

第一課 圖書

- 一 凡ソ政事典型風俗人情ヲ徵スヘキ書類ハ古今ノ別ナク一切集收シテ之ヲ保存スル事
- 一 諸詔勅諭旨法度條例決議及ヒ回達等ヲ類聚シ之ヲ收藏スル事
- 一 布告日誌及諸省ノ布達ヲ整置スル事
- 一 各寮局ノ需ニ應シテ所藏ノ書籍ヲ貸付スル事

第二課 編纂

- 一回議原書及一切ノ公文ヲ類別編纂シ參考ニ便ナラシムル事
- 一本省布達全書及日誌ノ蒐輯出版ノ事
- 一法例ノ改正増加アルキハ其順次ニ從テ本書ヲ添削シテ參考ニ便ナラシムル事
- 一各寮局ノ月報考課狀ヲ集成スル事

八年五月三十日第三局ヲ
區半開辦ノ事ヲ管ス

本省需要ノ事件ニ付歐米諸國ノ成範定範ヲ和譯シ以テ施政諸務ノ資トスル事

第四局 分テ三課トス

第一課 検査 精算 傳票

- 一各寮局ノ章程成規ヲ詳識シ一切金穀ノ出納ヲ檢シ其當否ヲ調査スル事
- 一各寮ノ經費勘定帳ヲ成規ニ照シテ精算スル事
- 一毎月毎歲一切經費ノ金穀ヲ既定ノ費目ニ依據シテ類別編算シ以テ總括勘定帳及總計表ヲ製スル事
- 一金穀受納ノ證書及傳票取扱ノ事

第二課 出納

- 一卿輔ノ決判傳票ニ照シテ金穀ヲ出納スル事
- 一詳細ナル出納日計簿ヲ作り月表年表ヲ製スル事

第三課 用度 修繕

- 一省中ノ常用品物ヲ購求シテ需用ニ充ルル事
- 一諸官員ノ月給雇ノ給料及旅費等ヲ支給スル事
- 一諸收入稅取扱ノ事
- 一買辦支給セシ物價品數ヲ明細ニスル事
- 一本省各寮局所轄ノ地券及地租區入費取扱ノ事

一省中諸修繕事務取扱ノ事

(備考)

内務省届 七年十二月二十八日
先般御届仕置候通本省中從前之各課ヲ廢シ更ニ局課ヲ開設仕候ニ付少丞之内ニテ局長相心得事務爲取
扱候依之別紙相添此段御届申上候也

- 第一局長 武井少丞
- 第二局長 北代少丞
- 第三局長 新田少丞
- 第四局長 松平少丞
- 第一局兼務
- 第四局兼務
- 第一局兼務

内務省ヨリ各寮局ヘ達 七年十一月十八日

規則草案取調所事務自今第一局第二課ニ於テ取扱候尤規程ノ義ハ從前之通可相心得此旨相達候事

○規則取調所ハ七年七月四日置ク所ナリ下ノ取調局ノ部ニ職ス

内務省達 七年十二月二十三日

一凡省中ノ事務正院ノ裁下ヲ經ヘキモノ其他重大ノ條件ハ卿輔ノ命ニ應シ之ヲ勘査スル事
右之通第一局第二課章程中ヘ追加候條此旨相達候事

内務省ヨリ各寮局ヘ達 八年一月二十五日

今般府縣東京出張所被廢候ニ付本省第一局ヘ第四課ヲ置キ來ル二月一日ヨリ右事務取扱候條此旨相達
候事

第一局第二課中規則草
案取調所事務ヲ管ス

八年五月三十日局課ヲ改
置ス

第一局第二課章程中追
加

八年五月三十日局課ヲ改
置シ分掌ヲ改ム

第一局中第四課設置
府縣出張所ハ三年三月置
ク府官職門地方廳設置ニ
應ス
八年五月三十日局課ヲ改
置ス

第一局第四課假處務順序
八年二月十四日總務部
ヲ改正ス

- 第一局第四課假處務順序 八年一月二十八日
- 第一則 府縣ヨリ郵達セシ申牒書類ハ之ヲ領收展檢シ其件名ト領收セシ月日トヲ詳細ニ詳記シ其上包ニ課長檢印ノ上第三課ヘ回送シ證印ヲ徵スヘシ
 - 第二則 府縣ヨリ納金ヲ郵達スルハ第一則ノ如ク詳細ニ牒録シ上包ニ課長檢印ノ上直ニ其主務ノ寮局ニ附シ確受ノ證印ヲ徵シ更ニ收受ノ證書ヲ得テ其府縣ヘ郵送スヘシ
 - 第三則 諸願同等ノ指令布達ヲ第三課ヨリ送及セハ之ヲ帳記シテ後チ各府縣ヘ郵送スヘシ
 - 第四則 各寮局ヨリ府縣ヘ下付スル金員ハ之ヲ收受シ牒簿ニ詳録シテ後チ郵便ヲ以テ送達スヘシ
 - 第五則 各寮局ヨリ直ニ府縣ヘ推問督促等ノ文書ハ其長官ノ決判ヲ證シテ之レヲ領受シ第三則ノ手續ヲナスヘシ
 - 第六則 府縣官員出京歸縣ノ屆書ハ之ヲ領受シテ第一則ノ如クシ別ニ便覽名票ヲ掲ケテ照會ニ備フヘシ
 - 第七則 貼用ノ郵便印紙ハ第四局ヨリ請取り毎月遣拂ノ金額ヲ統計スヘシ
 - 第八則 申牒指令等ノ員數ハ類別統計シテ毎月第三課ト照會シ別ニ稽緩目錄ヲ製シテ同課ヘ督促スヘシ
 - 第九則 府縣ヨリ願同等指令ノ催促ヲ要シ來ルルハ其主任ノ各寮局ニ就キ直ニ其滯留ヲ督促スヘシ
 - 第十則 府縣官員東京ニ於テ新任ノ者月給旅費一時ノ繰替ヲ要スルルハ其長官ノ上申書ヲ添附簿ニ稟請シ決判ヲ得テ第四局ヘ回附シ金員ヲ受取相渡シ領受ノ證ヲ徵スヘシ追テ返納ノ節モ同様ノ手續ヲ以テ第四局ヘ還納スヘシ
 - 第十一則 各府縣ヨリ當府下ヘ寄留ノモノヘ家祿奉還金公債證書等交付ノ如キハ大藏省ヨリ之ヲ受取本人ヘ下付スヘシ
 - 第十二則 府縣ヨリ申牒等確實ノ證書ヘハ內務省ト刻シタル印ヲ局長面前ニ於テ捺シ郵便ニ付スヘシ
- 內務省第一局議案 八年一月二十八日

往復規程ハ府縣往復規程
ナリ文書同受付ニ載ス

第一局第四課處務順序
改正

八年五月三十日局課ヲ改
定シ擔任ノ事務ヲ定ム

今般第四課設立相成候ニ付テハ往復規程ヲ章程ト見做シ右ニ準據シ別紙ノ通處務順序供同覽候猶又追々實際ニ就キ加除可仕ト存候此段相伺候也

- 第一局第四課處務順序 八年二月十四日
- 第一則 本課中事務ヲ部分シテ庶務、金穀交付、往復ノ三掛ヲ置テ之ヲ辦理セシム
 - 第二則 各府縣ヲ六分シ其部内ノ官員ハ彼我ノ別ナク相互ニ申合セ事務ニ從事スヘシ
 - 第三則 府縣ヨリ郵達セシ申牒書類ハ往復掛之ヲ領收展檢シ其件名ト領收セシ月日トヲ詳細ニ帳記シ其上包ニ課長檢印ノ上第三課ヘ回送證印ヲ徵スヘシ直披親展等ノ脇書アラハ披封ヲ許サス
 - 但往復規程各地到達以前舊出張所宛ニテ差越ス分ハ本課請各府縣官員ニテ披封シ各廳エソ申牒書類ハ往復掛ヘ出スヘシ往復掛之ヲ受ケ各廳宛ノ書類ハ其官省ヘ送付スヘシ
 - 第四則 府縣ヨリ納金ヲ郵達スルハ第三則ノ如ク詳細ニ牒録シ課長檢印ノ上直ニ金穀交付掛エ送付證印ヲ徵スヘシ
 - 第五則 金穀交付掛ニテハ往復掛ヨリ受ケタル該縣府納ノ事由ヲ登錄シ正金或ハ爲替手形ハ第一國立銀行ノ預證券ニ交換シ大藏省納ノ分ハ假ニ納入證書ヲ徵シ追テ順序ヲ經テ本納スヘシ他官省エ回納ノ分ハ假ニ第四局エ預ケ置帳記整頓ノ上其省ヘ送附證書ヲ徵ス可シ
 - 但金穀請納トモ事務取扱ノ各員往來辦理スヘシ
 - 第六則 各官省ヘ金穀納濟ノ證書ハ交付掛ニ於テ取纏メ往復掛ヨリ其府縣ヘ郵送スヘシ
 - 第七則 各官省ヨリ各府縣ヘ授與スル公債證書及ヒ金穀交付ノ通知アラハ局長及課長領收ノ證書持參其官省ヘ出頭之ヲ請取ヘシ
 - 第八則 第七則ノ金額正金ニテ其府縣ヘ郵送スル陸運會社或ハ飛脚蒸氣船便ニ附托スル如キハ兼テ危險保證ノ條約ヲナシ置クヘシ爲替流通スルノ府縣ハ其爲替手形ニ交換第六則ノ如ク往復掛ニテ書留ヲ以テ郵送スヘシ

乙第十二號ハ出京歸縣届出方ノ達ナリ文書門交付ニ載ス

- 第九則 府下寄留ノ者ヘ附與スヘキ公債證書及ヒ金額ハ帳簿ヘ詳記東京府官員呼出シ下付證印ヲ徵スヘシ
- 第十則 諸願同等ノ指令布達ヲ第三課ヨリ送及セハ往復掛リ之ヲ帳記シテ課長檢閱ノ後其府縣ヘ郵送スヘシ
- 第十一則 各府縣長次官及ヒ奏任以上ノ内臨時御用ニテ出京スルアレハ第十則ノ手續ヲナサズ乙第十二號布達ニ照常該止宿所ヘ回達スヘシ
- 第十二則 各寮局ヨリ各府縣ヘ授與スル金員ハ金穀交付掛之ヲ收受第八則ノ手續ヲ以テ郵送スヘシ
- 第十三則 各寮局ヨリ直ニ府縣ヘ推問督促等ノ文書ハ其長官ノ決判ヲ證シ第十則ノ手續ヲナスヘシ但各寮局ヨリ披封ニテ往復掛ヘ送付アルヘシ
- 第十四則 府縣官員奏判ヲ不問出京歸縣届同ノ如キハ第三課受付押印ノ上回送アラハ諸務掛ノ擔當トシ別ニ便覽名票ヲ掲ケテ照會ニ備フ可シ
- 第十五則 第十則ノ指令布達ヲ郵送スル別ニ帳簿ヲ制シ其縣名ヲ一廉限リ登錄シテ郵便所ヘ送付スヘシ同所於テ廉限エ其書ノ量目ヲ記載シ來ラハ每一月其稅額ヲ合算別記課長檢印ヲ要シ帳簿ト共ニ第四局エ達スヘシ四局ニ於テハ是ヲ證トシ金額ヲ郵便所ヘ償還ス
- 但指令等ヲ摘錄スル原簿ト郵便所ヘ送付スル帳簿ヘ合符ヲ記シテ後證ニ備フ
- 第十六則 事至急ニ涉リ電報ヲ要スルアレハ其事由ヲ開申所分ノ後其費額ノ如キハ直ニ電信局ノ證書ヲ徵シ第四局ヘ回送スヘシ
- 第十七則 各府縣官員ヨリ該長次官エ申牒スルノ事件アラハ課長閱覽ノ後往復掛ヨリ之ヲ郵送スヘシ
- 第十八則 申牒指令等ノ員數ハ既濟未濟ヲ類別統計シテ毎月第三課ト照會シ別ニ稽緩目錄ヲ製シテ同課ヘ督促スヘシ
- 第十九則 府縣ヨリ願同等指令ノ督促ヲ要シ來ルアラハ其主務ノ寮局ニ就キ直ニ其淹滯ヲ督促スヘシ
- 第二十則 府縣官員東京ニ於テ新任ノ者月給旅費一時ノ操替ヲ要スルハ諸務掛之ヲ擔當第四局 合評 御輔

省中各局ヲ改置シ職務ヲ定ム
九年一月四日分課ヲ改置シ四月二十日省中事務分掌ノ制ヲ定ム

八年七月十二日第二局中各掛ヲ改置ス

- ニ稟請決判ノ後第四局ヘ回付之ヲ受取本人ニ附與領受ノ證ヲ徵スヘシ追テ返納ノ節モ順次ヲ經テ第四局ヘ還納スヘシ
 - 第二十一則 本課中於テ需用スル筆紙墨ヲ始メ其他ノ庶務ハ一切諸務掛リ擔任スヘシ
- 内務省第一局議案 八年二月十四日
第四課處務順序先ツ別紙ノ通御決定相成度追々實地ニ就キ加除スヘキ廉々モ可有之候得共差向此段相伺申候御決議ノ上ハ各寮局ヘ爲心得通知候様ニ仕候
- 内務省達 八年五月三十日
本省中兼テ設置候各局ヲ廢シ今般更ニ別紙ノ通六局ヲ開設候條此旨相達候事
但來ル六月二日ヨリ施行候事
- (別紙)
- 第一局 諸務
- 一 御輔ノ命ヲ稟ケ本省中一切ノ庶務ヲ擔任シ官省往復府縣布達ノ文案ヲ起草ス
 - 一 囚獄懲役民費賦金蓄穀地方營繕地方官員廳費ノ増減臨時支給等ノ如キ各府縣ヨリ稟議請問スル條件總テ各寮ニ關セサルモノ成規ニ準據例格ニ照會シ指令文案ヲ作り常務ヲ辨理ス
 - 一 行政裁判ニ屬スル事務ヲ調理シ及ヒ歌吹音曲演劇諸遊觀場其他人民風俗ニ關スルノ件々其利害ヲ商量シ成規ニ照シテ考案ヲ草ス
 - 一 琉球藩務ニ係ル一切ノ事ヲ查辦ス
- 第二局 記錄
- 一 諸詔勅諭法度條例決議原書諸廻達一切公文ヲ類別編纂シ政事典型風俗人情ヲ徵スヘキ古今ノ圖書ヲ收集シテ之ヲ保存スヘシ
 - 一 太政官日誌布達及ヒ諸省布達日誌ヲ整置シ及ヒ本省布達全書日誌ヲ蒐輯出版スヘシ
 - 一 諸決議書ヲ謄寫シ主務ニ送付スルノ務ニ屬ス勉メテ誤寫阻滯ナキヲ要ス

九年一月四日勅諭詳テ附ク

- 一 法例ノ改正増加アル本書ヲ刪正シ及ヒ藏ズル所ノ書籍ヲシテ各寮各局需要ニ供シ參考ニ便ナラシムルヲ要ス
- 一 省中處分セル條例細大トナク部分シ詳明ナル月報考課狀ヲ作り卿輔ニ呈スヘシ

第三局 翻譯

- 一 本省需用ノ事件ニ付歐米各國ノ成範定規ヲ和譯シ以テ施政諸務ノ資トシ或ハ外國人往答ノ文書ヲ譯成スルヲアルヘシ

第四局 用度

- 一 卿輔ノ決判傳票ニ照シ金穀ヲ出納シ省中常用ノ物品ヲ購求シテ各所ノ需用ニ供シ及ヒ諸修繕ノ事ヲ擔任ス

- 一 諸官員ノ月給雇給及ヒ旅費滿年賜金等ヲ定規ニ照シテ支給スヘシ

- 一 諸收納ヲ管理シ及ヒ地方官赴任旅費貸與返納等ノ事ヲ查辦ス

- 一 本省及ヒ各寮局所轄ノ地券地租區費等ヲ辦理ス

- 一 金銀出納日計簿ヲ作り月表年表ヲ製シ買辦支給セシ品數物價ヲ詳明ニスル事

- 一 各府縣ヘ送致スル金穀及還祿資金及ヒ公債證書等往復規程ニ準據シテ辦理スヘシ

第五局 主計

- 一 各寮局ノ章程成規ヲ詳識シ一切金穀ノ出納ヲ檢シ其當否ヲ調査スル事

- 一 各寮局ノ經費勘定帳ヲ成規ニ照シテ精算スル事

- 一 毎月毎歲一切經費ノ金穀ヲ既定ノ費目ニ依據シテ類別編算シ以テ總括勘定帳及總計表ヲ製スル事

- 一 金穀受納ノ證書及傳票取扱之事

第六局

- 一 天造人工ノ諸物品ヲ網羅蒐集之ヲ陳列シテ縱觀セシメ古今ノ沿革ヲ徵考シ將來ヲ勸奨スヘキ一切ノ事ヲ調理ス

往復規程ハ文書門受付ニ載ス

卿輔附屬書記

- 一 卿輔ノ命ニ隨テ文案ヲ制シ答議ヲ草シ正院上達官省府縣ノ往復等凡テ公私ニ拘ハラステ命アルモノ

- 一 ヲ調理スト雖モ何レモ秘書樞密ニ涉ルヲ以テ嚴ニ漏洩ヲ戒ム

- 一 院省ノ布達其外管スル所ノ簿冊ヲ類別編纂シテ卿輔ノ參覽ニ便ナルヲ要ス

職務

- 一 諸官員職務進退ニ屬スル文書官記諸辭令委任狀拜賀名簿等ヲ書記シ及ヒ官員黜陟ニ係ル院省其他ノ

- 一 往復スル文書ヲ書記スル事

- 一 省中及ヒ府縣ノ官員錄ヲ整頓シ其人員ヲ分明ニシ卿輔參覽ノ便ニ備フヘシ

- 一 府縣奏任官以上ノ呼出狀ヲ作り之ヲ傳達シ或ハ出京赴任或ハ歸省養病等ノ申牒ヲ領收登錄シ之ヲ處

分ス

- 一 各官員出勤簿ヲ製シ勤惰ヲ明ニシ之カ表ヲ製ス

- 一 昇降時限ノ改定アル等省中一般ヘ傳達スル等卿輔ノ命ニ隨テ之ヲ辦理ス

往復

- 一 府縣ヨリ郵達スル文書ヲ受付シ之カ指令ヲ淨書シ規程ニ照シテ郵送スヘシ

- 一 院省使ニ係ル一切ノ公文書翰ヲ往復シ或ハ省中ヘ下達スルノ回文等ノヲ掌ル

- 一 府縣ヘ布達スルノ文書ヲ印刷ニ付シテ之ヲ郵送シ院省使ヨリ送及セル日誌及ヒ布告布達等ヲ受付シ

- 一 之ヲ寮局ヘ分達スヘシ

- 一 合評回議ヲ送達ス

- 一 各寮局ヨリ上達スルノ議案其外ヲ受付卿輔ニ呈スヘシ

- 一 本省ノ印章ヲ管護スル事

- 一 諸公文申牒ノ數及ヒ指令既濟未濟ヲ瞭然ナラシメンカ爲メニ詳細ナル月表及ヒ稽緩表ヲ製スヘシ

- 一 右ハ所務規程ノ概略ナリ尙實際施行ノ上取捨更正スルヲアルヘシ

八年八月八日往復規程ヲ第二局ニ併ス

(備考) 内務省ヨリ各寮局へ達 八年四月二十五日
今般立憲ノ政體立サセラレ候旨被
仰出本省ノ事務專ラ行政ニ從事シ隨テ章程改正可相成ニ付各寮局擔任ノ事行政議政ノ條件不相混様區
別判然取調來ル三十日迄ニ急度可申出此旨相達候事

往復掛ヲ第二局ニ合ス
八年十月二十日再々上局
ノ所轄ニ屬ス

内務省達 八年八月八日
乙卯百三號府縣

今般當省中往復掛ヲ第二局へ合併事務爲取扱候條此旨相達候事

内務省ヨリ第二局へ達 八年八月八日

往復掛ヲ其局へ合併候條此旨相達候事

内務省ヨリ往復掛へ達 八年八月八日

別紙之通第二局へ相達候條此旨相達候事

内務省ヨリ第二局へ達 八年十月二十日

其局中往復掛自今從前ノ通上局所轄候條此旨相達候事

内務省ヨリ往復掛へ達 八年十月二十日

別紙ノ通へ第二局へ達候條此旨相達候事

内務省ヨリ各寮局へ達 九年一月四日

當省事務章程御改正ニ付從前之各局ヲ廢シ更ニ各課ヲ開設候條此旨相達候事

本省分課

庶務課 從前 第一局
翻譯課 同 第三局

省中各課改置
九年四月十七日局課ヲ改
置ス

往復掛ヲ上局ノ所轄ニ
屬ス
九年四月十七日往復掛ヲ
課ト爲ス

九年一月七日再々用度課
ヲ用度主計ニ課ニ分ツ

合併用度課

同 (第四局)
同 第六局

博物館

衛生局

殘務掛

往復掛

卿輔付書記

翻譯課事務章程 九年一月四日

課中ノ事務別ケテ上下二款トナシ其上款ハ課長ノ意見ヲ具シ卿ノ議判決定ニ據テ施行シ其下款ハ課長
委任ノ權ヲ以テ施行スル事

上款

第一 本省ノ事務章程中緊要ノ條件等ニ關涉シテ大ニ裨益補助トナル原本ヲ譯述刊行スル事

第二 歐米各國ノ典禮律例等施政ノ資ト爲ルヘキ書籍ヲ購求シ本省ニ設備スル事

第三 時々外國ノ事情形勢ヲ開陳スル事

下款

第一 各寮局課ノ任務ニ適切ナル歐米各國ノ法律規例等ノ諸書ヲ譯シテ其參考ニ供スル事

第二 各寮局課ヨリ需求スル處ノ諸書ヲ翻譯スル事

第三 外國人贈答ノ書翰ヲ譯シ應接ノ通譯ヲ爲ス事

第四 各寮局課ノ需求ニ應シテ原本ヲ講釋シ或ハ其質問ヲ疏解スル事

第五 毎月各譯者ノ課業一覽表ヲ製スル事

第六 都合ニ依リ各寮局課ヨリ他ニ賃譯ヲ命スルハ其巧拙ヲ檢シ其價ヲ定ムル事

第七 成規アル事件ヲ處分シ及主管ノ事務ノ各寮局課ニ交渉スルモノハ合議スル事

第八 譯書ヲ類纂整頓スル事

内務省達 九年一月七日

今般第四局第五局合併用度課ヲ改置候處事務ノ都合有之更ニ左ノ通兩課分割候條此旨相達候事

用度課 從前第四局

主計課 從前第五局

内務大丞議案 九年四月二日

内局事務取扱ノ錄ヲ左ノ名義ヲ以テ分掌致度就テハ從來卿輔附ノ稱呼ヲ廢シ度此段相伺候也

(本省記録中九年四月十七日上局ヲ内局ト改稱書

書記

職務掛

内務省ヨリ各寮局課掛へ達 九年四月十七日

別紙省中戸籍寮警保寮圖書寮被廢候御達ニ付爲心得此旨相達候事

(別紙)

内務省へ達 九年四月十七日

其省中戸籍寮警保寮圖書寮被廢候條此旨相達候事

内務省ヨリ各寮局課へ達 九年四月十七日

本省中自今左ノ局ヲ設置候條此旨相達候事

内局 警保局 戸籍局 圖書局

川度課内用度主計二課ニ分ツ

九年四月十七日川度課ヲ會計課ト改稱シ主計課ヲ廢ス會計局ノ部ニ置ス

御輔附ノ稱ヲ廢シ書記職務掛ヲ置ク

十年一月十日録ヲ廢シ職務ノ二掛ヲ置クトアリ蓋シ決判ノ日ナラシ

戸籍警保圖書三寮ヲ局ト爲シ更ニ内局ヲ置ク

十八年六月二十五日内局ヲ廢シ官房及機務局ヲ置キ又圖書局ヲ廢シ秘書局中國書院ヲ置ク

内務省ヨリ各寮局課掛へ達 九年四月十七日

別紙ノ通相達候條此旨相達候事

(別紙)

其館自今局ト改稱候事

其課自今會計課ト改稱候事

其課自今局ト改稱候事

其課自今相廢候條右事務會計課へ可引渡事

主計課相廢候條右事務同課ヨリ可受取事

其掛自今課ト唱候條此旨相達候事

内務省ヨリ往復掛へ達 九年四月十七日

其掛自今課ト唱候條此旨相達候事

内務省ヨリ寮局課へ達 九年四月二十日

當省中事務分掌ノ制左ノ通相定候條此旨相達候事

内務省中事務ノ分掌ヲ十四部ニ分チ則四寮七局三課トナス

勸業寮 寮中又課ノ名ヲ設

頭 權頭アレハ 權頭ヲ置カス

助 權助

正權大中少屬

頭 權頭アレハ 權頭ヲ置カス

助 權助

正權大中少屬

頭 權頭アレハ 權頭ヲ置カス

省中各課掛ヲ更定ス

十年一月十一日局課ヲ改

置ス

往復掛ヲ課ト爲ス

九年四月二十日分掌ヲ定

ム

省中事務分掌ノ制

十年一月十一日諸寮ヲ廢

シ局課ヲ改置ス

勸業寮 寮中又課ノ名ヲ設

頭 權頭アレハ 權頭ヲ置カス

助 權助

正權大中少屬

頭 權頭アレハ 權頭ヲ置カス

助 權助

正權大中少屬

頭 權頭アレハ 權頭ヲ置カス

助 權助

正權大中少屬

頭 權頭アレハ 權頭ヲ置カス

助 權助

正權大中少屬

九年十二月二十五日内府ノ制ヲ改定ス

驛遞寮 同前
 土木寮 同前
 同前
 地理寮 同前
 同前
 内局 卿ノ直管即卿輔ノ所居 局中又掛リノ名ヲ設ケ事務ヲ分掌ス
 大丞 一人 權大丞 一人 正權大中少錄
 戶籍局 局中又掛リノ名ヲ設ケ事務ヲ分掌ス
 局長 權大丞 一人 局補 小丞 一人 正權大中少錄
 警保局 同前
 同前
 圖書局 同前
 同前
 衛生局 同前
 同前
 博物館 同前
 同前
 庶務局 同前
 同前
 會計課 課中又掛リノ名ヲ設ケ事務ヲ分掌ス
 課長 小丞 課補 權少丞 正權大中少錄

翻譯課 同前

同前

同前

同

往復課 同前

課長及補ヲ置カス内 局丞ノ直管トナス

同前

同

以上寮ハ太政大臣ノ權内ヲ以テ廢置セラレ、舊來ノ制ニ異ナルコナク局課ハ内務卿之權内ヲ以テ之ヲ廢置シ寮中ノ課局課中ノ掛リノ名稱ハ其寮頭局課長内務卿ニ具申シテ之ヲ廢置スルモノトス又頭長一人ニテ他ノ頭長ヲ兼ルモ妨ケナク又内局ヲ除クノ外ハ局ニ大丞或ハ少丞ヲ以テ長トシ又ハ權少丞ヲ以テ補トナシ課ニ權大丞ヲ以テ長トシ又ハ少丞ヲ以テ補トナスコアルヘシト雖モ局ニ權大丞ヲ以テ長トナシテ課ニ大丞ヲ以テ長トナシ局ニ少丞ヲ以テ長トナシテ課ニ權大丞ヲ以テ長トナス等ノコハナスヲ得サルモノトス

内局並郵務掛事務

十七年一月二十三日内府處務規程ヲ定ム

書記職務掛ヨリ内務省へ伺 九年五月二日

今般改稱ニ付心得方左ニ相伺候也 九年五月決刊日附

書記

卿輔並丞ノ命ニ隨テ文案ヲ草シ又之ヲ淨書シ及院省府縣へ密申内達等往復ノ事ヲ掌ル

右一切ノ事務機秘ニ涉ルヲ以テ嚴ニ漏洩ヲ戒ム

職務掛

諸官員職務進退ニ屬スル官記辭令委任狀及ヒ官員黜陟ニ係ル院省其他ノ往復文書官吏懲戒例ニ係ル文書ヲ書記シ出勤簿ヲ製シ勤惰ヲ明ニシ省中並ニ府縣職員錄履歷ヲ整頓シ府縣奏任以上出京赴任歸省等ノ申牒ヲ領收スル等ヲ掌ル

右一切ノ事務機秘ニ涉ルヲ以テ嚴ニ漏洩ヲ戒シム

戸籍局長申付候事
圖書局長申付候事
會計局長申付候事
社寺局長申付候事

同 同 同
何禮之
武井守正
内務少書記官 足立正聲

内務省ヨリ内局へ達 十一年七月三十日

地方官吏 府縣官郡區吏町ノ官職及ヒ懲戒令ニ係ル事務ハ其局ニ於テ主管スヘシ此旨相達候事

内局地方官吏ノ官職及
懲戒令ノ事務ヲ管ス
十七年一月二十三日内局
事務規程ヲ定ム
往復課事務順序
十六年四月四日改正アリ

往復課處務順序 十四年二月八日

往復課ハ諸官廳ノ往復其他一切ノ公文ヲ授受シ兼テ各件處分ノ濟否ヲ調査スルヲ掌ル

第一條 本課事務取扱中例規外重立タル事件ハ内局ノ指揮ヲ請ヒ其他ハ左ノ手續ニ據リ之ヲ處辨ス

第二條 牒簿數冊ヲ設ケ便宜區別シテ各員之ヲ分掌ス

第三條 總テ外來ノ諸文書ハ速ニ其件名番號及領收ノ月日ヲ簿冊ニ記載シ件名ナキモノハ其番號月日 番號ハ每歲一月ニ止ム本書ニ掲記シ以テ各局ニ交付ノ手續ヲナスヘシ共要旨ヲ摘録ス然シテ更ニ但外來文書ノ内太政大臣ヨリ當省へ令達及ヒ内務卿ヨリ該官へ上稟ノ後裁下アルモノハ主任へ交

付以前内局ノ檢閱ヲ經然ル後本條ノ手續ヲナスヘシ

第四條 牒簿ノ記載方ニ於ケル一ノ文書ニシテ事各所ニ係リ警ハ事官省ニ起リテ府縣ニ推問シ若ク之カ往復ヲ重ヌルモ其事件完結ニ至ラサルノ間ハ授受スル毎ニ最初記載セシ件名ノ傍ニ其月日及事由ヲ簡明ニ記入シ以テ索覽ニ便ナラシムルヲ要ス

第五條 總テ本課ヲ經由スル文書ハ其事件完結ノ上局長限リ專決之ヲ原簿ニ記入シ圖書局ニ送付スヘシ

第六條 各局ニ交付スル文書ハ原簿ニ其交付ノ月日ヲ記シテ領收ノ證印ヲ取り官省院使及東京府ニ發遣スル文書ハ別ニ送付簿ヲ添ヘ之ニ領收ノ證印ヲ取ルヘシ

但各地方ニ郵送スル文書ハ別ニ送狀ヲ付シ之ニ領收ノ證印ヲ取ルヘシ

第七條 各局ノ同議及同覽書ヲ受ケ第三條ノ手續ヲ以テ之ヲ内局ニ上達シ判決下附ノ上更ニ同上ノ手續ヲ以テ之ヲ主務局ニ還付ス

第八條 内局ニ上達ノ同議及各所發遣ノ文書各局ヨリ本課ニ受ルノ時限ハ本省昇降時限ニ隨ヒ別ニ定ムル所ノ制限ニ據ルヘシ

但緊急ノ事件ニシテ主務局長之カ事由ヲ附箋スルモノハ此限リニアラス

第九條 外來文書ノ内各局宛其他親展ノ文字アルモノハ封ノ儘別冊ニ件名若クハ封表ノ名ヲ記載シ直ニ其主名ニ交付スト雖モ當省ヨリ發スル局名文書ハ本課之ニ關セス

第十條 卿輔ヨリ各局へ令達及ヒ内局書記官ノ通牒等ハ別ニ牒簿ヲ設ケテ其全文ヲ登記シ以テ他日ノ參閱ニ供ス

第十二條 本課ハ各局ノ議案ニ對シ事理ノ可否ヲ論スルヲ得スト雖モ淨書校合ニ當リ豫定ノ文例書式等ニ抵觸スル歟或ハ文字ニ誤脱アリト認ムルハ其主任ニ告ケテ之ヲ訂正セシムルヲ得ヘシ

第十二條 本課員一名ツ、順次内局宿直ヲ勤ム然シテ宿直捺印簿ヲ管シ各局宿直ヲシテ之ニ記名捺印セシメ翌朝内局書記官ノ一覽ニ供ス

但當直中取扱ノ事件ハ宿直規程ニ據ルヘシ

第十三條 文書取扱上便利ノ爲メ其事務ヲ部分シ其分任ヲ定ムルヲ左ノ如シ

第一部 主務員 四名

第一項 各廳ニ發遣スル諸文書ヲ校合ス本書付屬ノ書類ハ校合ヲ要セス

第二項 各廳ヨリ到來スル文書ヲ案シ其主務局ノ標印ヲ捺シ各主部ニ配付ス

第三項 太政官ニ進達スル文書ハ別ニ牒簿ヲ設ケテ其件名ヲ登記シ裁下アルモノハ其指令文ヲ朱記シ該件ノ濟否ヲ詳ニス

第四項 各局同議書其他ノ文書等内局ヨリ下附アルハ先ツ之ヲ本部ニ受ケ而シテ各主部ニ配付ス

第五項 府縣申牒ノ内他省ノ主管ニ屬スル事件其他主務局へ交付以前ニ於テ事故アルモノニ屬スヘシ

- 第六項 人民建白及直願書ヲ受ケ其主務ノ局名ヲ附箋シ各主部ニ配付ス
- 第七項 宿直ニ於テ受領セシ諸文書ハ日記簿ニ照ラシテ之ヲ本部ニ受ケ第二項ノ手續ヲナス
- 第二部 主務員 三名
- 第一項 各局ノ回議書ヲ内局ニ上達シ及主任ニ下付ス
- 第二項 官省院使警視廳集治監等ノ文書并ニ三府官民ノ出版々權納本等ニ係ルモノ及官國幣社神官神佛各管長ノ申牒等ヲ各主務局ニ交付シ及之カ照會回答達指令等ヲ發遣ス
- 第三項 太政大臣ヨリ當省ヘノ命令ニ係ルモノハ別ニ牒簿ヲ設ケ之ニ其全文ヲ登記シ覽閱ノ便ニ供ス
- 第三部 主務員 七名
- 第一項 府縣ノ申牒ヲ受ケ各員之カ簿記ヲ分擔ス然シテ回議書取扱及該申牒授受ノ手續キ等ハ總テ
- 第二部 準ス
- 第二項 人民建白及直願書ハ別ニ牒簿ヲ設ケテ之ヲ授受シ時宜ニ依リ人民ニ面接スルコアルヘシ
- 第四部 主務員 三名
- 第一項 各地方ニ郵送スル文書ヲ表記發遣シ然シテ之ニ貼用スル切手ノ仕拂ヲ調査シ毎月會計局ニ照會シテ納受ノ手續ヲナス
- 第二項 大封又ハ重量ノ物品ハ便宜通運或ハ三菱會社ニ附托シ其運賃受取證書ヲ原簿ニ照ラシテ會計局ニ送付ス
- 第三項 電信ヲ發遣シ其通信料受取證書ヲ原簿ニ照ラシテ會計局ニ送付ス
- 第四項 府下各廳ノ往復及各局宛ノ文書ヲ授受ス
- 第五項 府縣官東京著發ノ屆書ヲ受ケ其止宿所ヲ詳記シ以テ往復ノ便ニ供フ
- 第五部 主務員 五名
- 第一項 各件處分ノ濟否ヲ調査シ未濟ノ件ハ各局ニ督促ノ内局書記官シテ淹滯ノ事由ヲ詳ニシ及文

- 書ノ總數連月増減ノ比較濟未濟ノ件數等ヲ調ヘ之カ月表ヲ製シ前調書ト共ニ内局ノ回覽ニ供フ
- 第六部 主務員 三名
- 第一項 課中所用ノ諸物品ヲ會計局ニ請求シ之ヲ授受ス
- 第二項 本省ノ布達及達書ニ番號ヲ記シ其配付ノ部數ヲ査定シ速カニ印刷ニ付ス
- 第三項 總テ内局ノ名ニ係ル印刷書類ヲ算査シテ各府縣及他官廳并ニ當省各局ニ配付シ然シテ之カ部數増減ニ關スル指令回答等ノ事ヲ掌ル
- 第四項 他官廳印刷ノ書類ヲ受收シ例數ヲ算査シテ當省各局掛ヘ配付シ其例數ナキモノハ内局ニ付ス然シテ右部數増減ニ關スル照會等ノ事ヲ掌ル

内務省へ達 十四年四月七日

今般農商務省設置候ニ付テハ其省中左ノ通請局ノ管理換ヘ并ニ廢止致シ候條此旨相達候事

一 驛遞局山林局博物館及ヒ所屬博物館ハ舉テ農商務省ノ管理ニ付シ候條其事務悉皆該省ヘ引繼クヘシ

一 勸農局相廢シ候條其事務ハ農商務省職制并ニ事務章程ニ照ラシテ夫々該省ヘ引繼クヘシ而シテ猶殘餘ノ事務ハ其省ニ於テ此際完結ノ見込ヲ以テ處分方(其完結ニ至リ難キ分ハ他ノ局課等ニテ管理方)取調詳細申出ヘシ

内務省ヨリ驛遞局博物館山林局へ達 十四年四月七日

其局農商務省ノ管理ニ被付候條此旨相達候事

内務省ヨリ各局課へ達 十五年一月二十日

本省中統計課ヲ置キ左ノ事務ヲ管掌候條自今該事務ニ係リ候義ハ該課ヘ協議可及此旨相達候事

但其位置往復課ノ次ニ列シ候事

省中書局ノ管理ヲ換(勸農局ノ廢ス)

驛遞局山林局三局ヲ農商務省ニ屬ス

統計課廢止

十八年六月二十五日日本官廳條例ヲ定メ總務局中本課ヲ置ク

内務省統計課處務規程

本省主管ノ事物ニ關スル統計表ヲ整頓スル事

統計表ニ據テ事物ノ結果ヲ證明スル事

各局課制定ノ統計表様式ヲ審査シ若クハ之レヲ改良スル事

内務省統計全書及各局課主管ニ屬セサル事物ノ統計表ヲ編製スル事

統計事項改良等ノ爲メ各局課主任ノ官吏ヲ集メ會議ヲ開クヲ得ル事

行政上ノ參考ト爲ルヘキ古來ノ統計實ヲ調査スル事

統計課事務 十五年五月八日

第一 府縣治提要或ハ府縣統計一覽等ト云フ

右ハ府縣ノ治績ヲ證明スルノ要具ニシテ可及的完備正確ヲ要シ候儀ニ有之候是迄各府縣概ネ之ヲ調整セサルナキモ其ノ適宜ニ放任シタルヲ以テ科目ノ多少調査ノ疎密皆其體裁ヲ異ニシ二三ノ府縣完備ノ調査ヲ爲スモ他ノ府縣之ヲ怠ルヲ以テ内國一般ノ事實ヲ統計シ或ハ各府縣ノ治績ヲ互ニ比較セント欲スルモ充分ノ効用ヲ收メ難シ寔ニ歎惜ニ堪ヘサルナリ今其科目様式ヲ制定シ各府縣粗其體一同ニセシムルハ頗ル緊急ノ事ナリト思考ス故ニ府縣ヨリ進達シタル表中最モ完備ノモノト前年大藏省ヨリ發行シ後故アリテ廢絶シタル統計表様式トヲ斟酌シ繁簡疎密其適度ヲ量リ科目様式ヲ制定シ府縣ヘ御示達相成候様致度既ニ其取調ハ過半出來致居候

但シ統計ノ事實ヲ蒐集スルノ方法ヲ改良スルノ儀ニ候ハ、統計院ヘ稟議スヘキ筈ニ候得共本件ハ只各府縣粗其様式ヲ同クシ既ニ蒐集シタル事實ヲ排列セシムルニ過キサルカ故ニ稟議ヲ要セスト存候一内務省統計全書

右ハ各局創設以來收集シタル統計事實ヲ網羅シ累年表ヲ製シテ一部ノ書ト爲シ其増減變更等ニ付證明スヘキ憑徴アルモノハ之ヲ附記シ行政上ノ參考ニ供シ度候

統計課事務
十九年一月十六日統計課
ヲ屬シ總務局中報告課其
事務ヲ管ス

但次回編製スヘキ統計全書ノ體裁ハ追テ經伺ノ上相定ムヘシ

一各局統計表様式等ノ改良

右ハ府縣治提要様式制定ノ後著手スヘシ

統計課ヨリ内務省ヘ同十五年五月二日
本課設置以來日尙淺ク殊ニ雇員ノ外課員ハ總テ兼務之者ニ有之事務充分撈取不申候得共左之順序ヲ以テ差向事務著手致度右ハ御委託相成居候課内ノ事務ニ候得共統計之儀ハ他ノ事務トモ相異ナル所有之ニ付此段相同置候也五月八日決判

内務省ヨリ各局ヘ達 十五年七月二十日

從來各局事務ノ内成規定例アルモノハ局長限り處分シ卿名ヲ以テ施行候件々モ有之候處右等ノ分目今一切卿輔ノ決判ヲ受クヘシ此旨相達候事

但事務ノ都合ニ因リ各局限り處分ニ付シ候件々ハ更ニ可相達事

往復課處務順序 十六年四月四日

往復課ハ諸官廳ノ往復其他一切ノ公文ヲ授受シ兼テ各件處分ノ濟否ヲ調査スルヲ掌ル

第一條 本課事務取扱中例規外重立タル事件ハ内局ノ指揮ヲ請ヒ其他ハ左ノ手續ニ據リ之ヲ處辨ス

第二條 牒簿數冊ヲ設ケ便宜區別シテ各員之レヲ分掌ス

第三條 總テ外來ノ諸文書ハ速ニ其件名番號及ヒ領收ノ月日ヲ簿冊ニ記載シ
件名ナキモノハ然シテ更ニ其番號月日
番號ハ每歲一月ニテ本書ニ掲記シ以テ各局ニ交付ノ手續ヲナスヘシ
其要旨ヲ摘録ス

但外來文書ノ内太政大臣ヨリ當省ヘ令達及ヒ内務卿ヨリ該官ヘ上稟ノ後裁下アルモノハ主任ヘ交付以前内局ノ檢閱ヲ經然ル後本條ノ手續キヲナスヘシ

第四條 牒簿ノ記載方ニ於ケル一ノ文書ニシテ事各所ニ係リ
暨ハハ官省ニ起リテ府縣ニ垂問シ若シ之カ往復ヲ重ヌルモ其事件完結ニ至ラサルノ間ハ授受スル毎ニ最初記載セシ件名ノ傍ニ其月日及ヒ事

各局事務卿名ヲ以テ施行スルモノ一切卿輔ノ決判ヲ受ケシム

往復課處務順序改正
十七年一月二十三日内局
處務規程ヲ定メ往復課ヲ
屬シ内局第一課中往復課
ヲ設ケ

由ヲ簡明ニ記入シ以テ索覽ニ便ナラシムルヲ要ス

第五條 總テ本課ヲ經由スル文書ハ其事件完結ノ上ノ局長限リ専決之ヲ原簿ニ記入シ圖書局ニ送付スヘシ

第六條 各局ニ交付スル文書ハ原簿ニ其交付ノ月日ヲ記シテ領收ノ證印ヲ取り官省院使及ヒ東京府ニ發遣スル文書ハ別ニ送付簿ヲ添ヘ之ニ領收ノ證印ヲ取ルヘシ

但各地方ニ郵送スル文書ハ別ニ送狀ヲ附シ之ニ領收ノ證印ヲ取ルヘシ

第七條 各局ノ回議及回覽書ヲ受ケ第三條ノ手續ヲ以テ之ヲ内局ニ上達シ判決下付ノ上更ニ同上ノ手續ヲ以テ之ヲ主務局ニ還附ス

第八條 他省合評ノ回議ハ勿論省中各局ノ合評ト雖都テ本課ヲ經テ之ヲ授受ス

但シ合評ヲ受タル甲局ヨリ乙丙丁ト順次送達スルハ本課ヲ經ルニ及ハス

第九條 各局合評ヲ要スル事件ニシテ回議書ニ其合評スヘキ局名ヲ脱シタルハ其旨ヲ主任ニ報シテ之ヲ記入セシム

第十條 主管達ノ文書到來セシキ其主務ノ院省ヘ送付ノ儀ハ本課限リ内局書記官ノ名ヲ以テ處分ス

第十一條 内局ニ上達ノ回議及ヒ各所發遣ノ文書各局ヨリ本課ニ受ルノ時限ハ本省昇降時限ニ隨ヒ別ニ定ムル所ノ制限ニ據ルヘシ

但緊急ノ事件ニシテ主務局長ノ事由ヲ附箋スルモノハ此限リニ非ス

第十二條 外來文書ノ中各局宛其他親展ノ文字アルモノハ封ノ儘別冊ニ件名若クハ封表ノ名ヲ記載シ直ニ其主名ニ交付スト雖凡當省ヨリ發スル局名文書ハ本課之ニ關セス

第十三條 卿輔ヨリ各局ヘ令達及ヒ内局書記官ノ通牒等ハ別ニ牒簿ヲ設ケテ其全文ヲ登記シ以テ他日ノ參閱ニ供ス

第十四條 本課ハ各局ノ議案ニ對シ事理ノ可否ヲ論スルヲ得スト雖凡淨書校合ニ當リ豫定ノ文例書式等ニ抵觸スルカ或ハ文字ニ誤脱アリト認ムルハ其主任ニ告ケ之ヲ訂正セシムルヲ得ヘシ

第十五條 本課員一名ツ、順次内局宿直ヲ勤ム然シテ宿直捺印簿ヲ管シ各局宿直ヲシテ之ニ記名捺印

セシメ翌朝内局書記官ノ一覽ニ供ス

但當直中取扱ノ事件ハ宿直規程ニ據ルヘシ

第十六條 文書取扱上便利ノ爲メ其事務ヲ部分シ其分任ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一部 主務員 名

各廳ヨリ到來スル文書中他省ノ主管ニ屬スル事件又ハ主管局ヘ交付以前事故アルモノ假令ハ本

ヘキ書類ノ脱落及ヒ重複ニ係ル文書或ハ未ダ及ヒ發遣ニ係ル文書ヲ校合シ其誤謬若クハ書式ノ

到達セザル同ニ對シ指令ヲ催促スルヲ行達ノ類

異同ヲ調査ス

第一項 各廳ニ發遣スル諸文書ヲ校合ス本書ニ付屬ノ書類

第二項 各廳ヨリ到來スル文書ヲ案シ其主務局ノ標印ヲ捺シ各主部ニ配付ス

但電報並金券正貨ヲ附屬セシ文書ハ特ニ之ヲ帳簿電報簿金ニ記載シ直チニ之ヲ主任ノ局課ニ送

付シ然後此帳簿ヲ本課ノ主部ニ移シ帳記表記ノ手續ヲ終ヘシム尤金券ハ文書ト共ニ封緘シテ送

付スルモノトス

第三項 人民ノ建白書ハ附箋ヲ以テ主管ノ局名ヲ記シ内局書記官ノ點閱ヲ經之レヲ主管局ニ付

第四項 人民ノ請願書受領ノ可否ヲ調査シ一應之レヲ内局ヘ稟シ或ハ之ヲ主務局ニ配付シ或ハ却下

ス但時宜ニ依リ人民ニ面接シ請願ノ趣主ヲ尋問シ又ハ却下ノ要旨ヲ説明スルコトアルヘシ

第五項 各局合議ヲ要スル回議書中其局名脱セシモノヲ調査ス

第六項 各局回議書其他ノ文書等内局ヨリ下付アルトキハ先ツ之ヲ本部ニ受ケ而シテ各主部ニ配付

第七項 太政官ニ進達スル文書ハ別ニ牒簿ヲ設ケテ其件名ニ登記シ裁下アルモノハ指令文ヲ朱記シ

該件ノ濟否ヲ詳ニス

第八項 建白及ヒ請願ハ別ニ牒簿ヲ設ケテ之ヲ授受ス

七同第二項電報ヲ主務ノ宿直へ送付スルヲ止メ翌朝第一部ニ引繼クト修正セシハ電報中其主管ヲ定メ
難キモノ多ク且ツ該宿直ニテ之ヲ翌朝迄留メ置ク歟又主任ノ宅へ送付スルモノカ處分ヲ翌朝ニ延ス
モノトセン歟殊ニ之ヲ引繼タルノ効ヲ見ス旁親展ト異變急遽ト認ムルモノハ外ハ第一部ニ引繼クモ
ノト定メントスルニ在リ同項ノ但書ヲ削リタルハ通常ノ電報ハ總テ翌朝ノ引繼ト定メタルニ因ル

內局會議規則

十八年六月二十五日內局
ヲ廢シ官房ヲ置クニ至テ
消滅ス

內局ヨリ各局へ通知 十六年十一月二十一日

內務卿ノ命ニ依リ別紙內局會議規則制定相成候條此段及御通知候也

內局會議概則

第一款 內局會議ハ內務卿參考ノ爲メ之ヲ開ク其議目左ノ如シ

但參考ヲ要セサルモノハ此限ニアラス

一 布告布達上申案

一 本省乙號府縣へ達案

一 數局協議不調ノ議案

一 內務卿ノ特命アル事項

第二款 內局會議ハ多數決ヲ用ヒス

第三款 內局會議ノ議員ハ內局書記官取調局書記官主務局長關係アル各局長及內務卿特ニ命スル書記
官ヲ以テ之ニ充ツ

但主務局長若シクハ其代理書記官ヲ以テ答辯員トス

第四款 議長ハ卿若シクハ輔トス但內務卿ノ命ニ依リ特ニ議員中ヨリ議長ヲ命スルコトアルヘシ

第五款 會議ノ時日ハ內務卿ノ命ヲ以テ內局書記官之ヲ各議員ニ通知スヘシ

第六款 議員著席及發言順序ハ番號ヲ以テ之ヲ定ム其番號ハ毎月變更スヘキモノトス

第七款 議長ハ其辯論詳悉ヲ要スル爲メ順次外特ニ議員ヲシテ發言セシムルコトアルヘシ

第八款 各議員ハ議長ニ向テ其意見ヲ述ヘ互ニ論スルヲ得ス答辯員說明モ亦同シ

第九款 當日會議ノ人名及ヒ成議案ハ集録シテ內局ニ備フ

(備考)

土木局ヨリ各部へ達 十八年七月一日

本省處務條例第十九條ニ據リ毎日午前十一時官房會議被開候ニ付局中事務之内重大ノ事件及臨時急裁
ヲ要スル者ハ各部長於テ取經午前十時迄ニ可差出此旨相達候事

內務省ヨリ各局課會へ達 十七年一月二十三日

內局處務規程左ノ通改定候條此旨相達候事

內局處務規程

內局中二課ヲ置クコト左ノ如シ

第一課

一 本省官吏及廳府縣奏任官以上ノ進退ニ關スル文書ヲ調理スル事

一 卿ノ命ニヨリ機密ニ係ル一切ノ文書ヲ調理スル事

一 金錢出納ニ關スル議案ヲ査閱スル事

一 省中ノ雜務ニ關スル事

一 諸文書ノ受付往復ニ關スル事

一 局課廢置等ニ關スル事

一 府縣官及郡區町村吏ノ職務ニ關スル文書ヲ調理スル事

一 諸般事業ノ張弛等金錢ニ關スル文書ヲ査閱スル事

但法律規則ニ關係スル分ハ第二課合議ノ事

第二課

一 布告布達案等ニ關スル議案ヲ査閱スル事

內局處務規程
十八年六月二十五日內局
ヲ廢シ官房及總務局ヲ置
ク

十七年二月六日往復掛取
扱方ヲ定ム

內局處務規程ヲ定ムルト
同時ニ取調局ヲ廢シ第二

課其事務ヲ管ス取調局ノ
附止ハ其局ノ部ニ感ス

- 一 卿ノ命ニヨリ布告案等ヲ起草スル事
- 一 法律規則ニ關スル指令訓示案ヲ查閱スル事
- 一 内局會議ノ事
- 一 調査會議ノ事
- 一 本省ニ關スル訴訟ノ事

内局ヨリ各局課へ通達 十七年四月三十日
 内局處務規程之儀兼テ内務卿ヨリ達之趣モ有之候處當分之内官吏進退及省中雜務ニ關スルノ外都テ第
 二課ニ於テ查閱ノ事ニ被定候條右之御心得ヲ以テ回議面へ御記載有之度右ハ内務卿ノ命ニ依リ此段及
 御通達候也

内務省ヨリ各局課へ達 十七年二月六日

各廳へ發遣スル諸公文淨書之儀自今内局第一課往復掛ニ於テ爲取扱候條此旨相達候事

但本書附屬ノ書類ハ總テ主任ニ於テ淨書シ議案上達若クハ關係ノ局課へ回覽ノ爲メ該掛へ送付スル

ニ當リ右附屬書一同差出スヘシ

往復掛回達 十七年二月六日

今般往復掛ニ於テ淨書取扱相成候ニ付テハ回議並ニ申牒類授受ノ儀左ノ通御承知相成度此段及御通牒
 候也

一本日中決判相成候回議ハ從前ノ通り各局課ニ於テ淨書シ該掛へ送付スヘシ

一回議決判ノ内其原案ニ異動ナキ分ハ主任へ送付スルヲ須ヒス該掛ニ於テ淨書シ直ニ發遣スヘシ

一諸申牒ノ内指令ヲ要スルモノハ正書ヲ該掛ニ留置其副書ヲ主任へ交付ス

但指令ヲ要セスト認ル申牒類ハ正副トモ總テ之ヲ主任へ交付ス

一是迄已ニ各主任へ交付シアル申牒類ノ内指令ヲ要スル分ハ發議往復掛へ回送ノ際必ス其正書ヲ添付
 スヘシ

往復掛公文淨書取扱方

十八年六月二十五日内局
ヲ廢シ卿官房中ニ往復掛
ヲ置ク

内局別房ノ廢止ス

内務省第二課中報告掛ヲ
置ク

十八年六月二十五日内局
ヲ廢シ總務局中報告課ヲ
置ク

卿官房并總務局處務係
例ヲ改メ

十九年一月十六日處務係

内務省ヨリ各局課へ達 十七年八月四日

自今内局別房相廢候條此旨相達候事

○別房ハ十六年中法律書等翻譯ニ從事スル者ノ爲メニ設ケル所ト云達文佚ス

内務省ヨリ圖書局へ達 十七年十月二日

別紙ノ通相達候條其局所管本省年報々告編纂事務内局第二課へ可引渡此旨相達候事

(別紙)

内務省ヨリ各局課へ達

今般内局第二課中へ報告掛ヲ置キ本省年報々告編纂事務爲取扱候條此旨相達候事

内務省處務條例節錄 十八年六月二十五日(全文ハ内務)

卿官房

卿官房長 一人

卿官房書記官 若干員

秘書課

長 一人

課僚 若干員

一 機密文書取扱并其保存ノ事

一 卿へ面謁ヲ請フ者ノ取扱ノ事

一 卿ノ命ニ依リ官房ニ於テ取扱フヘキ一切ノ事務ヲ管スル事

職員課
 長 一人
 課僚 若干員
 一本省所轄官員ノ進退并其身分ニ關スル願伺届ヲ取扱フ事
 往復課
 長 一人
 課僚 若干員
 一諸官廳其他往復文書ノ受付配送ヲ取扱フ事
 總務局
 長 一人
 次長 一人
 第一部
 長 一人
 課僚 若干員
 一各局成案ノ回議ヲ審査スル事
 一卿ノ命ニ依リ文案ヲ起草スル事
 一地方官職制章程并選任法ニ關スル事
 一恩給ノ事
 一奇特者賞與并賑恤救濟ノ事
 一省中他局ノ管掌ニ屬セサル事務ヲ取扱フ事
 第二部
 長 一人

課僚 若干員
 圖書課
 長 一人
 課僚 若干員
 一圖書出版并版權授與ノ事
 一圖書記錄保存ノ事
 編纂課
 長 一人
 課僚 若干員
 一本省一切ノ公文ヲ編纂スル事
 一法律例規等ヲ編纂スル事
 第三部
 長 一人
 課僚 若干員
 報告課
 長 一人
 課僚 若干員
 一本省年報報告ヲ編成スル事
 一官報并新聞紙ニ掲載セシムヘキ事項ヲ調査スル事
 統計課
 長 一人
 課僚 若干員

- 一 本省事務ニ關スル統計調査ノ事
- 翻譯課
- 長 一人
- 課僚 若干員
- 一 外國ノ文書往復并翻譯ノ事
- 一 外國人通譯并應接ノ事

大臣官房并總務局事務
條例
 十九年二月勅令第二號ヲ
 以テ官制ヲ定ム

内務省處務條例節錄 十九年一月十六日(全文ハ内務
 省令第一二號ニ載ス)
 第四章 分課章程

大臣官房

長一人 次長一人

秘書課

長一人 課僚若干員

- 一 機密文書取扱及保存ノ事
- 一 大臣ヘ面謁ヲ請フ者ノ取扱ノ事
- 一 本省所轄官員ノ進退並其身分ニ關スル願届等ヲ取扱フ事
- 一 大臣ノ命ニ依リ官房ニ於テ取扱フヘキ一切ノ事務ヲ管スル事
- 往復課
- 長一人 課僚若干員

總務局

一 諸官廳其他往復文書ノ受付配送ヲ取扱フ事
 長一人 次長一人

十九年二月勅令第二號
 制改定ニ依リ往復課ヲ總
 務局中ニ設ク

審査課

長一人 課僚若干員

- 一 各局成案ノ回議ヲ審査スル事
- 一 大臣ノ命ニ依リ文案ヲ起草スル事
- 一 地方官職制章程并選任法ニ關スル事
- 一 省中他局ノ管掌ニ關セサル事務ヲ取扱フ事

恩賞課

長一人 課僚若干員

- 一 恩給ノ事
- 一 奇特者賞與並賑恤救済ノ事
- 報告課
- 長一人 課僚若干員

一 本省年報報告ヲ編成スル事

一 官報並新聞紙ニ掲載セシムヘキ事項ヲ調査スル事

一 本省事務ニ關スル統計調査ノ事

戶籍課

長一人 課僚若干員

- 一 戶口調査ノ事
- 一 戶籍編製ノ事
- 一 内外國人轉籍ノ事
- 一 人民身分ニ關スル事
- 一 民有地所有權ニ關スル事

一 土地建物賣買讓與質入書入公證ノ事
 一 失踪逃亡者棄兒迷兒復籍人行旅病人行倒人及遺留財産處分ノ事
 圖書課

長一人 課僚若干員
 一 圖書出版版權授與ノ事
 一 圖書保存ノ事
 一 外國文書翻譯ノ事
 記録課

長一人 課僚若干員
 一 本省一切ノ公文ヲ編纂スル事
 一 法律例規等ヲ編纂スル事
 一 記録保存ノ事

處務條例中第三十五條
 第三十六條實施期限ヲ
 猶豫ス

處務條例全文ハ本省ノ部
 二載ス

大臣官房并總務局官制

官房長ヨリ各局課長ヘ通知 十九年一月二十日
 今般改定相成候處務條例即日ヨリ施行スヘキハ勿論ノ儀ニ候處第三十五條第三十六條ハ準備ノ爲メ數
 日ノ猶豫ヲ與ヘラレ來二十五日ヨリ實施可相成筈ニ付從前各局ニ受付タル文書ニシテ未タ完結セサル
 モノハ同日迄ニ處分案ヲ具ヘテ往復課ヘ御回付可相成若シ取調等ノ爲メ同日迄ニ御回付難相成モノモ
 有之候ハ、其旨總務局長ヘ御申告ノ上往復課長ヘ御通報可相成此段及御通知候也

勅令節錄 十九年二月二十六日(全文ハ各省官制通則)
 第三十一條 各省ニ大臣官房ヲ置ク大臣官房ハ機密文書ヲ掌リ大臣次官ノ官印及省印ヲ管守ス
 第三十二條 大臣官房ハ大臣親展ノ文書機密事務所部官吏ノ進退身分ニ關スル事務及大臣ニ屬スル一

十九年四月二十二日往復
 課廢則ヲ定ム
 十九年六月二十九日記録
 課文書保存規則ヲ定ム

切ノ事務ヲ掌ル
 所部官吏ノ進退身分ニ關スル事務ハ各省ノ便宜ニ從ヒ總務局中ノ一課ニ於テ處理スルコトヲ得

第三十三條 秘書官ハ奏任トス大臣ニ專屬シテ官房ノ事務ヲ掌ル
 秘書官ノ定員ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第三十四條 秘書官ハ臨時命ヲ承ケ書記官及各局課ノ事務ヲ助クルコトアルヘシ
 各省ノ便宜ニ依リ特ニ秘書官ノ所掌ニ屬セシムルモノハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第三十五條 各省中省務ノ全部ヲ統轄スル爲ニ總務局ヲ置キ省務ヲ分掌スル爲ニ各局ヲ置ク
 第三十六條 各省總務局ニ文書課往復課報告課及記録課ヲ置キ其事務ヲ分掌セシム

第三十七條 文書課ハ省中各局成案ノ回議ヲ審查シ諸文案ヲ起草スル事ヲ掌ル
 第三十八條 往復課ハ凡テ各省ニ到達スル公文書類及成案文書ヲ接受シ竝發送ノ事ヲ掌ル

第三十九條 報告課ハ各局課ニ就キ統計報告ノ材料ヲ採輯シ統計報告ヲ調整シテ大臣ノ査閱ニ供シ官
 報掲載ノ事項ヲ官報局ニ送致スル事ヲ掌ル

第四十條 記録課ハ其省及省中各局課一切ノ公文書類ヲ編纂保存ス
 各省中記録局ノ設ケアルモノハ別ニ記録課ヲ置カス

第四十一條 各省ノ便宜ニ依リ特ニ總務局ノ所管ニ屬セシムルモノハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム
 勅令節錄 十九年二月二十六日(全文ハ官制部四)

第三條 内務省總務局ニ書記官五人ヲ置キ通則ニ掲グルモノ、外戶籍課及圖書課ヲ置ク

第四條 戶籍課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、戶口調査ニ關スル事項
- 二、民籍ニ關スル事項
- 三、内外國人轉籍ニ關スル事項
- 四、恩給ニ關スル事項

- 五、奇特者賞與ニ關スル事項
- 第五條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一、圖書ノ出版及版權ニ關スル事項
 - 二、圖書保存ノ事
 - 三、外國文書翻譯ノ事

往復課ヨリ各局課へ通牒 十九年四月二十二日

當課處務則別冊之通被定候ニ付御心得迄ニ及御通牒候也

總務局往復課處務則

第一條 凡文書ハ符記番號ヲ標記ス其類別及符號式左ノ如シ
但番號ハ毎歲一月ニ起リ十二月ニ止ム

文書類別及符記式

第一 各局課發議

甲 上奏請議

乙 内閣報告

丙 内閣及各省へ照會

丁 省令訓令告示

戊 省外ニ發付セサルモノ

右符號ニ主查局名ノ一字ヲ冠ス(例)縣治局發議ニシテ閣議ヲ請フ者ハ縣甲第何號トス乙以下進之

第二 内閣省院

甲 内閣ヨリ本省へ訓令

乙 各省ヨリ合議

丙 同上照會類

右符號ニ其廳名ノ一字ヲ冠ス

第三 警視廳 北海道廳 府縣 集治監 假留監 官國幣社 管長

甲 同

乙 上申届報告等

丙 照會類

右同上

第四 人民

丁 願

戊 届

己 請願

庚 建白

辛 雜

丁 戊 番號ハ各府縣ヲ區別シ右符號ニ其一字ヲ冠シ己 庚 辛ハ各之ヲ一貫ス

第五 各省照會又ハ府縣申牒ニ起リ他ニ往復スル者ハ某號ノ二又ハ三トス

東京府同第百號ニ起リ他ニ照會スルハ其文書符號ハ東甲第百號ノ二トシ本衙書ハ其一ナル其

回答書ハ東甲第百號ノ三トス

在京府縣官吏ノ届書等ハ各其本廳ニ符號ヲ用ユ

第二條 凡受授文書ハ課長其欄外ニ押印ス

第三條 凡文書ヲ受授スルハ各簿册ニ其受領者ノ證印ヲ徴ス

第四條 各局課ヨリ提出ノ回議書及各所へ發行スヘキ文書ヲ本課ニ受クルノ時限ハ本省昇降時限ニ依
リ別ニ之ヲ定ム

但緊急ノ事件ニシテ主務局課長其旨ヲ付箋スルモノハ此限ニアラス

第五條 他省ヨリ合評ノ回議ハ勿論省中各局課合評ノ者モ亦本課ヲ經由ス
但合評ヲ受ケタル甲局課ヨリ乙丙等ノ局課へ送授スルハ此限ニアラス

第六條 受付文書ノ種類件數并處分ノ濟否等ヲ調査シ日表及月表ヲ製シテ大臣及總務局長ノ閱覽ニ供ス

第七條 本課ハ各局ノ議案ニ對シ事理ノ可否ヲ論セスト雖モ書式文例等ニ違フカ又ハ誤脱アリト認ムルハ其主任者ニ通知シテ之ヲ訂正セシム若シ主任者ニ於テ異議アルハ課長ハ總務局長ノ指揮ヲ受ケテ之ヲ施行ス

第八條 秘密文書ノ主掌者ヲ定メテ之ヲ取扱ハシム

第九條 課中左ノ三科ヲ置キ各其事務ヲ分掌ス

主簿科

受付科

淨書科

第十條 主簿科執務手續左ノ如シ

第一 凡ソ外來ノ文書ハ受付科ヨリ受ケ件名ハ其要旨番號等ヲ式ニ依リ其件名簿ニ登記シ又更ニ番號及收受ノ月日ヲ本書ニ掲記シ主務局ノ標印ヲ捺シ規程第一條ノ順序ヲ經タル上之ヲ其主務局課ニ配付ス

第二 件名簿記載方ハ索覽ニ便ナラシメン爲メ受授毎ニ本件名ヲ傍側ニ其事由ヲ簡明ニ注記スルモノトス

第三 金券ハ其件名簿ニ登記ヲ了シ之ヲ附屬文書アレハ其文書トモ封緘シテ金券送致簿ニ登記シ主務局課ニ配付ス

第四 受領文書中本省主管ニ非ル者及其旨ヲ以テ各局課長ヨリ返還セル者ハ本書ニ定式ノ付箋ヲ爲

規程ハ本書ノ部ニ載ス

シ受付科ニ付ス

第五 外來文書中返付ヲ要スル者アルハ其返付ヲ請文書ヲ主管局課ニ移付シ該局課ニ於テ定例ノ手續ヲ了シ返還セハ之ニ定式ノ付箋ヲ爲シ受付科ニ付ス

第六 各局課成案ノ文書ヲ受ルハ之ヲ文書課ニ其他局課ニ合評ヲ要スル者ハ該局課ニ(數局合評ニ係ル者ハ首記ノ局課回付ス

第七 毎日件名簿及合評號記各局課延期通知書等ニ就キ諸文書調査ノ日限ヲ計算ス若シ其期限外ニ渉ル者アルハ之ヲ課長ニ申告ス

但本項文書ノ種類及登簿等ノ順序ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第八 前項ノ文書ハ每期(五日目)各局課へ配付高及處分案提出延期通知等ノ員數ヲ調査シ日表ヲ製ス

第九 各局回議及回覽ニ供スル文書決判下付アレハ其施行ヲ要スル者ハ課長ノ指示ヲ受ケ直ニ發付ノ手續ヲ爲ス

第十 凡發付スヘキ文書ヲ校合ス若シ原案ノ書式文例ニ違ヒ又ハ誤脱アリト認ムルハ課長ニ申告シテ其指示ヲ受ケ

第十一 受付文書ノ種類件數及處分ノ濟否ヲ調査シ月表ヲ製ス

第十二 凡ソ外來ノ文書ヲ收受シ之ヲ課長ニ致ス

但宿直ニ於テ收受セシモノハ宿直簿冊ニ照査シ之ヲ受ケテ本文ノ手續ヲ爲ス

第十三 凡ソ發付スヘキ文書ヲ主簿科ヨリ受ケレハ其種目符號等ヲ發付日記ニ登記シ而シテ其送狀ヲ作り之ヲ付シ致送簿ヲ以テ送付ス表記封緘シ左ノ手續ヲ以テ之ヲ發送ス

一郵便又ハ電信ニ付スル文書ハ會計局ニ付ス

一大封又ハ重量ノ文書ヲ郵便ニアラスシテ遞送スルハ海陸ノ便宜ヲ圖リ之レカ通知書ヲ作り會

計局ニ付ス

- 一 訓令ハ訓令號記ニ本書及原議ノ符號件名等ヲ登記ス
- 第三 官報ニ掲載スヘキ文書ハ省令號記ニ本書及原議ノ符號及件名ヲ登記シ報告課ニ移付ス
- 第四 各局課長ノ名ヲ以テ施行スヘキ文書ヲ受ルルハ其件名番號ヲ各局課文書發送簿ニ登記シテ之ヲ發付ス
- 第五 府縣官吏東京着發ハ其屆書ニ因リ宿所及其月日ヲ府縣官着發錄ニ登記ス
- 第六 各廳ヨリ送來セル印刷文書類統計表雜類ヲ收受シ各局課ニ配付ス
- 第七 各廳ノ回文ハ各廳回文錄ニ登記シ該簿ヲ以テ之ヲ其主務局ニ示シ謄寫濟返還セシム其各局課ニ回達ヲ要スル者ハ例ニ依リ其手續ヲ爲ス
- 但執務時間外ハ本簿ヲ宿直ニ付シテ登記ノ事ヲ掌ラシム
- 第八 省中局課ニ對スル訓令及書記官通達書ハ之ヲ令達錄ニ登記シテ課中ニ回達ス
- 第九 毎日收受及發付ノ文書ハ其員數ヲ調査シ各日表ヲ製ス
- 第十 本課ノ器什圖書ヲ保管シ及課員所用ノ品件ヲ會計局ヨリ受領シ之ヲ給付ス
- 第十一 課員宿直ニ關スル事ヲ管掌ス
- 第十二條 淨書科執務手續左ノ如シ
 - 第一 大臣及書記官等ノ名ヲ以テ發付スヘキ諸文書ハ主簿科ヨリ受ケ之ヲ淨書ス
 - 第二 淨書シタル文書ハ淨書者其原案ニ押印シ主簿科ニ還付ス

内務省ヨリ各局ヘ達 十九年六月二十九日

文書保存規則并細則別紙ノ通之ヲ定ム

内務省文書保存規則

第一條 本省及ヒ各局ノ文書ハ記錄課ニ收蒐整頓シ以下各條ノ區別ニ依リ之ヲ保存スヘシ

文書保存規則
二十一年七月十四日改正
アリ

第二條 凡ハ省務ニ關シ後來ノ徵考例證ニ備フヘキ文書ハ永久保存スヘキモノトシ分テ左ノ二種トナス

第一種 内閣ノ令達、閣議提出、省令、告示、訓令、指令及諸往復等新規創案ニ屬スル者

第二種 告示、訓令、指令及諸往復等成規定例ニ據リ處分シタル者

第三條 左ノ文書ハ保存期限ヲ一年間トス

一 原簿又ハ臺帳ニ登錄ヲ了シタル諸申牒

二 官吏身分ニ關スル諸願届并請書出勤簿

第四條 左ノ文書ハ保存期限ヲ六箇月間トス

一 調査ヲ了シタル諸報告并製表材料

二 決算ヲ了シタル費用ノ目論見

三期約若クハ免許年限ヲ經過シ又ハ死亡其他ノ事故ニ依リ期約年限ノ効消滅シタル者

四 一時ノ處辨ヲ了シタル往復書

第五條 前數條中ノ文書ト雖ヒ主管ノ局課課ト稱スルハ總務局長又ハ記錄課長ニ於テ永久若クハ期限間保存ヲ必要トセス又ハ其期限ヲ伸長スルヲ必要ナリトシ或ハ全ク保存ヲ要セスト認ムルモノハ該

局課長記錄課長合議ノ上總務局長ノ指揮ヲ受ケ適宜之ヲ伸縮シ又ハ直チニ廢棄スルコトヲ得

第六條 保存期限ノ計算ハ其文書ノ甲年ニ屬スルモノハ乙年ヲ隔テ丙年ニ達スルヲ以テ一年トシ甲年

一月ヨリ六月ニ至ルノ間ニ屬スルモノハ乙年一月ニ達スルヲ以テ六箇月トス餘皆之ニ準スヘシ但會

計年度ニ屬スルモノハ本文ニ準シ該年度ニ據リ計算スヘシ

第七條 永久保存ノ文書ハ曆年度ヲ以テ分界トシ類別部目ニ依リ之ヲ輯整シ施行ノ日ヲ逐テ編纂裝釘

ス可シ但一事項ノ相關聯スルモノハ最終ノ事件ニ合シ編纂ス可キモノトス

第八條 期限間保存スヘキ文書ハ其事項及ヒ年限等ノ區別ニ依リ便宜之ヲ收藏スヘシ

第九條 凡ハ保存ノ文書ハ謄本ヲ作ラス原本ヲ以テ臨時ノ用ニ供スヘキモノナレハ篤ク取扱ニ注意シ

嚴ニ散逸汚損ヲ戒ムヘシ其原本ヲ使用ス可カラサル別段ノ文書ニシテ要牒本ノ記識アルモノハ記録課ニ於テ其牒本ヲ作り之ヲ普通文書中ニ收メ原本ハ特別ニ之ヲ保存スヘシ

第十條 保存期限ヲ畢リ又ハ直チニ廢棄スヘキ文書ハ記録課長之ヲ檢シ其書中印章等他ニ移用スヘキノ虞アルモノハ塗抹或ハ截斷シテ之ヲ會計局ニ交付スヘシ

文書保存細則

- 第一條 各局課回議書施行ノ後之ヲ記録課ニ收受セハ甲號雛形ノ件名簿ニ其件名等ヲ記注シ主任再回ノ記識アルモノハ之ヲ主任ニ送付シテ件名簿ニ其捺印ヲ徴シ出納ノ年月日ヲ記入ス可シ
- 第二條 前條ノ文書ヲ調査シ其種類ヲ甄別シテ之ヲ整理シ不完備ノモノアルハ主任ニ就キ完備ヲ覓メ規則第二條ニ屬スルモノハ乙號雛形索引箋ニ記注シ他書ノ照應ヲ要スルモノハ其事由ヲ併記シテ本書ニ附着シ之ヲ丙號雛形ノ索引簿并其第一種ニ屬スルモノハ丁號第二種ニ屬スルモノハ戊號雛形ノ索引牌ニ登錄シ其文書ハ書函ノ位置ニ安頓スヘシ尤モ書函ノ位置ヲ變更スルハ索引中ノ書函番號ヲ改竄スヘシ
- 第三條 書函ハ文書新舊ノ區別ニ依リ本函假函ノ二類トシ總テ之ヲ文庫ニ收藏ス可シ其新タニ收集シタル文書ハ先ツ之ヲ假函ニ納メ一年ヲ經ルノ後裝釘シテ本函ニ移スヘシ
- 第四條 裝釘セサル文書ハ便宜之ヲ紙包トシ又ハ紐索ヲ以テ結束シ其書ノ類目ヲ標記スヘシ
- 第五條 裝釘スヘキ文書ハ目錄ヲ卷首ニ掲ケ符號ヲ記シ前後照應ヲ要スルモノハ其欄外等ニ事由ヲ記注シ仍ホ卷首ニ編纂主任ノ官氏名ヲ登載ス可シ
- 第六條 文庫中又ハ便宜ノ場所ニ於テ閱覽席ヲ設ケ各局員ノ要求ニ應シ文書ヲ展示スヘシ但シ閱覽者恣擅ニ函中ノ書類ヲ檢出スルコトヲ許サス
- 第七條 記録課保存ノ文書各局課ニ借覽ヲ要スルハ己號雛形貸與簿ニ其件名等ヲ登錄シ借主ノ記名捺印ヲ徴シテ之ヲ貸與シ返納ノ日ハ其月日ヲ記入スヘシ
- 第八條 貸與ノ文書ハ當日限返納セシムヘシ若シ二日以上五日ニ涉リ借留ヲ要スルハ主務ノ局課長

之ヲ記録課長ニ通報シ其五日以上ニ及フハ該局課長ハ總務局長ノ承認ヲ受ケ之ヲ記録課長ニ通報スヘキモノトス其期限ヲ過クルモノアルハ督促シ返還セシムヘシ

第九條 回議書施行ノ後主任ニ於テ再回ヲ要スルモノハ第一條ノ手續ニ依リ五日間之ヲ借留スルヲ得其五日以上ニ涉ルモノハ第八條ニ從ヒ總務局長ノ承認ヲ受ケ記録課長ニ通報スヘシ

第十條 各局課ニ於テ特ニ常備ヲ要スル書類アルハ記録課長ニ合議シ總務局長ノ承認ヲ受クヘシ

第十一條 文庫ノ開閉ヲ慎ミ其管鑰ハ退省ノ際宿直ニ托スヘシ

第十二條 文庫ハ毎年一回秋季ニ於テ曝書ヲナシ平素ニ於テ蠹魚ノ蝕害濕氣ノ侵入等厚ク豫防ニ注意スヘシ

第十三條 時々文庫中ヲ掃除シ不潔ナラシム可カラス

第十四條 非常變災ノ豫防ニ注意シ倉卒ノ際失錯ナキヲ要ス

第十五條 文庫中ニ在テ喫烟及ヒ一切ノ火氣ヲ使用スルヲ許サス若シ急要事件アリテ夜間出入ヲナササル可カラサル場合ニ於テハ篤ク燭火ノ使用ニ注意スヘシ

公文類別部目

部		官		房		部		總	
目		職		官		制		文	
細		制		規		儀		書	
節		規		程		局		課	
官制	規程	局課	任免	班次	月俸	叙勳	服制	徽章	
服務紀律	恩賞	懲戒	營業	昇降	着發	休暇			
朝謁	慶吊								
公文書式	印章	編纂	報告	統計	建白	請願			
編輯	繼嗣	養子女	婚姻	親族	後見人	代人	財產	忌服	
姓名	實印								

新開		警務		規制		雜款		民事		費財		給與		廳舍		賦課		會議		規制		圖書		恩賞		種族																															
條例	發行	變更	讓渡	禁停	求刑	雜事				營業	訴訟	喚徵	代人	行旅死亡	雜費	官有財產	學校財產	遞送費	綠營金紛失品	雜收入	體給	手當	旅費	褒賞	慰勞	官衙	官舍	倉庫	租稅	地方稅	區町村費	備荒儲蓄	怠納	徵發	賦金	地方官會議	府縣會	郡區町村會	行政區畫	諸規程	吏員	文書	印章	徽章	民情視察	出版條例	版權	出版	寫真	書籍	翻譯	褒賞	恩給	皇族	華族	士族	平民

地種		部		衛生		部		土木		部		保																																		
地種	目	雜款	費用	疾病	藥劑	醫務	雜款	工業費	河港	道路	雜款	囚人	監獄	犯罪	集會																															
獵地	地種	府縣	國郡	町村	論地	區分未定地	測量	舊蹟	道路	城塞地	獵地	墓地	火葬場	居留地	雜事	公園	舊蹟	道路	城塞地	獵地	墓地	火葬場	居留地	雜事	公園	舊蹟	道路	城塞地	獵地	墓地	火葬場	居留地	雜事	公園	舊蹟	道路	城塞地	獵地	墓地	火葬場	居留地	雜事	公園	舊蹟	道路	城塞地

部		社		寺		部		理	
雜款	教會	社寺地	佛事	寺院	祭典	社殿	神社	雜款	官有地
	教師 教場 講社 祠宇 說教所 教院 教務所 出張所	賣買 交換 寄付 竹木	佛像 開帳 祈禱 葬儀	宗規 宗務 宗派 本末寺 檀家 興廢 財產附什物 保存金 勸財附寄附 明細帳	祭日 遷座 神饌 幣帛 奉幣使	建物 粧飾具 遙拜所 社務所 制札	神體 興廢 招魂社 神官 皇典講究所 氏子經費 寶物 保存金 明細帳 寄附	圖籍	皇宮地 陵墓地 皇族地 公用土地 各廳用地 拂下地 貸渡地
							地誌 地籍 地圖 編曆 繙譯	江海	下渡地 官沒地 荒地 竹木
							神社地 寺院地 社寺地	敷地	海濱 港灣 江河 堤塘 池沼 附寄洲
							殖產地	署敷地 役所敷地 廨舍敷地 校院敷地 工事敷地 倉庫敷地	
							社寺地	邸宅敷地	
							開墾地 埋立地 田畑 鹽田 涌泉 試驗場 就產地 捕魚採藻 土石堀採		

部		計		會	
雜款	營繕	給與	經費	規制	會計法
	廳舍 神社 監獄	俸給 旅費 賞與 手當 雜給	購求費 廳府縣費 警察費 土木費 衛生費 監獄費 起業費	處務權限 出納	

記録課編纂事務
八年七月十二日編纂事務
順序決定

記録課刊行事務管理
七年十一月十五日第三局
改定第三局第二課(編
纂)之管理八年五月三
十日第二局(記録)ト爲リ
又之管理本局分課事務
ノ部ニ屬ス

記録課中譯掛書區
七年十一月十五日第三局
中譯課ヲ置キ譯書ヲ管
ス本局分課事務ノ部ニ屬
ス

內務省ヨリ各寮局課へ達 七年一月二十日
省中記録課被設一切ノ文書簿冊網羅蒐集編纂致候ニ付其寮其司ニ於テ廻議文書類決裁處置濟次第無遲
滯記録課へ引渡可申此旨相達候事

內務省ヨリ各寮司課へ達 七年三月五日
今般記録課ニ於テ刊行科相設候ニ付テハ諸法令規則及一般ノ頒布ヲ要スル公文ヲ鏤鋟專務ニ爲致候條
各寮司各課トモ上木ノ節ハ同科ニ於テ印刷取扱候條依テ此段相達候也

內務省ヨリ各寮司課へ達 七年三月七日
今般記録課へ翻譯掛相設候ニ付テハ是迄各寮司課ニテ所藏ノ洋籍悉皆同課へ引渡候條可致此段相達候
事

但各寮司課ニ於テ即今必用ノ書類ハ書目ヲ以テ引渡更ニ借用ノ手順ヲ爲シ流用可致事
記録課ヨリ內務省へ伺 七年三月二日
今般本課中譯譯掛御設置相成候上ハ業務ノ繁簡ヲ測リテ繙譯出來候者多少御採用相成申度右ハ本人之
學術ヲ試ミ其材力ニ應シテ相當ノ位地ニ被補候儀ハ勿論之事ニ可有之候得共一朝之試驗ニ據リテ驟ニ

第二局分課職掌 八年七月十二日

八年十月二十三日第二局
ヲ廢シ事務ヲ圖書寮ニ屬
ス

編纂掛

省内ノ回議原書ヲ調査シ事務ノ部類ヲ分チ文書ヲ編纂スルヲ掌ル

日誌兼月報掛

日誌ヲ纂輯シ省内各寮局ノ月報ヲ整頓編纂スルヲ掌ル

刊行兼庶務掛

省内諸刊行ノ事務ヲ調理シ其他需用品ノ取扱等一切ノ庶務ヲ掌ル

圖書保存掛

全國諸公文保存ノ事務及省内既ニ整頓スル文書諸帳簿圖書等ヲ保存シ購書謄寫及各寮局ヘ圖書ヲ貸與スル等ノコヲ掌ル

受付掛

省内ノ文書ヲ受付シ之ヲ各掛ニ分付シ及局中諸回達等ノ事務ヲ掌ル

寫圖掛

繪圖ヲ模寫スルヲ掌ル

寫字掛

編纂及圖書保存ノ掛ニ附屬シ文書ヲ校合シ寫字生ノ取締ヲ爲スヲ掌ル
右之通假定候事

第二局編纂處務順序 八年七月十二日

八年十月二十三日第二局
ヲ廢シ事務ヲ圖書寮ニ屬
ス
九年二月日庶務掛順序ヲ
改定ス

第一條 受付掛ヨリ送致スル回議原書ハ編纂各掛ニ於テ直チニ之ヲ調査シ其完ナルモノハ之ヲ收受シ

其不完ナルモノハ之ヲ區別シ置キ務テ完結セシムヘキ事

第二條 收受スル處ノ文書ハ直ニ寫字掛ニ付ス寫字掛ハ直ニ之ヲ寫字生ニ付シ謄寫セシムヘシ

第三條 原書照會ノ爲メ前議或ハ他ノ的例ヲ引證スルモノアリ省テ書ナキモノハ省略ヲ加フト雖モ素

ヨリ事實詳細ナラシメン爲メナレハ首尾連結ヲ要スル事

第四條 寫字掛ハ淨書校合終リタルモノハ之ヲ編纂掛ヘ送付シ編纂ハ此原本ヲ保存掛ヘ送付シ謄寫本

ハ局長檢査ノ印ヲ捺シ受付掛ヘ送付スヘシ

但附屬ノ書類ハ一切謄本ニ綴屬シ之ヲ主任ヘ送付スルモノトシ只其摘録ノミヲ原書ニ綴屬編纂ス

ヘシ

第五條 往復掛ノ受付簿ヲ逐次謄寫シ之ヲ編纂掛リノ基脚トナシ調査ノ際之ト照合スヘシ

但回議原書寫字掛授受ノ際此冊子ヲ用ユルヲ要ス

第六條 往復掛件名簿各掛擔任ニテ毎日謄寫其用ニ供スル事

第七條 原書調査ニ當リ往復掛件名簿ニ照合シ院省使廳照會等ノ文書既濟ニシテ原文ニ副ハサルモノ

ハ之ヲ區別シ置キ其未濟ナルモノハ原書ニ其事由ヲ付箋摘記シ他日ノ照會ニ供スル事

第八條 調査終テ後チ直ニ其部門ニ編入別冊件名簿ヲ制シ逐次登記シ件名調査並行セシムル事

第九條 回議原書中前申ハ甲寮後申ハ乙寮ノ處分ニ成リ甲乙合セテ初テ結了セルモノアリ一箇月毎ニ

甲乙對照完結スル事

第十條 公文ヲ區分シテ四部トシ謄寫セシムヘシ

第一 他日ノ證據トスヘキ緊要ノ書類ヲ第一部トシ二葉ヲ謄寫シ一本ヲ主任ヘ交付シ一本ヲ編纂用

ニ供シ原書ヲ直ニ保存スルヲ例トス乃チ正院御達御指令書類規則原書及成規定例トナルヘキ

モノ内外人民土地家屋貸借及訴訟外國政府及外國人ニ關スル一切ノ事件

第二 成規定例ニ依テ卿ノ名ヲ以テ處分セシ書類ヲ第二部トシ一葉ヲ謄寫シ之ヲ主任ヘ交付シ原書

ヲ以テ編纂用ニ供スルヲ例トス

第三 原書ヲ全寫セス直ニ摘錄スル書類ヲ第三部トシ其要旨ヲ摘錄シ其掛ニテ直ニ摘錄シ原書ヲ主

任ヘ交付スルヲ例トス

第十一條 寫字ニ付スルト付セサルトヲ論セス退省時限ニ至テハ悉皆取集メ書函ニ容レ保存掛ニ渡シ退省スル事

但寫字ニ付セシモノハ寫字掛ニテ擔當スヘシ翌朝請取方ハ保存條例第十六條ニアルヲ以テ茲ニ略ス

第十二條 尋常ノ繪圖計表等ハ成丈ケ原書ト共ニ謄寫スヘキモ一時ニ成功シ難キモノハ一旦主任ヘ送付シ月末ニ至リ製圖掛ニテ摸寫シ交換スル事

但本文ノ如キハ件名簿ニ符合ヲ記シ月末謄寫ノ便ヲ計ルヘキ事

第十三條 回議原書受付掛ヨリ送付セハ直ニ件名簿ニ收受ノ事ヲ登記シ書類謄寫ノ擔任ニ付スルハ別冊證印簿ヲ以テシ謄寫了レハ再ヒ件名簿ニ其事ヲ記シ受付掛ヘ送付スヘシ總テ件名簿ヘハ收受ト副本返付ノ事ノミヲ記スル事

但寫字并繪圖掛ヘ送付方ハ證印簿ニ數通ノ番號ヲ列記シ一件毎ニ證印ヲ捺サシメ謄寫了リ還付スルニ從ヒ番號ヲ塗抹スル事

第二局議案 八年七月十二日
編纂調査處務順序別紙ノ通假定致シ可然哉相伺候也

第二局保存掛處務順序 八年七月十二日

第一條 本部ハ内務省ニ於テ永世照憑ニ供スヘキ文書ヲ保存スルヲ掌トル而メ文書ハ之ヲ大別シテ二類トシ第一類ヲ公文第二類ヲ圖書トス

第二條 文書ハ第一類第二類ノ別ヲ總テ庫中ニ收藏シ置クヘシ其手續ハ文庫規程ニ照シ部門ノ分類ニ因リ位置ヲ區別シテ一目瞭然タルヲ要スヘシ

第三條 院省使廳府縣ノ文書ハ逐次編纂ノ分毎年期月通目錄ヲ差出サシメ第一部ヨリ送致シ來ルルハ卿輔回覽濟ノ上各廳ヲ區分シ庫中ヘ收藏シ本書ハ其官廳ニ留置キ嚴重保存セシムヘシ

第四條 當掛擔任ノ事務ニツキ院省使廳府縣ヨリ照會及伺届等第一部ヲ經テ送致シ來ルルハ回答指令

第二局保存掛處務順序
八年十月二十三日第二局
ヲ經テ事務ヲ圖畫察ニ屬
ス

或ハ回覽ニ供スヘキモノ各之カ考案ヲ草シ卿輔又ハ局長ノ決判ヲ乞テ處分スヘシ

第五條 既ニ整頓シタル第一類ノ公文原書ヲ第四部ヨリ送致シ來ルルハ同部ニ於テ撰定セシ分類ニ因テ公文目錄ヘ標目番號册數等ヲ詳悉登記シ第二條ノ手續ヲ爲シ之ヲ庫中ヘ收藏スヘシ

第六條 正院及本省命令原書其他外國人條約書等ノ如キ緊要ナル文書ハ分類シテ圖書目錄ヘ標目番號册數ヲ記シ以テ尋常文書ト區別シ第二條ノ手續ヲ爲シ之ヲ庫中ヘ收藏スヘシ

第七條 公文原書及命令原書等各寮局ヨリ當掛ヘ借覽ヲ乞フルハ其事由ヲ局長ヘ具申シ局長認允ノ檢印ヲ徵シテ後之ヲ許可スヘシ

但可成丈ケ庫中ニ就テ見閱セシムルヲ要スト雖モ不得已事故アリテ其寮局ヘ持行クルハ貸渡證印簿ヘ其趣ヲ登記シ主任ノ印ヲ徵シ置キ退省ノ都度返付セシメ翌朝更ニ貸渡スヘシ

第八條 第二類ノ圖書ハ分類シテ圖書目錄ヘ標目番號册數等ヲ詳悉登記シ貼箋捺印濟ノ上第二條ニ照シテ庫中ヘ收藏シ各寮局ヨリ借用ノ旨申來ルルハ貸渡證印簿ヘ收領者ノ印ヲ徵シテ貸渡シ目錄上ヘ其寮局名ヲ朱書シテ符合トスヘシ尤モ備置無之分ハ其時々回議立案局長ノ決判ヲ乞ヒ第一部ヲ經テ第四局ト合評購買シ同局ヨリ送致シ來レハ亦前文ノ手續ヲナシテ之ヲ貸渡スヘシ

但買上代價五十圓以上ハ卿輔ノ決判ヲ乞フモノトス
第九條 刊本ニ無之圖書各寮局ヨリ借用ノ旨申來ルルハ其事由ヲ局長ヘ具申シ局長ノ決判ヲ乞ヒ寫字掛ヘ分付シ寫本交付簿ヘ收領者ノ印ヲ徵シテ謄寫セシメ同掛ヨリ寫了送致シ來レハ第八條ノ手續ヲナシテ貸渡スヘシ

但校合并寫字料渡方等ハ同掛ニテ取計フモノトス

第十條 太政官布告日誌及諸省布達等第一部ヨリ送致シ來レハ之ヲ類集シ一年毎ニ日月ノ順序ヲ逐ヒ調訂編冊シ卷首ニ其件名ヲ掲記シ以テ搜索ニ便ナラシメ第八條ニ照ラシテ收藏ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 一切ノ文書ハ毎年暑寒兩度曝書規程ニ照シテ撒晒スヘシ

第十二條 文庫ノ開閉及掃除等一切ノ扱方ハ保存條例第三條ヨリ第六條ニ至ルマテノ成規ニ照シテ之

ヲ取行ヒ退省ノ時ハ管鑰ヲ當直ノ者ヘ引渡シ翌朝出省ノ節又之ヲ受取ルヘシ

第二局受付掛處務順序 八年七月十五日

第一章 諸公文ヲ往復掛及各寮局ヨリ送り來ルルハ其送致簿ニ捺印シテ領收スヘシ

第二章 領收シタル公文ノ内各寮局ヨリ合議照會等ノ文書ハ受付送付簿ニ其件名ヲ登記シ之ヲ局長ニ呈シ往復掛ヨリ送及セル處分既濟ノ廻議冊ハ廻議受付送付簿ニ往復掛ノ番號ヲ朱寫シ主任ノ番號ヲ墨寫シ以テ其廻議冊ヲ編纂掛ニ附屬シ廻議受付簿ニ登記シタル番號ノ傍ヲニ證印ヲ徵スヘシ

第三章 諸廻議冊本ヲ編纂掛ヨリ送致セルハ當初原書ヲ受付タルルハ牒簿番號ニ照シ其主任ヘ送付シ證印ヲ取ルヘシ

第四章 本局ノ主任ニ係ル廻議書ハ表紙ノ上面ニ番號ヲ符シ其件名ヲ牒記シ之ヲ廻送シテ證印ヲ徵スヘシ決判了ツテ廻戻シ來ルルハ其主任ノ掛リヘ送付シ處分濟ノ後再ヒ主任ヨリ送付シ來ルルハ上局往復掛ヘ送付シ證印ヲ徵シ又再ヒ往復掛ヨリ送付シ來ルルハ第二章既濟廻議取扱ノ手續ト同一タルヘシ

第五章 諸達布告ノ類ヲ受付タルルハ其件名ヲ牒録シ之ヲ局長ニ呈スヘシ廻達スヘキモノハ局長ノ承認捺印シタル後チ廻送ノ手續ヲナスヘシ

第六章 寫字枚數書ヲ編纂掛ヨリ送り來ルルハ之ヲ合算整書シ局長ニ呈スヘシ

第二局議案 八年七月八日
本局處務ノ手續今般御更正ニ付當掛ニ於テ諸公文取扱ノ順序差向キ別紙之通假定遵行致可然哉

内務省ヨリ第三局ヘ達 八年七月二十五日

其局中準刻事務ヲ分割準刻局設置候條右事務同局ヘ可引渡此旨相達候事

内務省達 乙卯八月十一日 號府縣

準刻局設置

八年十月二十三日府ヲ屬シ事務ヲ圖畫寮ニ屬ス

第二局受付掛處務順序

八年十月二十三日第二局ヲ屬シ事務ヲ圖畫寮ニ屬ス

當省中第七局ヲ廢シ第三局中準刻事務ヲ分割更ニ準刻局衛生局ヲ置事務取扱候條爲心得此旨相達候事

準刻局新聞取扱事務大綱 八年七月二十二日

準刻局新聞取扱事務大綱 八年九月十五日準刻局處務順序ヲ假定ス

第一條 凡ノ新聞雜誌每號之ヲ檢閱シ條例ニ觸ル、ノ最著シキ箇條アレハ其大旨ヲ摘載シ條例ニ觸ルル所以ヲ具狀シ卿ノ檢印ヲ得テ之ヲ司法卿ニ報告ス

第二條 司法卿右ノ報告ヲ得テ七日以内ニ其罪ヲ糾治スルニ著手セス而シテ其著手セサル所以ヲモ回答セサル時ハ本局長ヨリ檢事ニ之ヲ催促シ時宜ニヨリ局長直ニ司法卿ニ至リ又ハ檢事ニ照會シ之ヲ催促シ其遲滯ノ事由ヲ檢第シテ卿ニ報呈スヘシ

準刻局ヨリ内務省ヘ伺 八年七月八日
本局ノ事務追々順序整頓可仕管ニ候得共即今幾ント創業ノ體ニ付差當リ左ノ大綱ヲ冒トレ新聞取扱事務勉勵可仕心得ニ御坐候此段相伺候

内務省ヨリ第二局ヘ達 八年八月三日

淺草文庫ニ有之候圖書類自今其局ニ於テ可取扱旨先般相達置候處右書籍ノ義ハ前々ヨリ衆庶借覽ヲ差許來候儀ニモ有之候ニ付右書籍並版本類共更ニ第六局ニ於テ掌管爲致候條此旨相達候事

第二局ヨリ準刻局ヘ掛合 八年九月七日
本月二日貴局長ノ口留陸軍兵學寮ニ御移轉ニ付判任官一名爲御用辨本省ヘ出張候様大少丞ヨリ御達申候趣ノ處于今御出張無之差支候間急速各寮局同様出張相成候様及御掛合候也

準刻局處務順序假定 八年九月十五日

第一條 準刻局ハ著譯圖書ノ出版ヲ勾檢シ其板權免許ノ請願ヲ聽許シ之ヲ保護スルノ事務ヲ管理ス

第二條 局中ノ事務ヲ分テ四項トナス
一 検査掛
二 著譯圖書出版ノ願届納本及新聞紙等條例ニ照準シ之ヲ審査シテ可否考案ヲ起草シ及ヒ僞版訴狀

ノ調査ヲ掌ル

編纂掛

本局建議自他往復ノ文案ヲ起草シ一切ノ文書ヲ類別編成スルヲ掌ル

書籍掛

本局貯藏ノ圖書及ヒ日々出版人ヨリ納ムル處ノモノヲ類別整頓シ其保管ヲ掌ル
受付掛

願伺届書納本及ヒ上中下達ノ文書ヲ受付交送シ局中需用ノ器具ヲ調理シ其他雜務ヲ兼掌ス

第三條 出版届本省受付掛ヨリ送付アルキ本局受付掛之ヲ收受シ其題名番號月日ヲ牒簿ニ登記シテ檢査掛ニ付シ主任之ヲ受ケ牒簿ニ鈐印シ其届書ニ記載スル書名及大意ヲ檢考シ出版題名録ニ詳記シテ之ヲ局長ニ出シ檢印ヲ受ケ若シ他人版權ヲ有スル圖書ヲ校訂シ或ハ註解附録圖書等ヲ加ヘ出版スルモノニシテ原本人ノ證書ナキトキハ其旨附箋シ題名録ニ登記シテ還付スヘシ

第四條 出版届書ヲ檢査シテ原本人ヲ妨ケ或ハ世治ニ害アルモノト認ムルキハ草稿ヲ徵取シテ之ヲ檢閱シ其考案ヲ具シテ局長ノ檢印ヲ受ケ卿ノ裁決ヲ經テ處分スヘシ

第五條 出版届書中刻成期限ナキカ或ハ書中ノ大意ヲ掲ケサル等條例雖形ニ違フモノハ其旨附箋シテ返付スヘシ

第六條 版權免許ヲ願出ルキハ檢査掛之ヲ受ケ書面大意ヲ檢考シ版權題名録ニ詳記シ許否ノ意見ヲ付シテ之ヲ局長ニ出シ其決印ヲ受ケ免許狀ヲ附與シ或ハ附與シカタキモノハ局長放査ノ上卿輔ノ決印ヲ受ケ局長ノ檢印ヲ得テ指令スヘシ

第七條 新聞紙發行願出ルキハ檢査掛之ヲ受ケ條例ニ照シテ可否ヲ勘査シ新聞題名録ニ詳記シテ局長ノ決印ヲ受ケ例規ニ依テ許可スヘシ

第八條 反刻届出ルキハ其書名ヲ檢シ反刻題名録ニ登記シテ局長ノ檢印ヲ受ケ若シ版權アルモノヲ以テ反刻届出ルキハ其旨附箋シテ之ヲ返付シ附箋ノ旨題名録ニ記載スヘシ

八年十月二十四日院令
國務院版分ヲ定メ處務順序ニ追加ス

第九條 各官廳ニ於テ出版スルノ照會アルモ亦其可否ヲ審査シ出版題名録ニ登記シテ局長ノ檢印ヲ受ケクヘシ

第十條 納本ヲ檢査シテ條例ニ觸ル、モノハ其徵證ヲ摘録シ卿輔ノ決判ヲ受ケ之ヲ各地方ニ付シ或ハ司法卿ニ照會シテ處分スルノ順次ヲ爲スヘシ

第十一條 納本ヲ檢シテ全國貢租海關稅及歲入出其他國債御國幅員戶數人口里程等計算ニ屬スルモノ或ハ兵書海圖曆本教義ノ類照合スヘキ正確ノ書ナキモノハ納本ヲ以テ主任ノ官廳ニ照會シテ可否處分スヘシ

第十二條 三部ノ納本ハ本局受付ヨリ書籍掛之ヲ受ケ牒簿ニ登記シテ檢査掛ニ付シ檢考濟ミ本局收置ノ一部書名小口書ヲ爲シ番號並ニ部類ヲ記名シ各部門ノ書函ニ收入シ外二部ハ毎月定日ヲ設ケ目錄ヲ添ヘ史官及東京書籍館ヘ回付スヘシ若シ書名上著譯者氏名ナキカ或ハ出版年月日出版人氏名記刻ナキ等條例ニ違フモノハ改刻シ更ニ納本スヘキ旨附箋シテ還付スヘシ

第十三條 版權免許料一月ヨリ六月マテノ分ハ十月限リ七月ヨリ十二月マテノ分ハ翌年三月限リ每半年各府縣ヨリ收送アルキ其金員並書名著譯者出版人籍族氏名等詳記セシ精算牒ヲ以テ金員ニ照シ局長ノ檢印ヲ受ケ用度掛ヘ送付シ同掛長受領ノ檢印ヲ受ケクヘシ

第十四條 新聞紙ハ檢査掛直ニ之ヲ受ケ牒簿ニ登錄シ一々檢閱シテ每紙必ス檢者ノ印ヲ捺シ條例ニ照シ苟モ疑シキモノハ其一篇ニ朱ヲ圍點シ意見アルモノハ其理由考案ヲ付シ之ヲ局長ニ出シ局長放査ノ上卿輔ノ決判ヲ受ケ司法省及地方裁判所府縣廳等ヘ照會スヘシ

第十五條 凡ゾ本局ニ送付シ又諸向ヘ送達スル文書細大トナク其件名冊數及本局受付ノ月日番號ヲ簿牒ニ登記シ其主任ニ付シ每次受領ノ鈐印ヲ受ケ緘閱點檢ノ簡明ヲ要スヘシ

第十六條 凡ゾ出版ニ關スル諸願伺届等送付アレハ其主任之ヲ受ケ事理ノ當否ヲ放査シ其事由ヲ掲ケテ草案ヲ起シ正院伺或ハ例規ニ係ル等ノ事件ハ局長ノ檢印ヲ受ケ卿輔ノ決判ヲ乞ヒ正院上陳ヲ始メ總テ主任淨書シ上中下達トモ受付ヲ經テ送致ス尋常例格アル事項ハ局長ノ決印ヲ受ケテ處分スヘシ

第十七條 各官廳ヨリ往復ノ文書モ亦前條順次ニ異ナラス

第十八條 回議原書ハ事ノ輕重ヲ問ハス局中限ノ條件ト雖モ全ク處分濟ノ後記錄掛ヘ送付シ謄寫ノ上寫本ヲ以テ返付アル之ヲ編纂掛ニ付ス

但再願同差出スヘキ指令ニ及フトモ之ヲ決裁ト見做シ記錄掛ヘ送付スヘシ

第十九條 牒簿ハ太政官布告及各院省布達其他日誌回達ヲ始メ各部門ヲ分テ收綴シ局中各員ノ回覽ニ付ス

第二十條 回議原書其他一切ノ文書各類別ノ簿牒ヲ製シ決裁ノ順序ニ假綴シ首尾連結ノ後調理編成シ保管ヲ嚴ニシテ散佚ナカラシムルヲ要ス

第二十一條 局中ノ事務細大トナク毎月每歲未決既決ヲ區分シ詳明ナル月報考課狀ヲ製設シ卿輔ノ檢閱ニ呈ス

第二十二條 月報科目左ノ如シ

出版局 版權願 正院上申 全國布達

府縣達 例規改正 諸向往復 新聞紙願

新聞紙犯則照會 納本 偽版 發賣禁止

出版差止 版權免許料 免狀再願手數料

第二十三條 雜務ハ局中所用ノ筆墨紙及書函椅子テール等ノ諸器各員必需ノ物品通牒ヲ以テ其都度用度掛ヨリ辨收スヘシ

第二十四條 局中常用ノ器什其他臨時買收ノ物品ハ所用ノ旨ヲ起草シ局長ノ決印ヲ受ケ用度掛ヘ照會スヘシ

第二十五條 本局所藏ノ圖書ハ僞版類版其他參照ニ備具シ一日モ闕ク可カラサルモノニ付キ局外ノ借覽ヲ許サス

但出版事務ニ係ル貸與ハ此限ニアラス

第二局政務事務ヲ管ス
八年十月二十三日第二局ヲ廢シ事務ヲ圖書寮ニ屬ス

圖書寮設置
九年四月十七日寮ヲ廢シ局ヲ置ク

第二局及準刻局ヲ廢シ事務ヲ圖書寮ニ屬ス
九年四月十七日圖書寮ヲ廢シ局ヲ置ク

圖書寮刊刷事務ヲ管ス
八年十一月八日刊行庶務ヲ廢シ局ヲ置ク

第二十六條 凡ソ他方ノ官員ニ接待諮問スルハ奏任之ニ任ス

但局長ノ指令ニ因テハ錄接待諮問スル事アルヘシ

第二十七條 呼出或ハ面謁ヲ乞フ者ヘ應接ノ際例規ニ涉ルカ又ハ將來ノ準據ニ關スル事件アルハ其云々記載シ主任名印シテ雜書牒簿ニ收綴スヘシ他院省ニ出頭スルモ亦之ニ準ス

第二十八條 局中ノ員地方發程歸省或ハ病氣忌服其他諸願同屆等局長ニ呈シ檢印ヲ得テ上達スヘキモノハ職務掛ヘ出スヘシ

準刻局ヨリ內務省ヘ伺 八年九月十五日

今般出版條例公布ニ付本局處務順序別冊ノ通取調申候尤事務釐正ノ上ハ自然御改定可相成儀モ可有之ニ付其都度可相伺ト存候先ツ以書面ノ通御假定相成度

內務省ヨリ第二局ヘ達 八年九月二十五日

政表編製ニ付上申之事件自今其局ニ於テ取調別紙正院御達ニ照準整理可致此旨相達候事 別紙ハ本省當省中圖書寮被置候旨別紙之通御達相成候條爲心得此旨相達候事 別紙ハ本省

內務省ヨリ各寮局ヘ達 八年九月二十八日

內務省ヨリ第二局準刻局ヘ達 八年十月二十三日

其局相廢シ右事務圖書寮ニ於テ管理候條此旨相達候事

內務省ヨリ各寮局ヘ達 八年十月二十三日

本省中第二局準刻局ヲ廢シ右事務圖書寮管理候條此旨相達候事

圖書寮ヨリ大藏省紙幣寮ヘ通知 八年十月二十四日

刊刷モ、儀是迄當省第二局ヨリ直ニ其御寮活版局ヘ及懸合印刷致來候處自今右事務當寮所管相成候

ニ付従前之通當寮ヨリ活版局へ懸合候様可致此段及御通知候也

圖書寮議案 八年十月四日

諸印刷モノ是迄第二局ニ於テ取扱罷在候處今般同局被廢右事務當寮所管相成候付テハ従前ノ手續ヲ以テ當寮ヨリ直ニ活版局へ懸合印刷候様致度依テ紙幣寮へノ御通知案左ニ相伺候也

準刻局處務順序追加 八年十月二十四日

一 院省使廳府縣ノ藏版ニシテ繙刻許可セサル圖書當省へ照會若クハ出願等アルトハ版權ヲ有スル一般ノ圖書ト同様ニ見做シ處分スルト雖モ版權免狀竝ニ免許料ノ處分ニ及ハス

但院省使廳ハ承知ノ旨ヲ回答シ府縣ハ願ノ趣聞届ノ指令ニ及フヘシ

一 官私ノ資金ヲ以テ設立セシ小學校等ニ於テ藏版ノ分ハ府縣ヨリ版權願出ルトモ人民一般ト同様版權免狀附與ノ處分スヘシ

但全ク官立學校ノ藏版ハ院省使廳藏版ト同ク處分スヘシ

準刻局ヨリ內務省へ伺 八年十月十八日

院省使廳府縣藏版處分別紙ノ通相定則當局處務順序へ追加致シ可然哉相伺候也 八年十月二十四日決刊

圖書寮ヨリ寮中へ達 八年十一月四日

本寮分課職掌別冊之通假定候條此段相達候事

圖書寮分課職掌

第一條 寮中各掛ヲ置ケ左ノ如シ

本寮

寮頭附書記

刊行掛

受付掛

準刻局處務順序追加
八年十一月四日圖書寮分
課職掌ニ定ム

圖書寮分課職掌

九年一月十四日寮中分課
ヲ改ム

計算掛

第一分局 本省表二階ヲ云

編纂掛

出版検査掛

出版事務掛

日誌竝月報掛

書籍掛

大藏省引繼掛

第二分局 東長屋ヲ云

繪圖掛

寫字掛

校合掛

第二條 寮頭附書記

一 頭助ノ命ヲ受ケ文案ヲ草シ答議ヲ起シ上申下達ノ往復ヲ疏通スト雖モ事樞密ニ涉ルモノハ漏洩ヲ

禁戒シ其他一切ノ公文ヲ淨書スルコトヲ掌ル

第三條 刊行掛

一 本省及各寮局一切ノ印刷刊行ノ事務ヲ調理スルコトヲ掌ル

第四條 受付掛

一 院省使廳府縣及各寮局一切ノ往復文書ヲ受理交付スルコトヲ掌ル

但シ出版ニ係ル諸願届納本等モ收受シテ各掛へ分達スヘシ

第五條 計算掛

一本寮一切計算ノコトニ任シ定額内外ノ精算ヲ區分シ其他各員需用ノ器具ヲ辨收スルコトヲ掌ル

第六條 編纂掛

一 諸詔勅諭法度條例決議原書及外國關係ノ文書等一切本省各寮局ニ取扱フ所ノ公文ヲ調査シ部類ヲ分チ編纂スルヲ掌ル

第七條 出版検査掛

一 著譯圖書出版ノ願届届及各新聞紙等條例ニ照準審査スルヲ掌ル

第八條 出版事務掛

一 出版ノ事務ニ因リ臨時開席商議查辨スルヲ掌ル

第九條 日誌並月報掛

一 本省日誌並布達全書ヲ編製シ省中各寮局ノ月報考課狀ヲ整頓スルヲ掌ル

第十條 書籍掛

一 本寮備具スル處ノ一切ノ書籍並各府縣申牒ノ諸公文既ニ整頓スル帳簿等總テ本寮ノ圖書ニ係ルモノヲ保存管守シ及新刊納本ヲ受理シ成規ニ從ヒ處分スルヲ掌ル

第十一條 大藏省引繼掛

一 大藏省ヨリ引繼ノ事務ヲ調査シ部類ヲ分チ整頓スルヲ掌ル

第十二條 繪圖掛

一 頭助及編纂掛ノ指揮ニ隨ヒ一切ノ繪圖ヲ模寫シ及本寮各寫圖生ヲ管理スルヲ掌ル

第十三條 寫字掛

一 編纂掛ニ附屬シ文書ヲ謄寫シ及ヒ本寮各寫字生ヲ管理スルヲ掌ル

第十四條 校合掛

一 編纂掛ニ附屬シ謄寫文書ヲ校合シ誤謬ヲ更正シ裝綴スルヲ掌ル

第十五條

一 前條々ノ通り豫メ假定スト雖其小細節目ニ到ツテハ各掛ノ處務順序ニ憑據スヘシ尤事務釐正

八年十二月日閣議第十三條第十四條ヲ改正ス

潤色ノ上ハ順序モ亦更改ヲ要ス

圖書寮議案 八年十月三十一

本寮各掛事務順序之義嚮ニ草案ヲ以テ上陳仕候處尙繁ヲ省キ冗ヲ去リ一層簡略ニ調理可致旨御下議相成遂審查候處右事務順序之儀ハ既ニ各掛ニ於テ夫々假定相成候向モ有之候ニ付更ニ本寮分課職掌別册之通御假定相成可然哉寮中御達案調査仰上裁候也

圖書寮議案 八年十月廿八日
書籍購買ノ義ハ各寮局之需用ニ應シ舊第二局中圖書保存掛ニ於テ購買ノ上貸渡方取扱來候處當寮被置候ニ付テハ右事務書籍掛ニ於テ從前之通取扱可然哉此段相伺候也

圖書寮刊行掛處務順序 八年十一月八日

第一 凡ソ刊刷ニ屬スル所務概略載セテ刊行條例ニアリ依テ今爰ニ其條例中洩ル、所ノ順序及ヒ簿册取扱等ノ事ヲ記スル左ノ如シ

第二 管守スル所ノ簿册ハ○上梓簿○刊行類別錄○刊行書目○稟議簿○刊行來書○刊行交付簿○發賣書手數料收入簿○活版局證章簿○同扣○刊刷經費簿○合議簿合セテ十一部ナリ

第三 新彫改刻共毎編校合摺ヲ取置キ之ヲ上梓簿ニ編綴シ且其書名ヲ刊行書目ニ記シ新刻セシ年月ヲ認メ入ルヘシ

第四 各寮局ヲ區分シテ刊行類別錄ヲ製調シ彫刻印刷共書肆ニ命セシ月日及其用紙其印刷ノ部數ヲ記載シ置キ月末ニ至リ書肆ヨリ差出ス所ノ費用調書ニ通書共ヲ之レニ照シ合セ相違ナキニ於テハ類別錄ニハ調査ノ印ヲ捺シ調書ニハ掛リノモノ檢印シテ之ヲ寮内計算掛リニ送付ス其扣書ハ刊刷經費簿ニ編入ス

但類別錄ニ調査ノ印アルモノハ代價拂濟トナスヘシ

第五 刊刷モノニ付經伺ノ書類ハ一切之ヲ稟議簿ニ編綴シ且各寮局ヨリ懸合書ヲ以テ印刷ヲ要シ來ラハ之レニ寮頭ノ檢印ヲ請ケ直ニ書肆ニ命スヘシ印刷既濟セハ此掛合書ノ欄外ニ濟ノ印ヲ押捺シテ刊行來書ニ綴込ミ其刷成ノ書ハ刊行交付簿ヲ以テ主務ノ寮局ニ付シ證印ヲ徴スヘシ

圖書寮刊行掛處務順序
九年一月十四日分課リ改定シ庶務課中刊行掛ヲ置ク
刊行條例ハ文書門記錄志表ノ日ニ載ス

嚮ニ上陳セシ草案ハ廢紙ニ付キ候ス

第六 月末書肆ヨリ發賣手数料ニ調書ヲ添テ差出スルハ其發賣ノ部數ヲ調査シ金員ヲ發賣手数料收入簿ニ記載シ寮内計算掛ヘ送付納濟ノ證印ヲ受ク尤其金圓ハ書肆ヨリ直ニ同掛ヘ上納スルモノトス

第七 活版局ニ於テ印刷スル書類ハ活版局證章簿ヲ以テ同局ニ送付シ證印ヲ徵ス其扣簿ニハ書名及始メテ送付セシ月日刷立ノ員數刷成送達ノ日等ヲ詳細ニ留置キ後日經費調書同局ヨリ到達セハ之レニ照シ合セ此調書モ亦寮内計算掛ヘ送ルヘシ

但此經費調書ハ必ス副本ヲ作り本書ヲ計算掛ヘ送り副本ハ印刷經費簿ニ編入スルモノナリ

第八 刊刷モノニ付各寮局ヨリ合評アルモハ之レヲ合議簿ニ謄寫シ其廻議ハ押印濟寮内受付掛リヘ付ス且決判濟ノ書ニ刊行スル草稿ヲ添ヘ再達セハ則刊行條例ニ從テ處分スルモノナリ

右之通候也

圖書寮分課職掌 八年十二月二日

第十三條 寫字掛

一 編纂掛ヨリ送付スル公文及ヒ寮中謄寫ノ事ヲ司リ編纂掛ニ協議シテ各寫字生ヲ管知スルコトヲ掌ル

第十四條 校合掛

一 寫字掛ヨリ送付スル公文及ヒ寮中謄寫ノ文書ヲ校合シ誤謬ヲ更正シ裝綴スルコトヲ掌ル

圖書寮議案 八年十二月二十日
當寮第四號ヲ以御達相成候本寮分課職掌假定ノ内

第十三條 寫字掛

一 編纂係ニ附屬シ文書ヲ謄寫シ及ヒ本寮各寫字生ヲ管知スルコトヲ掌ル

第十四條 校合掛

一 編纂掛ニ附屬シ謄寫文書ヲ校合シ誤謬ヲ更正シ裝綴スルコトヲ掌ル
ト有之候處編纂モ寫字校合モ同ノ掛リノ名稱ニ候得者附屬シト有之候ハ書ヘハ地理寮ノ章程ニ勸業寮

圖書寮分課職掌中改正
九年二月二日御達相成候
順序ヲ改正ス

圖書寮章程規定

別冊ハ次ノ編制章程ト引換廢止スルコトヲ以テ依

圖書寮編制章程改正

八年九月二十八日圖書寮
ヲ廢止九年四月十七日寮
ヲ廢止局ヲ廢止十八年六
月二十五日局ヲ廢止總務
局第二部ニ圖書寮ヲ置ク

内務省ヨリ圖書寮ヘ達 八年十二月二十八日

其寮章程別冊之通相心得可申尤不取敢草稿之儘授與候條來歲早々可申立候事
但意見之次第モ候ハ、來歲早々可申立候事

内務省ヨリ圖書寮ヘ達 九年一月十二日

其寮職制及事務章程客歲授與候處其後職名増置及局課等釐革ニ因リ更ニ別冊之通改正候條最前相渡置候分引換可申此旨相達候事
(別冊)

圖書寮職制及事務章程

圖書寮ハ古今ノ圖書記録ヲ保存シ官民ノ啓蒙圖書及ヒ出版ヲ管知スル等ノ事ヲ掌トル其事務ヲ支分シテ三課ト爲ス

編纂課

出版課

諸務課

職制 頭

第一 本寮ノ諸官員ヲ指揮シ寮中一切ノ事務ヲ管理シ以テ古今ノ圖書記録ヲ保存シ官民ノ著譯圖書ヲ管知シ版權免許等ノ事ヲ掌ル
第二 寮中諸官員ノ勤惰ヲ監視シ其事務ヲ獎督シ能否ヲ識別シテ其黜陟ヲ要スルハ之ヲ卿ニ具

狀ス

權頭 職掌責任頭ニ亞ク

助

頭ノ職掌ヲ助ケ頭事故アルキハ一切ノ事務ヲ代理スルヲ得

權助

職掌助ニ亞ク

大屬 權大屬 中屬 權中屬

少屬 權少屬 史生 寮掌

事務章程

寮中ノ事務大別シテ上下二款トナス其上款ハ頭意見ヲ具シ卿ノ議判決定ニ據ツテ之ヲ施行スルモトス其下款ハ頭委任ノ權ヲ以テ決判施行スルヲ得

上款

第一條 圖書記録保存ノ方法ヲ設立更正スル事

第二條 著譯圖書取締ノ方法ヲ設立更正スル事

第三條 官民著譯圖書ノ出版條例ニ抵觸スルモノヲ禁止スル事

第四條 諸新聞雜誌雜報ノ新聞紙條例ニ違フモノヲ司法省若クハ其地方官ヘ照會スル事

十三年二月二十六日第五條ヲ改正ス

第五條 新タニ發行セントスル諸新聞紙雜誌雜報ノ世ヲ害スルノ疑アルモノヲ禁止スル事

第六條 既ニ授與シタル版權ヲ追奪スル事

第七條 本省ノ日誌政表ヲ編製スル方法ヲ設立更正スル事

第八條 獻本ヲ處分スル事

第九條 寮中各課ヲ廢置分合スル事

第十條 本寮掌管ノ事務ニ於テ府縣ニ指令布達シ又ハ院省使等ニ稟議照會スル事

第十一條 寮規外ノ事件ヲ處分スル事

第十二條 定額外ノ物品ヲ購求スル事

下款

第十三條 圖書記録ヲ蒐集保存スル事

第十四條 諸公文ノ成規定例トナルヘキモノヲ編纂スル事

第十五條 出版條例ニ照準シ著譯圖書ノ出版屆版權願ヲ受理スル事

第十六條 出版條例ニ準據シ版權免許狀ヲ授與スル事

第十七條 本省ノ日誌政表ヲ編製スル事

第十八條 本省刊行印刷ノ事

第十九條 弘曆ノ願ヲ準允スル事

第二十條 諸新聞紙雜誌雜報發行ノ願ヲ準允シ及ヒ新聞條例ニ照準シ之ヲ検査スル事

第二十一條 版權免許料精算ヲ公報シ著譯圖書ノ計表版權書目等ヲ公報スル事

第二十二條 官民ノ納本ヲ處分スル事

第二十三條 本寮掌管ノ事務ニ於テハ便宜人民ヲ喚問督促スル事

第二十四條 寮規ニ照據ノ事件ヲ處分スル事

第二十五條 本寮掌管ノ事務ニ於テハ頭ノ名ヲ以テ府縣ヘ推問督促照會シ又ハ院省使等ノ推訊疑問ニ

十三年二月二十六日第二條ヲ改正ス

- 據リ之ヲ説明回答スル事
- 第二十六條 本寮掌管ノ事務ニ於テ各寮局課等ニ交渉スルモノハ每事合議處分スル事
- 第二十七條 寮中ノ簿書類彙整頓スル事
- 第二十八條 寮中官員ノ俸給旅費等一切ノ諸費各其部類ヲ分チ毎月每歲計表ヲ製スル事
- 第二十九條 寮中一切ノ事務各部類ヲ分チ月報年報ヲ製スル事
- 第三十條 寮中一切ノ費用ハ簿冊ニ詳録シ每件頭ノ檢印ヲ以テ之ヲ證スル事
- 第三十一條 寮中各課ノ官員ヲ左右交替スル事

圖書寮分課 九年一月十四日

編纂課

- 本務
- 日誌年報掛
- 大藏省引繼掛
- 燒亡調査掛
- 寫字掛
- 寫圖掛
- 校合掛
- 出版課
- 版權授與掛
- 新聞紙檢査掛
- 庶務課
- 受付掛

圖書寮分課
十年二月十二日課ヲ廢シ
各掛ヲ收置ス

計算掛

刊行掛

圖書保存掛

書記

圖書寮ヨリ內務省へ上申 九年一月十二日
本寮中各掛ヲ大別シ別紙之通課名相設候條此段開申候也 九年一月十四日決刊

圖書寮ヨリ寮中へ達 九年二月十日

課長權限當分別紙ノ通假定候條此段爲心得相達候事

課長權限 編纂 出版 諸務

各一課或ハ二課ヲ擔當シ成規例格ヲ照シ所務ノ順序ヲ明ニシ其職任ノ事ハ頭助ニ對シ其當否ヲ論辨スルヲ得可シ

各般ノ事務頭助ノ判決無クシテ施行スルヲ得スト雖モ調査ノ際各寮課主任或ハ出版屆人へ推問スル等皆ハ編纂課ニテ府縣中職文書ヲ授受上ノ儀往復掛ニ諮瑣末ノ事項ハ其時々頭助ノ允許ヲ請フニ及問シ出版課ニテ出版屆人ヲ喚出シ事實ヲ推問スル類ハス整理ノ後開申スルヲ得可シ

課中諸官員ノ能否勤惰ヲ監視シ之ヲ頭助へ審案具狀ス可シ

但過誤失錯ニ出且事項瑣細ニシテ改正スル時ハ事ニ害無キ類其主任ニ對シ忠告スルヲ得可シ
課中各掛事務ノ繁閑及各員ノ所長ヲ稽査シ甲ヲ乙へ轉換シ或ハ彼ヲ減シ此へ増ス等諸務課中ニテ刊交換シ受付掛ヲ減シテ其實況ヲ具狀シテ處斷スルヲ得可シ
日誌掛へ増ス等ノ類 但編纂ヲ諸務へ出版ヲ編纂へ轉課スルノ類ハ頭ノ權内ニシテ本文ノ限リニ非ス

圖書寮ヨリ寮中へ達 九年二月十日

圖書寮各課長權限假
十年二月十二日課ヲ廢シ
各掛ヲ收置ス

編纂課庶務課併收置

編纂課處務順序別冊ノ通り改定候條此段爲心得相達候事

編纂課處務順序

第一章 總則

第一條 編纂課ハ寮中分課ノ一部ニシテ本省中一切ノ公文ヲ纂集整理スル處其事務ヲ分管スル左ノ如シ

編纂本務 燒亡文書調査

大藏省引繼調掛 寫字掛

寫圖掛 校合掛

第二條 一切ノ公文苟モ本課ノ所轄ニ屬シタルモノハ厚ク保存シテ嚴ニ散逸ヲ戒ムヘシ且退省ノ際必ス書庫ニ藏メ非常變災ヲ豫防スヘキ事

第三條 書庫ノ管鑰ヲ掌トル者ヲ預定シ其開閉ヲ嚴ニスヘキ事

第四條 他寮局ヨリ典例等ノ照考ヲ要請スルコトアラハ速ニ其事類ヲ舉ケテ指示スヘキ事

第五條 出納簿ヲ製シ他寮局ヨリ公文ヲ借ラシコトヲ請ヘハ該簿ニ件名ヲ登錄シ借主ノ小印ヲ受ケテクヘク尤既ニ製本ニ屬スル文書ハ他ニ出スヲ許サズ本寮ニ就テ參考サスヘキ事

但借用十日ヲ過クルモノハ返付ノコトヲ督促スヘシ

第六條 諸公文既ニ輯整ニ屬スルモノハ保存掛ニ送り保存スヘキ事

但書冊ハ裝釘ノ體ヲ一ニシ各條ノ製アルヘカラス

第七條 課中計表ヲ製シ司掌スル事件ヲ記載シ毎月頭助ノ覽閱ニ供シ年報ノ料ニ供スヘキ事

第二章 編纂本務 八年七月 罹災以降

第八條 公文ヲ寮局府縣ニ區分シ各員其主管ヲ定メテ之ヲ調査編纂スヘキ事

第九條 本省往復掛ヨリ送致スル公文ヲ收受シテ之ヲ調査シ其不完ナルモノハ其由ヲ付箋シ件名簿ニ登記シテ再ヒ往復掛ニ返付シ完結ヲ需ムヘキ事

第十條 公文ヲ調査シテ騰寫ニ付シ及ヒ寫回議ヲ主任ニ返付スル順序

一 公文ヲ調査シテ件名ト往復ノ番號及ヒ決裁ノ月日ヲ件名簿ニ登記シ該簿ハ各自又往復ノ番號ヲ寫字送付簿ニ登記該簿亦シテ該掛ニ送ルヘシ

一 騰寫了テ寫字掛ヨリ送り來レハ送付簿ノ番號ヲ塗抹シ綴換ヲナシ寮頭ノ檢印ヲ謂ヒ而後件名簿ニ某月日寫主任ヘ送ルト記シテ送達スヘシ

第十一條 公文ヲ區分シテ二部トナス

一 第一部ニ屬スル文書ハ騰寫シタルモノヲ主任ニ送り原本ヲ以テ編纂ノ用ニ供スヘシ

一 第二部ニ屬スル文書ハ他日參照ヲ要セザルモノニ件名簿ニ記シ原紙ニ圖書寮記載濟ノ印ヲ捺シ主任ニ返付スヘシ

但二部ニ屬スヘキヤ否疑シキモノハ決テ課長ニ採リ尙疑シキハ頭助ノ裁ヲ乞フヘシ

第十二條 騰寫ヲ要セサル文書

一本寮ノ回議原書

一 目論見仕様凡積精算木數尺ノ反別人名入札等ノ諸牒ハ主任送ノ回議ニ副ヘテ返付シ而テ回議原書ニ某帳ハ主任ヘ送ルト記注スヘシ他日主任所用濟再ヒ送付

一 各寮局調ノ月表年表及ヒ府縣申牒ニ副フ諸表ハ當課ヘ留置モノトス尤モ土木寮ノ回議ニ屬スル流域水書表ハ該寮ヘ返付スヘシ

一 諸圖面

但主任要騰寫ノ付箋アルハ寫圖掛ニ送り摹寫セシム其他ノ分ハ寫回議ニ圖何葉本寮ニ留ムト記注スヘシ

地理寮回議外國ニ關スルモノニ圖アルハ要騰寫ノ付箋ナキモ摹寫セシムヘシ

第十三條 回議原書ノ順序多クハ錯雜セリ故ニ寫回議ヲ主任ニ送ル後月日ノ序ヲ以テ整頓シ而後編纂スヘキ事

但編纂ノ體裁ハ別ニ例則アリ

第十四條 文書ヲ搜索シ及受付シテ各主管第八條對ニ分配スル等ノ雜務ヲ掌トルモノヲ定ムヘキ

事

但便宜ニヨリ第三條ノ事ヲ兼掌スヘシ

第三章 燒亡文書調査 七年一月開省以降八年

第十五條 院省使寮局ニ派出シ其廳ノ簿書ニ就テ本省ニ關スル公文ヲ謄寫スヘキ事

但其文書ノ多寡ニ因テ寫字生増減ヲ申立ツヘシ

第十六條 廳府縣ノ文書ハ各廳ヨリ送達ス乃チ之ヲ收受シテ副書ヲ主任ニ送ルヘキ事

但送達ニ付照會推問及費用等ノ申立アラハ其處分ノ考案ヲ草シ頭助ノ決ヲ乞フヘシ

第十七條 各廳ノ文書謄寫全ク成ラハ其分裂シタルモノヲ集合次序シ一事件ノ完備セルヲ俟テ而後編纂スヘキ事

但編纂ノ體裁ハ別ニ例則アリ

第四章 大藏省引繼調書 開省以前ノ文書ヲ編纂ス

第十八條 開省以前民部大藏兩省ニ於テ管轄シタル寮司ノ文書ニシテ現今本省ノ所轄ニ屬ス因テ大藏省ヨリ交付スレハ之ヲ調理シ或ハ謄寫スヘキ事

第十九條 右文書全ク網羅シ了レハ編纂例則ニ據テ編纂スヘキ事

第五章 寫字掛

第二十條 寫字生ヲ管護シ常ニ其勤惰ヲ監視シ或ハ文書ノ多寡ニ因テ該員ノ増減ヲ申立ツヘキ事

但寫字生ニ係ル件ハ別ニ規則アリ

第二十一條 編纂本務ヨリ日ニ送付スル文書ヲ各寫字生ニ分配シテ謄寫セシメ或ハ紙數ヲ檢シ校合ニ送リ復本務ニ還付スヘシ他寮局ヨリ謄寫ヲ請フコトアレハ之ニ準シテ處分スヘキ事

但公文受送簿ヲ製シ往復ノ番號等ヲ掲ケ受送ヲ明了ニスヘシ

第二十二條 謄寫料ハ毎月盡テ分界トシ翌月五日迄ニ日給ト枚數支給トヲ調査シ計算掛ヘ送付スヘシ

但燒亡費ヨリ可仕拂モノト謄寫費ヨリ可仕拂モノトノ區別ヲ立ツヘシ

第二十三條 各寮局課ヨリ廻送スル所ノ謄寫モノハ本寮ニ保存スヘキモノト保存スヘカラサルモノトノ區別ニ依テ寫不寫ハ成規ノ通りタルヘシト雖モ翻譯課ヨリ回送スル處ノモノハ一應頭助ノ展覽ヲ請フテ然ル後謄寫スヘシ

第二十四條 各寫字生ノ謄寫枚數日表並誤脫日表ヲ製シ毎月之ヲ頭助ノ檢閱ニ供スヘシ

第二十五條 寫字生名簿ヲ製シ拜命ノ年月ヲ以テ叙次ヲ立テ履歷等級ヲ記載シ檢閱ノ用ニ供シ置クヘキ事

第六章 校合掛

第二十六條 寫字掛ヨリ送ル文書ヲ校合シ了テ復タ返付スヘキ事

但既ニ受付シタル文書ニシテ校合未濟中ハ總テ其文書ノ出納等ヲ管理スヘシ

第二十七條 校合ノ縝密ナルト否トニ因テ一字隻語ノ差ヒ後來疑惑ヲ起スノミナラス其誤訛ニヨリ大ニ命令等ノ不信ヲ取ルコトナシト謂ヒ難シ尤モ注意スヘキ事

第二十八條 字格書體極テ狂草亂揮ナルハ之ヲ改正セシムヘキ事

第二十九條 常ニ寫字生謄寫ノ優劣ヲ識別シ寫字掛ヨリ協議スルコトアレハ其優劣ノ證ヲ舉テ示スヘキ事

第三十條 右二十九條假ニ之ヲ定ム他日事務釐革ノコトアレハ亦闕節更正ヲ要ス

圖書寮議案九年二月二十二日
編纂處務順序被廢更ニ別紙之通改定相成度寮中御達案相添仰上裁候也

圖書寮寫字掛處務順序 九年月日

第一條 寫字掛ハ悉皆局中ノ書寫謄錄ノ事ヲ掌リ校合訂正ノ責ニ任スルモノナリ合セテ寫字生ノ勤怠ヲ甄別シ謄寫ノ可否ヲ調査スルモノトス

第二條 編纂及保存掛ヨリ送致セル文書ハ其帳簿ヘ領受セシ證印ヲ捺シ更ニ番號帳ニ記載シ寫字生ヘ盼附シ其領收ノ小印ヲ徴スヘシ

圖書寮寫字掛處務順序
十年二月十二日各掛ヲ改
更ス

- 第三條 每朝時限ヲ定メ寫字生ヲシテ前日謄寫シタル公文ヲ出サシメ其謄寫セシ紙端ニ其寫セシモノ、小印ヲ捺セシメ他日誤脱等ヲ詰責スルノ證考ニ供サシメ而ル後之ヲ領收スヘシ
- 第四條 謄本ヲ照讀シ審密ニ文字ノ訛謬脱落ヲ校訂シ字形筆格ハ宜ク端正ヲ要シテ狂草亂揮ヲ禁スヘシ若シ行文字句ノ間疑似ノモノアルカ或ハ文理通暢ヲ缺キテ旨趣貫徹セサルモノアレハ朱黃ノ不審紙ヲ貼付シテ目標トスヘシ校訂全了スレハ謄寫ノ紙端ニ校訂スルモノ、小印ヲ捺スヘシ
- 第五條 校合既ニ了ラハ寫字日表及誤脱表ヲ作り謄寫セシ文書ト合セテ其掛リヘ差出スヘシ
- 第六條 寫字生ヘ分附シ置ケル原書退省時限至ラハ牒簿ニ照合シテ之ヲ領收シ保存掛ヘ渡シ明朝又保存掛ヨリ受取り寫字生ヘ渡スヘシ
- 第七條 掛中一人ツ、早出遅引ノ順ヲ以テ謄寫枚數ノ擧ルヲ要スヘシ但枚數ヲ貪テ粗略ニ失スルヲ禁ス
- 第八條 寫字掛中二人ツ、當番ヲ定置シ當番ノ者各掛ヨリ送致シ來ル文書ヲ收受シ之ヲ寫字掛ヘ交付シ寫字掛ヨリ謄寫校合濟ミタルモノヲ送致シ來レハ之ヲ收受シ各掛ヘ交付スヘシ其他一切ノ雜務ヲ調理シ十五日毎ニ交代スヘシ
- 第九條 謄寫料請取方手順ハ各掛ニ於テ混亂無ラシムヘシ

圖書寮寫圖掛處務順序
九年四月十二日各掛ヲ改
定ス

圖書寮寫圖掛處務順序 九年四月十二日

- 第一款 寫圖掛ハ總テ政事典型ニ關スル天地人物動植器械等ニ至ル迄古ヲ考ヘ今ヲ徵シ後ニ傳ヘ風俗世態ノ沿革ヲ觀ル可キ一切ノ畫圖ヲ模寫スル事ヲ掌ル
- 第二款 保存編纂及日誌其他各掛ヨリ送付セル畫圖ハ其證印簿ヘ鈐印シ返付ス又別ニ證印簿ヲ製シ其書ノ番號縣名ヲ記シ其下ニ模寫スル所ノ者ノ印ヲ捺シ分付スヘシ
- 第三款 摹寫了リ精細校訂シ原寫共各掛ヘ送付シ領收ノ印ヲ徵シ以後證ニ備ヘ且ツ日表ニ便ナラシム
- 第四款 編纂掛ヨリ送付スル公文付添ノ畫圖ハスヘテ三日間ニ模寫シ返スヘシ若密圖細畫ニシテ數葉

- ニワタリ三日間ニ模寫シ難キモノハ編纂掛ヨリ直チニ各寮局ヘ返付スヘシ
- 第五款 編纂掛ヨリ其儘主任ヘ返付スル者ハ原圖ノ番號件名ヲ詳記シ置キ月末ニ至リ其主任ヨリ差出サセ摹寫了リテ寫ハ主任ヘ返付シ原圖ハ編纂掛ヘ送付スヘシ
- 第六款 各寮局ヨリ公文ニ屬セル畫圖類保存掛ヲ經テ送致シ來ル者ハ摹寫了リ同掛ヘ送付シ其證印ヲ徵スヘシ
- 第七款 公文ノ外保存スヘキ緊要ノ畫圖保存掛ヨリ送致スルモノハ之ヲ謄寫シ同掛ヘ送付スヘシ
- 第八款 原圖ニヨリ臨摹ス可キモノアリ亦濶大ニシテ觀覽ニ便ナラサルモノハ編寫スル事アル可シ勉メテ其眞ヲ誤ラサルヲ要ス
- 第九款 原書ハスヘテ文庫ヘ收藏シ每朝取出シ夫々分付シ模寫セシム退省ノ節ハ一切文庫ヘ收藏スヘシ
- 第十款 當掛寫圖生ノ勤惰及ヒ其技術ノ可否ヲ調査スヘシ
- 第十一款 課業簿ヲ製シ置キ各員從事スル所ノ原書ノ番號縣名等及ヒ枚數ヲ記載シ置キ月末ニイタリ月表ニ掲クヘシ

圖書寮ヨリ寮中ヘ達 九年三月十五日

今般本寮ヘ編纂掛ヲ開設シ製曆事務爲取扱候條此段爲心得相達候事

内務省ヨリ各寮局課ヘ達 九年三月十七日

別紙之通り正院ヨリ御達相成候ニ付而者編曆事務文部省ヨリ引繼圖書寮ニ於テ管理爲致候條此旨爲心得相達候事 別紙ハ本省 部ニ職ス

圖書寮出版課處務順序 九年四月十二日

本課ハ國內ノ出版并新聞紙検査ノ事務ヲ管理シ重大ノ事項ハ卿ノ決判ヲ請ヒ成規アル條款ハ頭ノ指揮ヲ受ケ處分スルヲ掌ル

圖書寮出版課處務順序
改正
十年二月十二日課ヲ廢シ
各掛ヲ改定ス

圖書寮中編纂掛設置
九年四月十二日出版掛ニ屬
ス

九年四月十七日圖書寮ヲ
局ト爲ス

課中事務ヲ分ツ左ノ如シ

版權授與掛

新聞検査掛

第一條 出版屆書受付掛ヨリ送付スレハ主任之ヲ受ケ其屆書ニ記載スル圖書ノ表題及ヒ其大意并刻成ノ期程等ヲ検査スルノ後題名録ニ騰記シ回議ヲ附シテ頭ノ檢印ヲ受ケ本紙ハ之ヲ編纂課ニ附スヘシ

第二條 出版屆書中刻成期限ナキカ或ハ書中ノ大意ヲ掲ケサル等書式ニ違フモノ或ハ他人ノ版權ヲ有スル圖書ヲ校訂シ若クハ注解附録圖書等ヲ加ヘ出版スルモノニシテ原著者連印ナキモノハ附箋シテ返付スヘシ

但東京府下在留ノ者ハ直ニ本人ヲ呼出シ改正セシムルコトモ有ルヘシ

第三條 出版屆書ヲ検査シ若シ原本人ヲ妨ケ或ハ世治ニ害アルモノト認ルルハ附箋ヲ以テ頭ノ檢印ヲ受ケ其草稿ヲ徵取シテ之ヲ檢閱シ其可トスルモノハ考案ヲ具シ頭ノ檢印ヲ受ケ調濟ノ譯ヲ附箋シテ草稿ヲ本人ヘ下戻ス其否トスルモノハ卿ノ裁決ヲ經テ出版差止題名録ニ記載シ難聞屆旨ヲ指揮スヘシ

第四條 版權免許ヲ願出ルルハ主任之ヲ受ケ其表題及ヒ願書中明言スル書中ノ大意ヲ検査シ外ニ同書ナシト見做ス時ハ版權題名録ニ騰録シ考案ヲ具シ頭ノ檢印ヲ得テ而後條例ニ依リ版權ノ期限ヲ定メ免許狀ヲ下渡スヘシ

第五條 前條版權準許スル者ハ更ニ割符題名録ニ騰記シ其免狀字體ヲ正格ニシ書名册數番號族籍年月等謬誤ナキヤ否ヲ再閱シ捺印スルノ後之ヲ頭ニ出シ版權免許ノ印及割符印ヲ鈐シ頭ノ閱覽ヲ經指令案及免許狀ヲ書記ニ付シテ府縣ヘ下達スヘシ

第六條 版權願書中第二條ニ類スルコトアレハ之ヲ返附スル第二條ニ同シ

第七條 版權願書中同物又ハ偽版等ノ疑ヒアルモノハ草稿ヲ徵シ從前ノ書ト照査シ愈偽版竊版ノ證ア

出版條例ハ文書門出版ノ部ニ載ス

ルモノハ版權不與題名録ニ騰記シ卿ノ決ヲ經卿名ヲ以テ難聞屆旨ヲ指揮スヘシ

第八條 翻刻届出ルルハ其書名ヲ檢シ翻刻題名録ニ騰記シテ頭ノ檢印ヲ受ケ之ヲ編纂課ニ附シテ保存スヘシ若シ版權アルモノノ翻刻届出ルルハ其旨附箋シテ之ヲ返付シ附箋ノ旨ヲ題名録ニ記載スヘシ

第九條 諸官廳ニ於テ出版スルノ照會アレハ其可否ヲ審査シ官版題名録ニ登記シ頭ノ檢印ヲ受クヘシ官廳藏版ノ内翻刻許可セサル旨照會アルハ府縣ヨリ願出ルモノモ同様ナリ官版版權題名録ニ騰記シ檢印ヲ受クヘシ右ハ版權ヲ有スル一般ノ圖書同様ト雖モ版權免許狀附與并ニ免許料收入ノ處分ニ及ハス

但院省使廳ノ照會ハ承知ノ旨ヲ回答シ府縣及ヒ神道事務局等ハ願之趣聞屆ノ旨ヲ指令ス

第十條 諸官廳藏版ノ内若シ誤謬ヲ改正シ闕漏ヲ補益スル等ニテ人民ヨリ出版版權ヲ願出ルルハ該廳ニ照會シ差支ノ有無回答ヲ得テ而後之ヲ處分スヘシ

第十一條 凡ソ出版ニ關スル諸往復及ヒ諸願届等送付アレハ主任之ヲ受ケ事理ノ當否ヲ攷査シ其事由ヲ掲ケテ草案ヲ起シ尋常例格アル事項ハ頭ノ決印ヲ受ケテ處分シ正院稟議或ハ例格ナキモノニシテ一般ノ成規トナルヘキ事件ハ頭ノ檢印ヲ受ケ卿ノ決判ヲ乞ヒ書記ヲ經テ上申下達スヘシ

第十二條 製本ノ式ヲ改メ或ハ册數分合等届出ルモノハ條例第一條ニ據テ處分スヘシ版權免許狀ヲ有フ改メ册數分合等届出ルモノハ屆書ニ原簿ヘ其由ヲ朱書スヘシ

第十三條 版木讓渡シ届出ルルハ版木讓渡題名録ニ登記シ頭ノ檢印ヲ受ケ且原簿出版題名録ニ其由ヲ朱書スヘシ

第十四條 已ニ出版シタル書ノ改名届ケ出ルルハ出版改名録ニ登記シ頭ノ檢印ヲ受ケ原簿舊名ノ傍ニ新名ヲ朱書スヘシ

但シ已ニ納本シタル後ナレハ更ニ納本セシムルコト條例第二十五條ノ如シ

第十五條 圖書保存掛ヨリ納本ノ送付アレハ之ヲ原簿ニ照シ納本并定價ヲ記入シ其書中條例ニ抵觸スルモノアルヤ否ヲ檢閲シ了レハ又是ヲ同掛ニ返付ス

第十六條 納本ヲ検査シテ條例ニ抵觸スルモノハ其徵證ヲ摘録シ頭ノ攷査ヲ經卿ノ決判ヲ受ケテ司法

省或ハ各地方廳ニ照會シテ處分スヘシ
 但書譯者出版人氏名住所或ハ定價等記入セサル分ハ附箋シ圖書保存掛ヘ返付スヘシ
 第十七條 納本ヲ檢シテ全國貢租海關稅及歲入出其他國債御國幅員戶數人口里程等計算ニ屬スルモノ
 或ハ國律兵書海圖教義ノ類不審アリテ照合スヘキ正確ノ書ナキモノハ納本ヲ以テ主任ノ官廳ニ照會
 シテ可否ヲ處分スヘシ
 第十八條 諸向願届ノ内金穀ニ關涉スルモノハ主任具案シテ主計課ヘ合議シ人民職業ノ事ニ關涉スル
 モノハ庶務課ヘ合議シ而後之ヲ上申スヘシ
 第十九條 本寮中備具セサル書籍ニシテ必用ノ分買上ヘキモノハ圖書保存掛ヘ協議シ同掛ニ於テコレ
 ヲ處分スヘシ
 第二十條 偽版等ノ訴狀差出スモノアレハ主任調査ノ上考案ヲ具シ頭ノ考査ヲ經卿ノ決判ヲ受テ之ヲ
 司法省或ハ地方裁判所ヘ送付スヘシ
 第二十一條 在留外國人府縣廳ヲ經由シ出版屆版權願出ルルハ卿ノ決印ヲ受ケ出版條例外國人ニ及サ
 ル儀ヲ以テ該廳ヘ指令スヘシ
 第二十二條 回議原書ハ事ノ輕重ヲ問ハス全ク處分濟ノ後往復掛ヲ經テ編纂課ニ付ス諸屆書類ハ頭檢
 印處分濟本課ヨリ直ニ編纂課ニ送付スヘシ
 第二十三條 新聞紙及ヒ雜誌雜報等發行願出ルルハ條例ニ照シテ可否ヲ勘査シ新聞題名錄ニ記載シ頭
 ノ檢印ヲ受ケ例規ニ由テ許可スヘシ
 第二十四條 新聞紙及ヒ雜誌雜報等納本ハ每紙直ニ新聞検査掛ニ納メシメ之ヲ受ケテ牒ニ登録シ其一
 ハ頭ニ呈シ其一ハ精細檢閱シ每紙必ス檢者ノ印ヲ捺シ新聞條例ニ抵觸ノ疑ヒアルモノハ其本文ニ朱
 點ヲ加ヘ意見アルモノハ考案ヲ付シテ頭ノ檢閱ニ供シ卿ノ決判ヲ受テ司法省及地方裁判所等ヘ照會
 スヘシ
 但シ裁判所無之地方ハ其府縣廳ヘ照會スヘシ

新聞條例ハ文部省出版
部ニ設ス

第二十五條 前條司法省及地方裁判所等ヘ照會スルノ後日ヲ經テ司法省ハ回報ナキモノハ主任具案シ
 頭ノ檢印ヲ受ケ寮名ヲ以テ督促スヘシ其回報アルモノハ考案ヲ付シ卿ノ回覽ニ供スヘシ
 第二十六條 新聞紙犯則ニ付司法省等ニ照會スルモノハ處刑ノ有無ニ拘ラス往復書類并新聞紙ノ原文
 ヲ謄寫類纂シ以テ他日ノ參考ニ備フヘシ
 第二十七條 新聞紙納本ハ毎日類聚シ翌月十五日迄ニ前月分ヲ裝綴シ圖書保存掛ニ附シテ之ヲ保存ス
 ルヲ他ノ書類ト同シ
 但納本一通ハ假綴シ常用ニ充ツヘシ
 第二十八條 出版并新聞紙ニ關涉ノ事務細大トナク毎月取調置キ未決既決ヲ區分シ詳明ナル年報考課
 狀ヲ製シ卿ノ檢閱ニ呈スヘシ其科目左ノ如シ
 正院上申
 諸向往復
 出版屆 内版權讓渡屆 出版延期屆
 再版ノ類何々條件ト區分掲載スヘシ
 版權願
 新聞紙發行願
 新聞紙諸屆類
 新聞紙犯則照會
 發賣禁止
 出版差止
 版權免許料
 免狀再願手数料
 圖書寮出版課議案 九年二月二十三
 當課處務順序別冊之通御改定御達相成度尤實際ニ付追テ増減候儀モ可有之此段相伺候也

圖書寮諸務課處務順序
十年二月十二日發シ各掛ヲ改置ス

圖書寮諸務課處務順序 九年四月十三日

本課ハ寮中ノ一部分ニシテ日誌年報刊行受付計算ノ各掛リヲ綜結シ事務ノ分掌左ノ如シ

日誌年報掛

- 第一條 日誌年報及布達全書ヲ例規ニ照シ編製スルヲ掌ル
- 第二條 日誌ハ本省各寮局館ニ於テ處分濟ノ回議往復掛ヨリ送致シ來レハ一々通覽取捨シ地方官民ノ心得トモ成ルヘキモノハ該回議欄外ノ右側ト同掛收授簿件名ノ下ヘ日誌ノ印ヲ捺シテ之ヲ留置キ否ヲサルモノハ記ノ印ヲ捺シテ直チニ同掛ヘ返付ス
- 第三條 右留置ク所ノ回議ハ日誌決裁簿ヘ其件名ヲ登錄シ日誌伺ノ小箋ヲ付シ頭助ノ決ヲ經テ後之ヲ附屬ノ寫字生ヘ付シ謄寫セシメ校訂ノ後達濟主任ノ記アルモノハ往復掛ヘ返附シ其記ナキモノハ直ニ編纂課ヘ送致シ各受領者ノ印ヲ件名ノ下ヘ徵スヘシ
- 第四條 復寫校了ノ回議ハ指令月日ノ順次ニ隨ヒ其文章ノ蕪雜繁冗ヲ刪除シ簡潔明了ナラシメ前條ノ如ク附屬ノ寫字生ヘ送リテ淨寫セシメ校訂ノ上頭助ノ回覽ニ供シ然後之ヲ刊行掛ヘ回送ス
但編製ノ條例ハ別冊ニ記セリ
- 第五條 布達全書ハ本省ヨリ國內ヘ達示セル甲乙丙及ヒ番外ノ諸達往復掛ヨリ送致シ來レハ之ヲ漸次蒐集シ三箇月毎ニ其甲乙丙ノ番號ニ從ヒ整理編製シ前條附屬云々以下ノ手續ヲ爲ス
- 第六條 年報ハ毎年九月十五日各寮局館ヨリ送致スル事務報告書ヲ綜合シ更ニ卿ノ年報書ヲ作爲シ成規ノ手順ヲ盡シテ往復掛ヘ送附シ正院ヘ上申ス
但年報編製ノ事ニ付各寮局館ヨリ疑問アラハ考案ヲ草シ頭助ノ決ヲ取テ回答スヘシ
- 刊行掛
- 第七條 新彫改刻共每編校正摺ヲ取置キ之ヲ上梓簿ニ編綴シ且其書名ヲ刊行書目ニ記シ新改刻セシ年月ヲ認メ入ルヘシ
- 第八條 本省及各寮局館ヲ區分シテ刊行類別錄ヲ製調シ彫刻印刷共活版局及ヒ書肆ニ命セシ月日及其

用紙其印刷ノ部數ヲ記載シ置キ月末ニ至リ活版局及書肆ヨリ差出ス所ノ費用調書和書共之レニ照シ合セ相違ナキニ於テハ類別錄ニハ調査ノ印ヲ捺シ調書ニハ掛リノモノ檢印シテ之ヲ計算掛リニ送付ス其扣書ハ刊刷經費簿ニ編入ス

但類別錄ニ調査ノ印アルモノハ代價拂濟トナスヘシ

第九條 刊刷ノモノニ付經同ノ書類ハ一切之ヲ稟議簿ニ編綴シ且各寮局館ヨリ掛合書ヲ以テ印刷ヲ要シ來ラハ之ニ寮頭ノ檢印ヲ請ケ直ニ活版局ヘ送付シ又ハ書肆ニ命スヘシ印刷既濟セハ此掛合書ノ欄外ニ濟ノ印ヲ押捺シテ刊行來書ニ綴込ミ其刷成ノ書ハ刊行交付簿ヲ以テ主務ノ寮局館ニ付シ證印ヲ徵シ置クヘシ

第十條 月末書肆ヨリ發賣手数料ニ調書ヲ添ヘテ差出スルハ其發賣ノ部數ヲ調査シ金員ヲ發賣手数料收入簿ニ記載シ計算掛ヘ送付納濟ノ證印ヲ受ク尤其金圓ハ書肆ヨリ直ニ同掛ヘ上納スルモノトス

第十一條 活版局ニ於テ印刷スル書類ハ活版局證章簿ヲ以テ同局ニ送付シ證印ヲ徵ス其扣簿ニハ書名及ヒ始メテ送付セシ月日刷立ノ員數刷成送達日等ヲ詳細留置キ後日經費調書同局ヨリ到達セハ之レニ照シ此調書モ亦計算掛ヘ送附スヘシ

但此經費調書ハ必副本ヲ作り本書ヲ計算掛ヘ送り副本ハ刊行經費簿ニ編入ス

第十二條 刊刷モノニ付本省及各寮局館ヨリ合評アルモノハ之ヲ合議簿ニ謄寫シ其回議ハ押印濟受付掛ヘ付ス且ツ決判濟ノ書ニ刊行スル草稿ヲ添ヘ再達セハ則チ刊行條例ニ從テ處分ス

受付掛

第十三條 本省往復掛及ヒ各院省使廳府縣寮局等ヨリ送致スル所ノ一切ノ文書ヲ受領シ大意ヲ概見シ各掛ヘ分達スヘシ

但至急モノ或ハ重大ノ事件ハ直ニ頭助ヘ送呈シ寮中官員ヘ當ル私書ト雖モ速ニ送付スヘシ

第十四條 頭助及ヒ各掛主任ヨリ諸向ヘ上申下達ノ文書ヲ受付シ各所ヘ進達スヘシ

第十五條 本省回達并通知等ハ寮頭付書記ヘ送致スヘシ

刊行條例ハ文書門記録志表ノ部ニ載ス

リ受取右證書同局へ可差出儀ト可相心得事

圖書局ヨリ局中へ達 九年四月二日

編曆掛自今出版掛へ屬シ事務之義ハ同掛ニ於テ爲取扱候條此段相達候事

圖書局議案 九年四月二十二日

先般編曆事務文部省ヨリ引繼相成候處從前同省所管中ハ報告課ニ於テ右事務取扱來候處當局ニ於テハ孤立ノ姿ニテ事務取扱候者モ無之ニ付出版掛ニ被屬右事務ノ儀モ同掛ニ於テ取扱ヒ候條御指令相成候ハ、僞曆取調等モ便利ニ付旁至當ノ儀ニ可有之存候此段相伺申候也
追テ爲御照考文部省中報告課ニ於テ從前取扱候帳簿一册相添差出申候也

圖書局ヨリ內務省へ上申 十年二月十二日

當局中各掛名今般別紙之通更ニ相設候條此段上申仕候

本局各掛

編纂掛 出版掛 翻譯掛 庶務掛

保存掛

圖書局ヨリ內務省へ上申 十年八月十八日

當局編曆事務ノ儀ハ是迄出版掛中ニ有之候處今般更ニ編曆掛分設候ニ付此段上申仕候

圖書寮事務章程ノ內改正 十三年二月二十六日

上款

第五條 新タニ發行セントスル諸新聞紙雜誌雜報ノ内一切ノ事物ヲ記述シ及ヒ時事ヲ論說スルモノヲ許否シ又ハ世ヲ害スルノ疑アルモノヲ禁止スル事

編曆掛出版掛ニ屬ス
十年八月十八日再々編曆掛分設ス

圖書局中各掛ヲ更定ス
編纂掛ハ初メ本省ノ直管タリ翻譯掛ト云今之ヲ廢シテ局中ニ之ヲ設ク廢課ノ事ハ本省分課事務ノ部ニ載ス
十三年五月一日新聞檢査掛ヲ設ク
十五年三月十日各課ヲ改置シ處務順序ヲ定ム

圖書局中編曆掛分設
十年八月十三日編曆掛天ノ事務ヲ地理局兼地誌ニ屬シ十四年八月二十四日編曆掛事務ノ掌管ヲ明刺ス地理局ノ部ニ載ス
圖書局事務章程中改正
十八年六月二十五日圖書局ヲ廢シ總務局中圖書課ヲ設キ處務條例ヲ定ム本省分課事務ノ部ニ載ス

下款

第二十條 新タニ發行セントスル諸新聞紙雜誌雜報ノ内專ハラ學術工藝及ヒ商況官令ニ係リ其他詩歌小説等ニテ世ニ害ナシト認ムルモノヲ許可シ及ヒ之ヲ條例ニ照ラシテ檢査スル事

圖書局ヨリ內務省へ同 十三年二月二日

諸新聞紙雜誌雜報發行願取扱之儀ハ明治八年十一月二十五日御下付ノ圖書寮事務章程ニ準據シ御輔ノ決判ヲ經テ施行スルモノハ獨リ上款第五條世ヲ害スルノ疑ヒアルモノヲ禁止スルノミニ止リ其他右ニ係ル一切ノ願書ハ局長限許可ノ事ニ有之然ルニ是迄ノ如クニテハ少シク輕易ニ涉リ取締上不都合有之候ニ付巴來ハ學術工藝及官令商況其他詩歌小説等ニシテ毫モ時事ニ論及セサルモノハ從前ノ通り局長限リ許可取計ヒ其他一切ノ事物ヲ記述シ及ヒ時事ヲ論說スルモノ即チ東京日々新聞郵便報知新聞近事評論扶桑新誌ノ如キハ世ヲ害スルノ疑アルト無トニ拘ハラヌ必ス御輔ノ決判ヲ經テ許否スルヲ御改正相成可然依之章程御改正案相添此段相伺候 十三年二月二十六日決判

圖書局ヨリ內務省へ上申 十三年五月一日

新聞檢査ノ事務從來出版掛ニ於テ取扱來候處該事業追々盛大ニ至リ出版掛ノ部内ニ置候テハ不都合ニ付當局中へ別ニ新聞檢査掛相設候條此段上申仕候也

圖書局分課 十五年三月十日

編纂課

出版課

翻譯課

保存課

庶務課

圖書局各課處務順序

圖書局中新聞檢査掛設
十四年一月二十日新聞檢査事務ヲ圖書局ニ屬ス御輔ノ部ニ載ス

圖書局分課更定
十八年六月二十五日局ヲ廢シ總務局中圖書課ヲ設キ處務條例ヲ定ム本省分課事務ノ部ニ載ス

十六年五月二十三日報告
掛り區々編纂課職務順序
ヲ改正ス

- 第一 編纂課處務順序 自第一條 至第二十條
 - 第二 出版課處務順序 自第二十一條 至第二十一條
 - 第三 翻譯課處務順序 自第一條 至第四條
 - 第四 保存課處務順序 自第十七條 至第十七條
 - 第五 庶務課處務順序 自第二十一條 至第二十八條
- 圖書局編纂課處務順序
- 本課ハ局中分課ノ一ニシテ本省一切ノ公文ヲ整理編纂スルヲ以テ主掌トナス其編纂スル書目及處務ノ順序ヲ定ムル左ノ如シ
- 内政編年錄
 - 内政類典
 - 局務類纂
 - 局務提要
 - 内務省布達便覽
 - 太政官布令便覽
 - 内務省布達全書
 - 内務省年報
- 第一條 記錄文書ノ古往今來ノ事ヲ徵證シテ世ニ大功アルハ固ニシテ又施政上一日モ闕クヘカラサルモノナレハ主任者宜ク此意ヲ體シ苟モ本課ノ所管ニ屬シタル公文ハ厚ク保存シテ嚴ニ散逸ヲ戒メ退省ノ際必ス文庫ニ收藏シ非常變災ヲ豫防スヘシ
- 第二條 法令規則ノ沿革ヲ考察シテ施政治術ノ得失ヲ商量スルハ記錄文書ノ力ニ資ラスンハ能ハサルナリ本課編纂ノ主眼トスル處茲ニアリ須ラク典例成規ヲ類纂シテ專ラ執務者ノ便ヲ謀リ若シ他局課ヨリ對照參考ヲ要請スルコトアレハ各分擔者速ニ其事類ヲ擧テ指示スヘシ
- 第三條 本省一切ノ公文往復課及他各局ヨリ送付シ來レハ受領者送付簿ニ押印シテ之ヲ收受シ公文原書編纂保存規則第一條ニ據リ其文書ノ要不要ヲ甄別スヘシ
- 第四條 收受ノ公文中不完闕如ノモノアレハ其由ヲ付箋シ其局課ニ返付シテ完結ヲ需ムヘシ

保存規則ハ文書門附錄ノ部ニ載ス

第五條 公文ヲ調査シテ謄寫ニ付シ及ヒ寫回議ヲ主任ニ返付スル順序

- 一 公文ヲ調査シテ件名ト往復ノ番號及ヒ決裁ノ月日ヲ件名簿ニ登記シ課寫掛ニ送ルヘシ
 - 一 謄寫了テ課寫掛ヨリ送り來レハ綴換ヲナシ(圖書局長検査印)ヲ捺シ件名簿ニ(某月日寫主任へ送ル)ト記シ之ヲ主任局へ送達シ而シテ原本ヲ以テ編纂ノ用ニ供スヘシ其原書ヲ直ニ主任へ送付スルモノハ公文原書保存規則第三條但書ニ據テ處分スヘシ
- 第六條 本課管知ノ公文ニ付キ官省院使若クハ府縣ヨリ照會或ハ稟議アレハ其處分ノ考察ヲ具シテ局長又ハ卿輔ノ決裁ヲ乞フヘシ
- 第七條 編纂ノ事務ニ於テ各局課へ通達照會ヲ要スルコトアルハ第六條ノ手順ニ據テ處分スヘシ
- 第八條 出納簿ヲ製シ他局課及本局主任ノ需ニ應シ公文ヲ貸與スルハ該簿ニ件名ヲ登錄シ借主ノ檢印ヲ徵シテ貸與スヘシ既ニ製本ニ屬スルモノハ他局ニ出スヲ許サス宜ク本局ニ就テ參看セシムヘシ但貸與十日ヲ過クルモノハ返付ヲ督促スヘシ
- 第九條 文書ヲ搜索シ及受付シ各分擔者ニ分配スル等ノ雜務ニ從事スルモノヲ定ムヘシ但便宜ニヨリ第十條ノ事ヲ兼掌セシムヘシ
- 第十條 文庫ノ管鑰ヲ掌ル者ヲ預定シ其開閉ヲ嚴ニスヘシ尤モ閉局中ハ管鑰ヲ當直ニ付托スルモノトス
- 第十一條 課中計表ヲ製シ各員擔任ノ事項ヲ記載シ毎月局長ノ覽閱ニ供シ年報ノ料ニ供スヘシ
- 第十二條 第一條ノ旨趣ヲ體シ收受ノ公文ヲ局課ニ大別シ各員之ヲ分擔シ公文原書編纂保存規則ニ照ラシ内政編年錄ヲ編スヘシ
- 第十三條 第二條ノ旨趣ヲ體シ諸公文中ヨリ法令規則ニ係ルモノヲ撰拔シ凡例ニ照シテ内政類典ヲ編スヘシ
- 第十四條 本局主管ノ公文ヲ類別纂集シ局務類纂ヲ編スヘシ其體裁ハ大率第十三條ノ内政類典ニ同シ但本局回議中條例規則ニ係ル重要ナルモノハ内政編年錄ニ編シ更ニ寫ヲ以テ局務類纂ニ編入シ又

参考ニ要ナラスト認ムルモノハ公文原書保存規則第三條但書ニ據テ處分スヘシ

第十五條 本局主管ノ事務ニシテ現行ノ成規例格ヲ彙集シテ局務提要ヲ編製シ主任參考ノ便ニ供スヘシ其體裁ハ大率第十三條内政類典ニ同シ但布達規則ノ沿革アル毎ニ新陳補除スルヲ以テ異ナリトス

第十六條 太政官ノ布令及ヒ本省ノ布達中現行ノ規則ヲ類別彙集シテ布達令便覽ヲ編スヘシ別ニ内務省言アリ太政官布令便覽ノ體亦之ニ準ス

第十七條 本省ヨリ各府縣ヘ布達セル甲乙丙及番外ノ諸達ヲ往復課ヨリ送致スルニ隨テ之ヲ漸次蒐集シ半年毎ニ整理纂輯シテ布達全書ヲ編スヘシ

第十八條 毎年各局ノ事務ヲ類別編製シテ内務卿年報及本局年報ヲ製シ而テ各局ノ年報書ヲ訂正シ之ヲ彙纂シテ内務卿年報附録トナスヘシ

第十九條 以上ノ諸書全ク編纂シ了ラハ様式ヲ一ニシテ編釘シ局長若クハ卿輔ノ覽閱ニ供シ布達全書ノ如キハ成規ノ手順ヲ以テ刊行スヘシ

第二十條 年報書ハ卿輔ノ覽閱ニ供シ而後成規ノ手順ヲ以テ太政官ヘ上申スヘシ

但内務卿年報及本局年報ハ刊行スルモノトス

圖書局出版課處務順序

本課ハ局中分課ノ一ニシテ都テ國內ノ圖書出版及編曆ノ事務ヲ管理ス其處務ノ順序ヲ定ムル左ノ如シ

第一條 凡ソ出版ニ關スル諸願届伺照會等ハ其處分ノ考案ヲ具シ局長若クハ卿輔ノ決判ヲ乞ヘシ

但官省院使府縣或ハ他局ニ關係アル事項ハ各照會或ハ合議スヘシ

第二條 出版届書并出版々權願書ハ主任者之ヲ受ケ其表題冊數製本大小出版期著者出版人ノ族籍姓名住所盡ク題名録ニ登錄シ局長ノ檢印ヲ受ケ出版届ノ分ハ其書面ヘ直ニ檢印ヲ受ケ而後編纂課ニ送付ス版權願ノ分通常ノモノハ唯局長ノ決判ヲ受ケ其餘ハ更ニ卿輔ノ決判ヲ請ヒ指令ノ手續ニ及フヘシ

第三條 出版届并出版々權願書中ニ條例并書式ニ違フ廉アルモノハ書面ヘ附箋シ局長ノ檢印ヲ受ケ却下スヘシ

但東京府下在留ノ分ハ本條ノ旨局長ヘ具申シ直ニ本人ヲ呼出シ改正セシムルヲモアルヘシ

第四條 出版届並出版々權願書ハ主任者之ヲ受ケ書面檢査ノ上條例抵觸ノ嫌疑アル分ハ書面ヘ附箋シ局長ノ檢印ヲ受テ草稿ヲ徵收檢閱シ可トスルモノハ出版届ノ分ハ出版差支無之旨附箋シ局長ノ檢印ヲ受ケ版權願ノ分ハ指令ヘ但書ヲ付シ草稿下戻ス共ニ題名録ニ登錄シ局長ノ檢印ヲ受ケヘシ否トスル

モノハ卿輔ノ決判ヲ請ヒ出版届ノ分ハ出版難聞届旨附箋シ局長ノ檢印ヲ受テ指令シ或ハ卿ノ名ヲ以テ書面ヘ指令ス版權願ノ分ハ其旨卿ノ名ヲ以テ指令ス共ニ出版差支題名録ニ登記シ局長ノ檢印ヲ受ケヘシ

但東京府在留ノ分ハ直ニ本人ヨリ草稿ヲ徵收スルヲモアルヘシ

第五條 草稿ヲ徵收スルモノハ之ヲ檢査主任ニ付ス檢査主任者ハ詳細檢査シ意見ヲ檢査簿ニ録シ衆議ニ付スヘシ

第六條 免狀ハ必ス字體ヲ正フシ版權番號表題冊數製本ノ大小著者ノ姓名出版者ノ族籍姓名免許ノ年月日ニ於テ遺漏誤謬ナキヲ檢シ主任者檢印シ局長ノ前ニ於テ版權免許印ヲ捺シ又割符簿ニ就テ局長官印ヲ割印シ原議ト指令書トニ併セテ庶務課ニ送付ス免狀返納願及ヒ免狀書換願ハ主任者之ヲ受ケ書面檢査ノ上議案ヲ作り通常ノ分ハ局長ノ檢印ヲ受ケ卿ノ名ヲ以テ指令ス指令手續ハ前項ニ同シ但決判ノ後各其牒簿ニ登錄シ又版權題名録及ヒ割符簿ニ朱記スヘシ

第七條 版權免許料ハ七月ヨリ十二月マテ出版ノ分ハ前半年度收納ニ組入一月ヨリ六月マテ出版ノ分ハ後半年度收納ニ組入テ上納スルヲ以テ春秋二季ニ收納金明細簿各府縣ヨリ上達ス主任者之ヲ受ケ諸帳簿ニ突合セ各府縣ノ分完結ノ上卿輔ノ回覽ニ供シテ後編纂課ヘ送付スヘシ

但遺漏違算アルモノハ附箋ヲ以テ返付シ訂正ヲ要スヘシ

第八條 版權免許料上納ノ後製本換或ハ別製本等ニ因テ定價ヲ増加スル者ハ更ニ増額ノ金員ヲ追納セシムヘシ

十八年三月十六日出版課事務取扱方何定ス

第九條 翻譯書出版届出版々權願共取扱方ハ第一條第二條第三條第四條ニ依ルト雖既ニ免許セル譯書アル分ハ條例第十七條ニ照ラシ處分スヘシ

第十條 翻譯出版届ハ主任者書面ヲ檢シ出版題名録ニ登錄シ局長ノ檢印ヲ受ク届書ハ局長ノ檢印ヲ受ケ編纂課ヘ送付スヘシ

但有版權書或ハ其他不都合ノ書翻譯届出ルルハ其旨附箋シ局長ノ檢印ヲ受テ却下スヘシ

第十一條 官院省使府縣ノ出版届並出版々權届取扱方ハ第一條第二條ニ依ルト雖既各官版題名録ニ登錄シ免狀ヲ付與スルニ及ハス

第十二條 改題改版製本改式移轉出版藏版持轉版權及ヒ版本賣買讓受出版延期出版取消序跋挿入等届出ルルハ主任者届書ヲ檢シ局長ノ檢印ヲ受ケ各其帳簿ニ登錄シ又出版題名録或ハ版權題名録ニ其旨ヲ朱記スヘシ

第十三條 納本ハ主任者之ヲ受ケテ檢査シ定價及ヒ納本年月日ヲ出版或ハ版權題名録ニ記入スヘシ其所載ノ事條例ニ抵觸スト認ムルハ議案ヲ作り局長ノ檢印ヲ受ケ或ハ更ニ卿輔ノ決判ヲ請テ司法省若クハ檢事局各地方廳ヘ照會シテ處分スヘシ

但東京府下出版ノ分ハ警視局ヘ照會シテ處分スルコトアルヘシ其所載ノ事未タ條例ニ抵觸セスト雖既深ク政事法律ニ涉リ穩當ナラサルモノハ局長ノ指揮ヲ受テ卿輔ノ回覽ニ供スヘシ

但表題與書等ニ相違アルルハ納本届書ヘ附箋シ局長ノ檢印ヲ受ケ下戻シ訂正ヲ要スヘシ

第十四條 納本檢査済ノ上其一部ハ保存課ヘ送付ス其一部ハ主任者ニ於テ局長ノ檢印ヲ受ケ送付書目ヲ添ヘ庶務課ヲ經テ太政官及ヒ東京圖書館ヘ送付スヘシ

第十五條 版權書目ハ割符簿ニ就キ免許ノ順序ニ據テ編製ス主任者檢閱ノ上議案ヲ作り布達案ヲ付シ局長ノ檢印ヲ受ケ更ニ卿輔ノ決判ヲ得テ刊行公布スヘシ

第十六條 納本ハ檢査題名録ヘ記入ノ後出版書目月報編製主任ヘ送付ス編製主任者ハ漸次輯録シ翌

月ニ至リ稿成ルヲ待テ局長ノ閱覽ヲ經テ刊行ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條 出版圖書索引ハ現行出版條例發行以來出版及ヒ出版版權ヨリ再版翻譯等ニ至ルマテ悉ク類別聚録シテ本課事務ノ参照ニ備フルモノナレハ漸次各課簿ニ就テ輯録編製スヘシ

第十八條 地理局測量課ニ於テ翌年ノ本曆ヲ編製シ毎年三月中地理局ヨリ當局ニ送付ス出版課主任者之ヲ受ケ議案ヲ作り卿輔ノ閱覽ヲ經テ頒行ノ手續ヲ爲スヘシ

第十九條 畧曆出版取扱方ハ總テ圖書出版ニ同シ

第二十條 寫真版權願届取扱方總テ出版版權願届ニ同シ

第二十一條 本課所用ノ牒簿並取扱順序如左

一 免狀割符簿

版權願書決判許可スヘキ圖書ノ書名出版人ノ族籍氏名版權番號免許年月日ノ順序ヲ正シ詳ニ本簿ニ記載シ局長官印ヲ以テ免許證ヘ割印スヘシ

一册

一 官 版權題名録

官省院使府縣ヨリ圖書出版版權所有届有之ルハ其著書譯者編輯人出版ノ題名及届年月日出版期月等詳ニ本簿ニ記載シ局長ノ檢印ヲ受クヘシ

一册

一 官 出版題名録

官省院使府縣ヨリ出版届出有之ルハ本簿ニ記載スルヲ版權題名録ニ同シ

一 版權題名録

人民ヨリ出版版權出願ノ上許可相成候モノハ往復課ノ番號本局ノ番號受領月日書名版權番號免許年月日出版期著譯者編輯人出版人ノ族籍氏名住所詳ニ本簿ニ記載シ局長ノ檢印ヲ受クヘシ

東京、京都、大阪、各一部

一 出版題名録

人民ヨリ圖書出版届出ルルハ本簿ニ記載スルヲ版權題名ニ同シ

一册

一 表題變更題名録

但册中出版反刻再版彫畫略曆等ノ部ヲ分ツ
改題製本改式別製本等届出ルルハ改題名製本改式ノ大小寸法別製本ノ大小等總テ本簿ニ記載シ局長ノ檢印ヲ受クヘシ

一 圖書讓受題名錄

版權買讓受版權相續分版等届出ルル買主讓受人相續人分版受主ノ族籍氏名住所等總テ本簿ニ記載シ局長ノ檢印ヲ受クヘシ

一 免許證書換題名錄

免許證書書餘白ナキカ或ハ誤寫等ニテ免許證書換願出ルルハ書換指令年月日其他總テ本簿ニ記載スルル版權題名錄ニ同シ

一 版權取消

但略届出版取消印紙返納出版差止等ハ總テ本簿中ニ附記スヘシ

一 版權返納

出版人事故アリテ版權返納願出ルルハ開届指令年月日等本簿ニ記ス

一 出版取消

版權願出版届共其書名若クハ本文中ノ文意ニ依リ草稿ヲ檢査ノ上出版差止ノ相成候者ハ指令年月日本部ニ記ス

一 發賣禁止

會テ願届濟ノ圖書納本候節檢査ノ上不都合ノ圖書發賣差止相成候モノハ本部ニ記ス

一 移轉出版

甲ノ地方ニ於テ版權許可ヲ得出版前ニシテ乙ノ地方へ移轉ノ上出版シ該地方屬へ免許料上納候旨届出ルルハ本部ニ記入ス

一 寫真版權題名錄

記載手續ハ圖書版權題名錄ニ同シ

圖書局翻譯課處務順序

本課ハ局中分課ノ一ニシテ泰西ノ文書ヲ翻譯スルヲ以テ主掌トス其處務ノ順序ヲ定ムル左ノ如シ

第一條 内局及ヒ本局ノ翻譯事務ニ從事シ當用文書ヲ翻譯スヘシ

第二條 外國ノ新聞ヲ抄譯スヘシ

第三條 外國人ノ往復書簡ヲ翻譯スヘシ

第四條 當務ノ繁閑ヲ商量シテ他局ノ需求ニ應シ當用文書ヲ翻譯スヘシ

圖書局保存課處務順序

本課ハ局中分課ノ一ニシテ都テ圖書ヲ蒐集保存シ省中需用ノ書籍ヲ買辨シ及獻本褒賞等ノ事ヲ以テ主掌トナス其處務ノ順序ヲ定ル左ノ如シ

第一條 本省ノ記錄官民ノ納本及政事典型風俗ノ沿革ヲ證スヘキ古今ノ圖書ヲ集蒐シ或ハ版本ヲモ保

存スヘシ

第二條 太政官 明治八年四月 公達ニ依リ毎年各廳ヨリ送致スル處ノ書目ヲ調理シ局長ノ覽閱ヲ經テ保

存スヘシ

第三條 一切ノ記錄圖書ハ庫中ニ收藏シ部類ニ由テ之ヲ目錄ニ記載シ洋籍ハ其原名譯名及ヒ著述人名

出版年月等ヲ詳記シ一目瞭然出納ニ便ナラシムヘシ

第四條 一切ノ圖書ニハ(大日本帝國圖書印)及其年納本(或ハ獻本)ト彫シタル小印ヲ捺シ徵證ヲ判然タ

ラシムヘシ

第五條 古今ヲ論セス政事典型風俗人情ヲ徵スヘキ圖書ニシテ保存ニ漏タルモノアルハ其時々局長

ノ決ヲ經テ會計局ヘ合議シテ購求スヘシ

第六條 但購求代價五十圓以上ハ御輔ノ裁ヲ經ルモノトス

第七條 布告布達日誌ヲ庶務課ヨリ新聞紙雜誌雜報ヲ警保局ヨリ送致シ來レハ年月ヲ逐テ類別編釘シ

目錄ニ記載シテ保存スヘシ

第七條 一切ノ圖書記錄ヲ大別シテ二類トナス

第一類 保存スル所ノ圖書及新刻納本類ニシテ只一部ヲ有スルモノ

第二類 副本及臨時購求シテ各局課ニ貸與スルモノ等

第八條 第一類ノ圖書ハ固ヨリ局外へ出スヲ許サスト雖モ内局ノ需用及ヒ不得已ノ事由アルハ臨時

局長ノ指揮ヲ受ケテ處分スヘシ

第九條 第二類ノ圖書ハ悉ク番號ヲ貼付シ標目番號冊數等ヲ詳記シ各局課ノ需ニ應スル時ハ貸與證印簿ニ受領者ノ印ヲ徴シテ貸與スヘシ

第十條 各局課需求ノ圖書第二類中ニ備ハラサルモノハ第五條ノ手順ニ依テ購求シ而後第九條ノ手順ニ依テ貸與スヘシ

第十一條 各局課ノ需求ニ應シ書肆ニ於テ得ヘカラサル圖書ヲ謄寫スル時ハ其事由ヲ局長ニ具稟シ庶務課ヘ送付スヘシ

但校合並謄寫料渡方ハ庶務課ニテ取扱フモノトス

第十二條 記録圖書保存ニ關スル下間及稟申アルトハ其處分ノ考案ヲ具シテ局長若クハ卿輔ノ決裁ヲ乞フヘシ

第十三條 太政官明治十年十月第七十七號公達ニ據リ官省若クハ府縣ヨリ獻本賞與ノ事ヲ照會又ハ稟議スレハ第十二條ノ手順ニ依テ決裁ヲ乞ヒ下賜ノ賞品ハ庶務課ヲ經テ之ヲ其主廳ヘ送達スヘシ

第十四條 内外人民ヨリ圖書ヲ獻納スル等ノコアル時ハ局長ニ具稟シテ之ヲ處分シ成規ニ照シ褒賞賜與ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條 本省構外ノ文庫並査閱所ヲ管知シ晝夜上直シテ收藏ノ圖書ヲ嚴密ニ保護シ出納ノ際鄭重ニ取扱フヘシ

第十六條 文庫開閉掃除並曝書等ハ別ニ規定條例アリ之ニ照シテ處辨シ本省構内文庫ノ管鑰ハ退省ノ際當直者ニ付托シ翌朝之ヲ受取リ構外ノ分ハ交替者授受管守スヘシ

第十七條 東大寺勅封寶庫及全國社寺古文書書籍等ヲ検査シ若クハ處分センカ爲メ派出巡廻ヲ臨時内局ヨリ命セラル、時ハ其命ヲ奉スルハ勿論時トシテハ意見ノ考案ヲ具シテ上達スルコトアルヘシ

圖書局庶務課處務順序

本課ハ局中分課ノ一ニシテ各課管知外ノ諸務ニ從事スルヲ以テ主掌トス其分擔スル常務ノ目及處務ノ

十八年四月二十四日刊行
庶務課會計局ニ關スル會計
局ノ部ニ設ス

順序ヲ定ムル左ノ如シ

書記 調度 受付

課寫 刊行

第一條 書記自本條至第六條

總テ局長ノ命令及諸回達ヲ局中ヘ傳達シ又局員ヨリ出ス處ノ願伺届等ヲ本省並ニ局長ヘ進達スヘシ

第二條 局長裁決濟之事件ハ其指揮ニ隨テ處辨シ或ハ臨時機密之件ヲ筆記スル事アルヘシ

第三條 本局主務之上申往復書及指令等ノ文書ヲ筆記校合シテ受付ヘ遞傳スヘシ

第四條 局員之履歷職員及轉免等ノ諸簿ヲ調整シ任免轉職アル毎ニ其年月及辭令ヲ詳録スヘシ

第五條 局員之出勤簿ヲ調査シ毎月末ニ之ヲ別帳ニ登錄整頓スヘシ

第六條 局員ノ宿直順序ヲ査定シテ毎月掛札ヲ改正シ成規ニ照シテ各員ニ通知シ簿冊ヘ承諾ノ印ヲ徴スヘシ

第七條 調度自本條至第十條

本局定額金即官員俸給ヲ毎月十七日會計局出納掛ニ於テ切符ヲ受取リ本省エ出張ノ國立銀行ニテ現金ニ交換シ而後各員ニ交付シ各員受領ノ印ヲ徴スヘシ且明細表ヲ製シ之ヲ局長ノ展覽ニ供シ本掛ニ於テ保存スルモノトス

第八條 局員ノ需用品ハ局長ノ檢印ヲ受ケ局各ヲ以テ會計局ヨリ受取リ需用者ニ送付シ該出納簿ヘ證印ヲ徴スヘシ筆墨紙ノ類ハ木曜日ニ受取置キ器械ハ其臺帳消耗品ハ需用品臺帳ニ毎月詳録シ會計局臨時ノ査閱ニ應スヘシ

第九條 局用ノ郵便切手類ハ豫算ヲ以テ會計局出納掛ヨリ領置シ毎月仕譯書及明細表ヲ製シ殘餘アレハ添テ該局ヘ返付シ又翌月ノ分ヲ受領スヘシ

第十條 本局臨時附料ハ其都度附簿ヘ局長及ヒ會計局用度掛ノ檢印ヲ受ケ現品ヲ受取リ又圖書査閱所宿直附料ハ毎月二十五日會計局ヘ照會スルモノトス

第十一條 受付自本條至第十六條本省往復課及ヒ官省院使府縣寮局等ヨリ送致スル所ノ一切ノ文書ヲ受領シ大意ヲ概見シ各課ヘ分達スヘシ

但至急モノ或ハ重大之事件ハ直ニ局長ヘ送呈シ局員ノ私書ト雖正速ニ送付スヘシ

第十二條 上申下達ノ文書ヲ受付シ各所ヘ進達スヘシ

第十三條 本局ヨリ各府縣及其他ヘ通スル電信ハ直ニ電信分局ヘ送致シ音信料ハ該分局ノ請求書ヘ主任ノ檢印ヲ受テ會計局ヘ送付スヘシ

第十四條 本省回達竝ニ通知等ハ書記ヘ送付スヘシ

第十五條 太政官布達書日誌及各省布達等ハ四部以上アルモノハ一部ツ、編纂保存兩課ヘ送付シ一部ナレハ本課ニ留置二部ナレハ保存及本課ヘ分賦スヘシ

第十六條 毎月末各簿冊ニ就テ其月往復スル所ノ文書ノ首尾ヲ照査シ且ツ往復課ヨリ送致スル稽緩調等ヲ調査シ同課ヘ還付スヘシ

第十七條 課寫自本條至第二十三條

寫字ヲ管理シ常ニ其勤惰ヲ監視シ謄寫ノ多寡ヲ考ヘテ該員ノ増減ヲ申立ツヘシ

但寫字生ノ進退黜陟ハ局長ノ處分ニ在リト雖モ實際之ヲ要セサルヲ得サルモ其由ヲ具狀シテ局長ニ進達スヘシ

第十八條 寫字生ノ願同届ヲ受理シ指令ヲ要スヘキモノハ其指令案ヲ起草シ局長ノ決裁ヲ乞ヒ否ラサルモノハ回覽ニ供スヘシ

第十九條 寫字生ノ新拜命アル時ハ受書履歷書及保證狀ヲ徴シ整頓スヘシ

但等級昇降之時ハ受書ノミヲ徴スヘシ

第二十條 編纂其他各課ヨリ日々送付スル文書ヲ各寫字生ニ分配シテ謄寫校合セシメ其紙數ヲ檢シ而シテ後其原寫ヲ併テ各課ニ還付スヘシ他局課掛ヨリ送り來ルモノ亦之ニ準ス

但公文受送簿ヲ製シ往復ノ番號ヲ掲ケ受送ヲ簡明ニスヘシ

第二十一條 謄寫料支拂方ハ毎月二十五日枚數日給ヲ照査精算シ而後各自ヘ給與方ヲ會計局ニ照會スヘシ

第二十二條 各寫字生ノ謄寫誤脱日表竝ニ校合及寫圖日表ヲ製シ三箇月毎ニ之ヲ局長ノ檢閱ニ供スヘシ

第二十三條 他局課掛ヨリ寫字生借用ヲ乞フ時ハ局長ノ決裁ヲ得テ之ヲ取扱フヘシ

第二十四條 刊行自本條至第二十八條

新刊改刻共毎編校合摺ヲ取り之ヲ主任者ヘ交付シ訂正セシム其訛謬多キモノハ再校合摺ヲ徴シ正整ヲ俟テ始メテ編訂セシムヘシ

第二十五條 刊行ニ屬スル經裁書類ハ之ヲ刊行合議簿ニ編綴スヘシ且各局課掛ヨリ照會書ヲ以印刷ヲ要シ來ラハ刊行條例ニ照シテ區處スヘシ

但本省布達々書類ハ同ヲ經ス直ニ活版部ヘ付スヲ慣例トス

第二十六條 刊行類別錄ヲ製シ本省及各局課掛ノ彫刻印刷ヲ區分シ伺出ノ月日用紙部數等ヲ詳記シ刷成ノ上ハ類別錄ニハ濟ノ印ヲ捺スヘシ

但印刷局ニ於テ印刷スル書籍ハ部數ト費用トヲ照査シテ代價書ヲ會計局ヘ送付シ同局ヨリ印刷局ヘ直ニ廻金スルモノトス

第二十七條 本省官員及書肆等ヘ拂下タル書籍竝ニ發賣檢印手数料上納スヘキモノハ其書名及部數人名等會計局ヘ通知スルモノトス

第二十八條 印刷ヲ活版部ニ囑スルモノハ活版部送付簿ヲ以テ送付シ證印ヲ徴ス其類別錄ニ登記等ハ第二十六條ニ準スヘシ

圖書局ヨリ內務省ヘ伺十四年八月三日
本局各課名及其處務順序別冊之通更定可然哉仰高裁候也
圖書局ヨリ取調局ヘ合評十五年一月二十一日
編纂課處務順序又改正候ニ付御檢閱濟內局ヘ御送致ヲ乞フ

圖書局報告掛處務順序
十八年六月二十五日局ヲ
廢シ總務局中國書庫ヲ置
キ處務條例ヲ定ム本省分
課事務ノ部ニ載ス

圖書局報告掛處務順序 十六年五月二十三日

- 本掛ハ局中分任ノ一ニシテ官報書類ヲ蒐收シ及年報月報等ヲ編成スルヲ以テ主掌トナス其處務ノ順序ヲ定ムル左ノ如シ
 - 第一條 官報ニ係ル主任ヲ校勘纂輯受付ノ三科ニ別チ以テ其事務ヲ分任スヘシ
 - 第二條 官報掲載ノ印ヲ捺シタル回議ヲ往復課ヨリ送付シ來レハ受付之ヲ領收シテ件名番號廳名ヲ登錄シ調査ニ交付スヘシ
 - 第三條 纂輯ハ局課ヲ定メテ分擔シ其局課ノ回議ヲ受付ヨリ交付スレハ速ニ之ヲ精査シテ其文ノ短簡ナルモノハ全寫シ冗長ナルモノハ節略ヲ附箋シテ謄寫ニ付シ謄寫了レハ原寫ヲ合セテ校勘ヘ交付スヘシ
 - 第四條 校勘ハ纂輯ヨリ原寫書類ヲ交付スレハ其詳略等ノ當否ヲ校讐シテ局課ノ列順ニ從テ編次シ速ニ往復課ニ送ルヘシ
 - 但原書ハ受付ヲ經テ編纂課ヘ送致シ其未完結ノ付箋アルモノハ往復課ヘ送付スヘシ
 - 第五條 各局課主務ノ事項ニシテ官報ノ項目ニ適スル書類ヲ送付シ來レハ尙第二條第三條第四條ニ照シテ處分スヘシ
 - 第六條 本局各課中從來月報ノ設ケアルモノハ其材料ヲ蒐集シ編次表出シテ以テ御輔若クハ局長ノ檢閱ニ供シ年報ノ根據トナスヘシ
 - 第七條 毎年各局ノ事務ヲ類別編製シテ内務卿年報内務省報告書及本局年報ヲ製シ而シテ各局ノ年報書ヲ訂正シ之ヲ滙纂シテ内務卿年報ノ附録トナスヘシ
 - 第八條 年報書ハ御輔ノ覽閱ニ供シ而後成規ノ手順ヲ以テ太政官ヘ上申スヘシ
 - 但内務卿年報及本局年報ハ刊行スルモノトス
- 圖書局ヨリ内務省ヘ同十六年五月十六日
本局中報告掛ヲ置キ處務順序別紙甲號之通相定メ且乙號編纂課處務順序改正致可然或別冊相添仰高裁候也

圖書局報告掛處務順序
改正

十八年六月二十五日局ヲ
廢シ總務局中國書庫ヲ置
キ處務條例ヲ定ム十九年
六月二十九日附錄文書
保存規則ヲ定ム本省分課
事務ノ部ニ載ス

圖書局ヨリ各課ヘ達 十六年五月二十三日

別紙ノ通報報告掛處務順序相定メ編纂課處務順序改正候條此旨相達候事 別紙ハ前項ナリ

編纂課處務順序

- 本課ハ局中分課ノ一ニシテ本省一切ノ公文ヲ整理編纂スルヲ以テ主掌トナス其編纂スル書目及處務ノ順序ヲ定ムル左ノ如シ
- 內政編年錄 內政類典
- 局務類纂 局務提要
- 內務省布達便覽 政典覽要
- 內務省達全書
- 第一條 記錄文書ノ古往今來ノ事ヲ徵證シテ世ニ大功アルハ固ヨリニシテ又施政上一日モ闕クヘカラサルモノナレハ主任者宜ク此意ヲ體シ苟クモ本課ノ所管ニ屬シタル公文ハ厚ク保存シテ嚴ニ散逸ヲ戒メ退省ノ際必ス文庫ニ收藏シ非常變災ヲ豫防スヘシ
- 第二條 法令規則ノ沿革ヲ考察シテ施政治術ノ得失ヲ商量スルハ記錄文書ノ力ニ資ラスンハ能ハサルナリ本課編纂ノ主眼トスル所此ニアリ須ラク典例成規ヲ類纂シテ專ラ執務者ノ便ヲ謀リ若シ他局課ヨリ對照參考ヲ要請スルコトアレハ各分擔者速ニ其事類ヲ舉テ指示スヘシ
- 第三條 本省一切ノ公文往復課及他各局ヨリ送付シ來レハ受領者送付簿ニ押印シテ之ヲ收受シ公文原書編纂保存規則第一條ニ據リ其文書ノ要不要ヲ甄別スヘシ
- 第四條 收受ノ公文中不完闕如ノモノアレハ其由ヲ付箋シ其局課ヘ返付シテ完結ヲ需ムヘシ
- 第五條 公文ヲ調査シテ謄寫ニ付シ及ヒ寫回議ヲ主任ニ返付スル順序
- 一 公文ヲ調査シテ件名ト往復ノ番號及ヒ決裁ノ月日ヲ件名簿ニ登記シ寫字掛ニ送ルヘシ
- 一 謄寫了テ課寫掛ヨリ送り來レハ綴換ヲナシ(圖書局長検査印)ヲ捺シ件名簿ニ(某月日寫主任ヘ送ル)

ト記シ之ヲ主任局へ送達シ而シテ原本ヲ以テ編纂ノ用ニ供スヘシ其原書ヲ直チニ主任へ送付スル
モノハ公文原書保存規則第三條但書ニ據テ處分スヘシ

第六條 本課管知ノ公文ニ付キ官省院使若クハ府縣ヨリ照會或ハ稟議アレハ其處分ノ考案ヲ具シテ局
長又ハ卿輔ノ決裁ヲ乞フヘシ

第七條 編纂ノ事務ニ於テ各局課へ通達照會ヲ要スルコトアルハ第六條ノ手順ニ據テ處分スヘシ

第八條 出納簿ヲ製シ他局課及本局主任ノ需ニ應シ公文ヲ貸與スルハ該簿ニ件名ヲ登錄シ借主ノ檢
印ヲ徴シテ貸與スヘシ既ニ製本ニ屬スルモノハ他局ニ出スヲ許サス宜ク本局ニ就テ參看セシムヘシ
但貸與十日ヲ過クルモノハ返付ヲ督促スヘシ

第九條 文書ヲ搜索シ及受付シ各分擔者ニ分配スル等ノ雜務ニ從事スルモノヲ定ムヘシ
但便宜ニヨリ第十條ノ事ヲ兼掌セシムヘシ

第十條 文庫ノ管鑰ヲ掌ル者ヲ預定シ其開閉ヲ嚴ニスヘシ尤モ閉局中ハ管鑰ヲ當直ニ付托スルモノト
ス

第十一條 各員一月擔任處分シタル事項即編成ノ冊數受付ノ件數等ヲ各自綜録シ翌月二日迄ニ報告掛
ニ送付スヘシ

第十二條 第一條ノ旨趣ヲ體シ收受ノ公文ヲ局課ニ大別シ各員之ヲ分擔シ公文原書編纂保存規則ニ照
ラシ内政編年録ヲ編スヘシ

第十三條 第二條ノ旨趣ヲ體シ諸公文中ヨリ法令規則ニ係ルモノヲ撰拔シ凡例ニ照シテ内政類典ヲ編
スヘシ

第十四條 本局主管ノ公文ヲ類別纂集シ局務類纂ヲ編スヘシ其體裁ハ大率第十三條ノ内政類典ニ同シ
但本局回議中條例規則ニ係ル重要ナルモノハ内政編年録ニ編シ更ニ寫ヲ以テ局務類纂ニ編入シ又
參考ニ要ナラスト認ムルモノハ公文原書保存規則第三條但書ニ據テ處分スヘシ

第十五條 本局主管ノ事務ニシテ現行ノ成規例格ヲ彙集シテ局務提要ヲ編製シ主任參考ノ便ニ供スヘ

シ其體裁ハ大率第十三條内政類典ニ同シ但布達規則ノ沿革アル毎ニ新陳補除スルヲ以テ異ナリトス
第十六條 太政官ノ布令及ヒ本省ノ布達中現行ノ規則ヲ類別纂集シテ政典覽要ヲ編成スヘシ内務省ノ
省布達覽要ノ體裁亦之ニ同シ
第十七條 本省ヨリ各府縣へ布達セル甲乙丙及番外ノ諸達ヲ往復課ヨリ送致スルニ隨テ之ヲ漸次蒐集
シ本年毎ニ整理纂輯シテ達全書ヲ編スヘシ
第十八條 以上ノ諸書全ク編纂シ了ラハ様式ヲ一ニシテ編訂シ局長若クハ卿輔ノ覽閱ニ供シ達全書ノ
如キハ成規ノ手順ヲ以テ刊行スヘシ

圖書局ヨリ各課掛へ達 十七年五月二十日
和田倉門内ニ設ケタル文庫ヲ千代田文庫ト名ケ該所ニ於テ保存課並書室ノ事務爲取扱候條此旨相達候事

圖書局和田倉門内ノ文
庫ヲ千代田ト名ケ

内務省伺 十五年十月七日
皇居御造營ニ付山里ニ有之當省文庫之義皇居御構内ニ相成候ニ付舊木城二ノ丸へ移轉仕度見込ニ有之
候處是亦皇居御用地ニ付差支ノ趣仍テ之レニ代ルニハ和田倉門内近傍ノ地相應ノ場所ナルヘクト相認
メ該所皇宮附屬地ノ内二千五百坪一合四夕借受方宮内省へ協議濟ニ有之候就テハ義キニ經伺ノ上文中部
省へ引渡候淺草文庫拂代金二万圓及皇居御造營事務局へ山里文庫讓渡候代金千七百三十三圓其他在合ノ古木
石ヲ使用シ當省限リ建築仕度御裁可ノ上ハ圖面仕樣調製仍可伺出積リ此段至急相伺候也
指令十五年十一月九日

同ノ趣開置候事

内務省伺 十五年十二月二十七日
當省圖書文庫建設敷地ノ儀和田倉門内皇居附屬地ノ内二千五百坪一合四夕宮内省ヨリ借受ケ文庫建築
仕度段第百〇七號ノ内ヲ以テ伺濟ノ處今般該地所悉皆三千二百七十一坪一合四夕借受ノ儀更ニ宮内省ト協
議濟ニ付此段上申候也
指令十六年一月十六日

上申ノ趣開置候事

内務省伺 十五年十二月二十七日
概算
是ハ文庫建築坪百二十四坪建築費

概算 一金三千六百五十圓
 是ハ板庫建坪七十坪建築費
 右ハ坤會甲第一〇七號ヲ以テ伺濟相成候和田倉門內皇宮附屬地へ建築可致當省文庫ノ內前書二棟ハ至
 急建設ヲ要シ候ニ付精々節略ノ見込ヲ以テ概算積立候處前記ノ金員ニ相成候右ハ曩ニ經伺ノ通文部省
 へ淺草文庫讓代金二萬圓及皇居造營事務局へ山里文庫拂代金千七百十三圓ノ內ヨリ支辨ノ上建設方御裁
 可相成度圖面仕様相添へ此段相伺候也
 指令十六年四月十日

伺ノ趣文庫建築ノ儀ハ開屆候條十四年度ニ於テ増額候金二萬圓ノ內ヲ以テ支辨スヘシ
 但山里文庫拂代金ハ此際大藏省へ納付スヘシ
 圖書局ヨリ內務省へ伺二十年十一月二十四日
 千代田文庫建設地所之儀皇居御造營事務局上要用ニ付返還可致旨昨年二月中宮內省ヨリ照會有之其後移
 轉期限並費用之件々ニ付往復ノ末猶文庫並書籍共併セテ引繼相成度旨同省ヨリ被及内談候次第別紙參
 照ノ通ニ候處抑本省所屬之書籍ニハ二様之別有之甲ハ新刻書ノ納本ニシテ即チ出版者ノ願屆ニ附屬ス
 ルモノ乙ハ舊昌平校ノ藏書等ニテ一時淺草文庫ニ收藏セシモノ又ハ本省ニ於テ臨時買入等ノモノ有
 之而シテ甲ハ本省事務上照査ノ必要有之乙ハ十七年太政官第十一號達ニ依リ内閣記録局へ引繼ヲ了シ
 其內ニ就キ要用ノ分借用致置候モノニシテ既ニ本省所有之書籍ニハ無之候ニ付甲乙兩種共宮內省へ御
 引繼之儀ハ到底御承諾相成候事ト被存候間右内談之趣ハ宜シク御謝絶有之建物地所ノ御引繼相成
 可然歟然ルニ先般ハ該文庫之公園地へ建設之計畫ニテ費用等夫々取調相成候處上文之次第ニテ衆庶ニ
 縱覽セシムヘキモノニモ無之專ラ本省事務上參照之用ニ供スル爲メニ候得ハ之ヲ本省內へ被備置候ハ
 儀ト相考候依テ本省構内便宜之場所へ文庫建設ヲ右書籍收藏相成候條宮內省へハ最前之取調書ニ相
 載候事務所板藏等ノ分ヲ省キ現在煉化石造文庫一棟ノミノ建設費用御請求相成可然哉照會案相添此段
 相伺候也
 內務書記官ヨリ宮內省記官へ照會二十年十二月十三日
 千代田文庫敷地可及御返還旨兼テ御照會ノ末同文庫收藏ノ書籍ヲモ併セ御引繼可致旨杉內藏頭ヨリ芳
 川次官へ内談ノ趣モ有之候處該書籍ハ當省事務上必要ニ付難應其意旨被及回答候條管轄テハ右地所返還
 建物ハ現在ノ儘御引繼ニ可及候條該文庫代築入費トシテ別紙調書ノ金額御交付相成候條致度仍テ昨十
 九年八月十二日附御照會ニ對シ何分ノ御回答有之度候然ルニ前回ハ建物總體ノ費用及請求候處追々詮
 議ノ次第モ有之附屬建物之分ハ建築ヲ要セサル見込ニ付文庫ノミ之費用請求候儀ニ有之候左様御了承
 有之度此段及御照會候也
 圖書局ヨリ內務省へ伺二十年十二月二十日
 千代田文庫敷地返還之儀ニ付別紙具案仰高裁候處猶又御下命之次第モ有之杉內藏頭へ面會ノ上宮內省
 御都合承合候處當初ハ右場所ヲ以テ近衛局ニ被相充候見込ノ處宮內省中へ合併ノ事ニ相成候ニ付先以

要用無之此際返還ニハ不及候間是迄ヨリモ一層書庫ノ體面ヲ整へ候條企望候旨杉氏ヨリ被及回答候依
 テ右書庫移轉ノ儀ハ總テ御取消相成候條爲念宮內省記官へ左案ノ通御照會有之可然哉相伺候也二十年
 十二月二十一日決判
 追テ文庫中ニ收藏ノ書籍ハ宮內省へ御引繼相成兼候旨モ内藏頭へ委曲相談シ承諾相成申候也
 內務書記官ヨリ宮內省記官へ照會二十年十二月二十一日
 千代田文庫敷地可及御返還旨兼テ御照會ノ末同文庫收藏ノ書籍ヲモ併セテ御引繼可致旨杉內藏頭ヨリ
 芳川次官へ内談之趣モ有之右ニ付佐和圖書課長ヨリ杉內藏頭へ及御協議候處即今該地所不及返却是迄
 ノ通借用差支無之旨内藏頭ヨリ被及返答候ニ付從來御照會ノ次第ハ總テ御取消相成度此段爲念及御照
 會候也

圖書局ヨリ各局へ通牒 十七年五月二十一日
 當局保存課並書室共本日ヨリ和田倉門內千代田文庫事務所へ移轉致シ同所ニ於テ事務取扱候條此段及
 御通牒候也

圖書局ヨリ各局へ通報 十七年十一月二十八日
 當局分科ノ儀別紙ノ通併合改稱致候條此段及御通報候也
 別紙
 圖書局
 保存課翻譯課合併ノ上典籍課ト改稱
 庶務課局長付書記ト改稱

圖書局出版課事務 十八年三月二十八日
 一願屆書面書式ニ合ハサルモノ却下訂正セシメ候處今般各府縣廳ニテ取調ノ上進達スル事ニ相成候得
 者不都合ハ有之間敷候得共尙書式ニ合ハサル廉有之正事ニ書ナキ分ハ其儘差置キ不得止分ハ却下訂
 正セシム

圖書局保存課改稱並
 千代田文庫事務所へ移
 轉ス
 十七年十一月二十八日
 籍課ト改稱ス
 十八年六月二十五日
 廢シ總務局中圖書課ヲ置
 ク本省分課事務ノ部ニ載
 ス
 圖書局分科併合改稱
 十八年六月二十五日
 廢シ總務局中圖書課ヲ置
 ク本省分課事務ノ部ニ載
 ス
 圖書局出版課事務取扱
 十八年六月二十五日
 廢シ總務局中圖書課ヲ置
 キ庶務課例ヲ定ム本省分
 課事務ノ部ニ載ス

一出版條例第二十一條ニ何年月日出版或ハ何年月日版權免許ト記シトアルニ由リ納本與附ニ無版權ノモノハ出版ノ年月日若クハ届出ノ年月日ヲ記シ有版權ノモノハ免許ノ年月日ヲ記ス然ルニ其年月日往々相違有之又題名モ往々相違有之右等ハ納本ヲ一應却下シ訂正セシメ候得共自今ハ格別ノ相違ニ無之分ハ其儘ニ差置キ其他ハ印刷紙ヲ差出サシメ發賣之分モ同様訂正セシム

納本ニ出版人氏名住所ヲ記セサルモノ往々有之候是亦前條同様取扱フ

納本ヲ却下セス印刷紙ヲ差出サシムルニ就テハ不得已場合ニ於テハ雛形ヲ作り下付ス

一納本ノミ到達シ届書ノ未タ到達セサルハ數日間見合置キ納本ヲ一應却下候得共自今ハ右納本ヲ預リ置キ届書ヲ進達セシム

右二項ハ總テ御照會書ヲ以テ取扱度候而シテ末項ノ場合ニ於テ出版人ヨリ届出無之旨回答アルハ條例罰則第一條ニ照シ處分スルトス

圖書局出版課ヨリ圖書局ヘ伺十八年三月十六日

本課事務自今左ノ通取扱可然哉此段相伺候也十八年三月二十八日決判

内務省庶務課章程 七年一月二日

當課ハ制限ノ主任ナシト雖モ凡ソ省中各寮ノ主務ニ非サル事件ハ一切擔當シテ之ヲ調査商量スル所ナリ

省中一般ノ章程其他事務ノ成規ヲ詳識シ施行ノ際矛盾註誤ナキヲ要ス

演戲及ヒ諸遊觀場ノ利害得失ヲ商量シ之カ規則ヲ設ケ或ハ成規ヲ更正スル等卿輔ノ命ニヨリ其考案ヲ草スル事

府縣申請ノ神社官舎修繕營築ノ事務ヲ勘査ス

卿輔ノ命ヲ奉シ各地方ヘ訪察巡案ノ爲メ派出スルコトアリ官省其他ヘ文書ヲ以テ往復スルニ文書其事ノ詳密ヲ悉ス能ハサルカ或ハ至急ノ事アル時ハ主任其由ヲ具陳シ命ヲ稟ケ行使スルコトアルヘシ

庶務課章程
 庶務課ハ七年一月十一日
 改訂十一月十五日各局
 課ヲ改定シ第一局ト爲ス

課中左ノ五課ニ分ツ

考案

卿輔ノ命ヲ稟ケ創造設立變更釐正ノ方案ヲ草シ又ハ的確ノ成規ナクシテ從來施行セシモノ、如キハ其得失利病ヲ考覈商量シテ具狀仰決スヘシ

官省往復ノ文案ヲ作り或ハ布達ノ草案ヲ立ツ

常務

府縣ヨリ稟議請問スル條件及ヒ日用一切ノ事務成規ニ準據シ例格ニ照會シ指令ノ考案ヲ作り當務ヲ處辨ス

建白上疏ノ事或ハ齊民ノ告訴等事止ヲ得サルニ出ツル者ハ一旦審調シ其官廳ニ送還シ又ハ主務ノ省ヘ送達スル事アルヘシ

考案常務ト別ツト雖モ事務緊急ニ關與スル者ハ互ニ通知押印シテ施行ノ際稽違ナカラシム

營繕

府縣ヨリ申請スル神社官舎修繕營築一切ノ事務ヲ擔當シ其工役ヲ審案シ其費途ヲ明晰シ其當否得失ヲ商量シテ處分ノ法案ヲ作り仰決ス

編輯

課中處分スル所ノ條款細大トナク毎日回議案決議ノ後登記謄寫シテ其回議案ヲ記錄課ニ送致シ且其回議ノ寫ヲ部分簿録シ編纂裝演シテ散逸ナキヲ要ス

課中一切ノ寫字簿書ヲ擔當ス

課中一切ノ事務ハ每件之ヲ收録シ其事務ノ部類ヲ分チ詳明ナル月報年報考課狀ヲ作り之ヲ申呈ス

受付

官省寮司課及ヒ府縣ノ文書一切ノ往復受付課ヨリ領收シ部分ヲ分ツテ之ヲ簿記シ然ル後各主任ニ分配ス主任立案シテ出スモノハ庶務ノ印ヲ其回議冊ニ捺シテ之ヲ上呈シ若クハ合評ノ寮司課ヘ回達ス

右章程他日増減ヲ要スルコトアレハ其事由ヲ詳明シ卿輔ノ指圖ニ由テ之ヲ加除更正スヘシ

内務省ヨリ庶務課ヘ達 七年一月二十八日

土木寮中府縣營繕調査之事務以來其課ニ於テ引受擔當可致此旨相達候事
但引渡ノ儀土木寮ヘ相達置候間同寮ヘ引合受取方可取計事

内務省ヨリ各寮司課ヘ達 七年七月三十日

今般地方官會議被開候ニ付テハ各廳ノ事務上ニ於テ御垂問ニ可相成條件ハ議案取調來ル八月二十五日限上申可致旨正院ヨリ御達相成候條去ル五月二十五日相達候次第モ有之候得共尙取調有無共來ル八月十日迄庶務課ヘ申出候様可致此段相達候事

内務省ヨリ各局課ヘ達節錄 七年十一月十五日(全文ハ本省分課)

第二局分ツテ三課ト爲ス

第一課 囚獄 懲役

- 一 囚獄懲役場ニ關スル一切ノ規則ヲ取扱フ事
- 一 囚獄懲役場諸費ノ事
- 一 囚人護送費ノ事
- 一 牢醫牢番使劄子等ノ給料増減ノ事
- 一 所刑ニ付テノ諸費ノ事

庶務課地方官會議議案取調ノ事務ヲ管ス
七年七月十四日府縣營繕事務ヲ地理寮ニ屬シ八年六月四日舊ニ復ス

第二課分課事務
八年五月三十日第二課ヲ庶務課ト改ム本省分課事務ノ部ニ設ス

第二課 庶務

一 民費賦課ヲ取調ル事

一 賦金取調ノ事

一 府縣ヨリ申請スル條件各寮局ノ主務ニ屬セサルモノヲ成規例格ニ照シテ指令ノ草案ヲ作ル事

第三課 琉球

一 諸願伺居等ヲ調査シ指令ノ考案ヲ起案スル事

一 諸布告布達ノ類ヲ下付スル事

一 該藩ニ係ル一切ノ事務取扱ノ事

地理寮所管府縣營繕事務第一局ニ屬ス

地理寮ヨリ第一局ヘ照會 八年六月三日
今般營繕事務可及御引渡ニ付テハ右ニ關スル建物其他拂下ノ分モ取調御引渡可申ノ處右拂下ノ義ハ地所立木等一ト纏ニ伺出許可ノ分各府縣共比々有之右等引分ケ候テハ多分ノ手數ノミナラス於府縣モ收納取計方煩雜自然誤謬ヲ生スヘキ義ニ付當寮ヘ上納可致段既ニ達濟ノ分ハ當寮ニテ所分致シ候方可然哉ト被存候間此段及御照會候條至急御回答有之度候也

第一局ヨリ地理寮ヘ回答 八年六月四日

今般營繕事務御引繼ニ付建物其他拂下之義ニ付地所立木等一ト纏ニ伺出許可ノ分各府縣比々有之候處既ニ御寮ニ上納可致旨御達濟ノ分ハ御寮ニテ御處分相成候方可然趣ヲ以御打合ノ旨致承知候右ハ御申越ノ通ニテ異存無之候此段及御答候也

達 八年六月二十八日

今般銃砲彈藥取締ノ儀内務省ヘ管理被仰付候ニ付テハ追テ相達候儀モ可有之候ヘ共差向キ從前規則ノ通相心得取締可致尤右規則中是迄陸軍省及ヒ各鎮臺等ヘ申出候分ハ總テ内務省ヘ可申出其他管理替ニ付抵觸ノ箇條ハ廢シ候儀ト可心得此旨相達候事

第一局銃砲彈藥取締事務ヲ管ス
九年十二月八日取締事務ヲ警保局ニ屬ス

第一局海軍退還料及扶助料渡方第五ノ事務ヲ管ス

十四年二月九日戸籍局ニ屬ス海軍退還令ハ兵制門官制ニ與リ部ニ屬ス往復規程ハ文書門交付ノ部ニ屬ス

戸籍寮中救助慈惠ニ係ル事務ヲ本省ノ直管ト爲ス

十四年二月九日實業及救助慈惠ニ係ル事務ヲ戸籍局ニ屬ス

庶務課所管琉球事務ヲ省中各主任ニ分付ス

琉球事務ハ七年七月十二日官スル所本省ノ部ニ屬ス

庶務課ハ九年一月四日第一局ヲ改稱スル所本省分課事務ノ部ニ屬ス

庶務課ヲ庶務局ト改稱ス

十八年六月二十五日庶務局ヲ廢シ縣治局ヲ置ク

庶務局所轄府縣經費受拂事務ハ本府縣經費受拂事務ハ本

内務省ヨリ第一局へ達 八年九月十五日

今般海軍退還令別冊之通御定相成候ニ付右令中退還料及扶助料渡方等ニ付府縣ヨリ伺届ノ件々都テ其局ニ於テ調査可致尤金額交付ノ義ハ往復規程ニ照準第四局ニ於テ取扱候條此旨相達候事

内務省ヨリ第一局へ達 八年十一月二十四日

其局囚獄懲役ノ事務自今警保寮主管ト相定候ニ付右事務同寮へ可引渡此旨相達候事

内務省ヨリ第一局へ達 八年十二月五日

戸籍寮中救助慈惠ニ係ル事務ハ總テ本省直管ト相定候條右事務同寮ヨリ可請取此旨相達候事

内務省ヨリ庶務課へ達 九年二月十七日

琉球藩一切ノ事務是迄其課於テ主管ノ處詮議ノ次第有之事務ノ各項ヲ區分シ各主任ノ寮課へ可引渡此段相達候事

内務省ヨリ琉球藩へ達 九年二月二日

當省中庶務課ニ於テ其藩事務取扱掛ヲ置諸事爲取扱候處自今相廢候條其段相心得夫々へ可相達尤諸願伺届等ハ以來往復掛へ可差出此旨相達候事

内務省ヨリ庶務課へ達 九年四月十七日

其課自今局ト改稱候事

内務省ヨリ庶務局へ達 九年十月三日

其局所轄府縣經費受拂之事務以來會計課へ擔任爲候條右事務同課へ引渡可申此旨相達候事

省別廳以來同局ノ管理スル所前ノ章程ヲ參看ス

庶務局所轄金銀出納事務ヲ會計課ニ屬ス

全般出納事務ノ改正ハ會計課ノ部ニ屬ス

庶務局所轄囚獄懲役場等ノ警備事務ヲ警保局ニ屬ス

囚獄懲役事務本省別廳以來管理スル所前ノ章程ヲ參看ス

庶務課主管治道ノ事務ヲ圖書局ニ屬ス

庶務局所轄銃砲彈藥取扱事務ヲ警保局ニ屬ス

庶務局所轄官國幣社並御陵墓事務ヲ社寺局ニ屬ス

官國幣事務本省別廳以來管理スル所前ノ章程ヲ參看ス

別紙ハ社寺局へ達ナリ社寺局ノ部ニ屬ス

庶務局主管府縣ノ懲戒例及任期例ニ關スル事

内務省ヨリ庶務局へ達 九年十月三日

今般金銀出納之事務改正之儀相達候ニ付テハ會計課打合引渡日限可取極尤右引渡濟迄ハ從前之通可相心得事

内務省ヨリ庶務局へ達 九年十月十七日

囚獄懲役場並警察出張所屯所等警備ノ事務自今警保局管理候條該事務同局ニ可引渡事

庶務局ヨリ圖書局へ通牒 九年十二月六日

沿革調ノ事務主管ノ儀ニ付別紙ノ通御決判相成候ニ付此段及御通知候也

庶務圖書兩局ヨリ内務省へ伺 九年十二月六日
沿革調ノ事務是迄庶務局ニ於テ取扱居候處以來圖書局ニ於テ擔當候條御達相成度此段相伺候也

内務省ヨリ庶務局へ達 九年十二月八日

銃砲彈藥取締之事務自今警保局ニ於テ取扱旨相達候條右事務同局へ可引渡此旨相達候事

内務省ヨリ庶務局へ達 十年一月十七日

其局管理府縣警備事務ノ内官國幣社並御陵墓ニ關スル分ハ自今社寺局於テ管理之儀別紙之通相達候條同局協議ノ上事務引繼方可取計此旨相達候事

庶務局ヨリ本省へ伺 十年二月五日

務ノ職務ニ專ス
懲戒例ハ治罪門任期例ハ
地方官制ニ依ス

庶務局官制初夫食等
貸下事務ヲ勸励局ニ屬
スル所前ノ章程ニ依
シテ改訂スル所
勸励局ハ達ハ同局ノ部ニ
屬ス

庶務局地方税及府縣會
事務ノ官
地方税及府縣會ハ十二年
七月第十八十九兩號布告
ヲ以テ創設スル所
庶務局事務章程

十二年八月七日國務院
ヲ定ム

諸府縣ヨリ懲戒例及府縣官任期例ノ義ニ付伺出候節ハ是迄當局竝ニ職務懸リニテ取扱區々相成居候間
自今右二例ノ儀ニ付伺出候節ハ一切職務懸リニテ取扱候様致度此段相窺候也 十年二月十日 決判

内務省ヨリ庶務局へ達 十年二月十二日

其局掌管種糶夫食農具小屋掛料耕牛馬代貸下之事務別紙之通勸農局へ相達候條書類引繼可申此旨相達
候事

内務省ヨリ庶務局へ達 十一年七月三十日

地方税及ヒ府縣會議ニ係ル事務ハ其局ニ於テ主管スヘシ此旨相達候事

庶務局事務章程 十一年月日

局中ノ事務ヲ分チ上下二款トス其上款ハ長ノ意見ヲ具シ卿ノ決裁ニ據テ施行スルモノトス其下款ハ長
ノ意見ヲ以テ專行スルコトヲ得

- 第一款 各地方施政上ニ係ル諸布達又ハ成規釐正等ノ方案ヲ起草スル事
- 第二款 各府縣廳費ヲ増減シ又ハ臨時ノ費金ヲ支出スル事
- 第三款 各府縣判任以下官吏及其定額金ノ増減又ハ罰賦規則ヲ改正スル事
- 第四款 地方税及府縣會ノ規則ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 第五款 從前民費諸費ノ費途ヲ調査シ之カ科目及制限ヲ定ムル事
- 第六款 府縣廳ノ位置ヲ變更スル事
- 第七款 府縣營繕ノ費額ヲ増減シ及規則ヲ更正スル事
- 第八款 府縣廳及官宅倉庫諸經費ヲ營繕費定額ヨリ支出スル事

- 第九條 例規ナキ賞典恤救及貸付ノ施行ニ關スル事
- 第十條 文官其他非命ニ斃レタルモノヲ内規ニ照シ恩恤スル事
- 第十一條 一般人民ノ建白及直願ノ書面ヲ取扱フ事
- 第十二條 規則外人民結社ノ諸願ヲ取扱フ事
- 第十三條 外國人ニ關スル官省府縣等ノ稟議照會ヲ取扱フ事
- 第十四條 局中ノ官員ヲ府縣へ派出スル事
- 第十五條 布告布達其他諸規則ニ就キ施政上ニ係ル府縣伺ニ對スル指令ヲ取扱フ事

下款

- 第一條 例規アル賞典竝ニ恤救ヲ施行スル事
- 第二條 地方税及府縣會ノ規則ニ據リ地方官取扱上ニ係ル府縣ノ照會ニ對シ最前ノ決議ニ基キ回答スル事
- 第三條 各府縣賦金ノ遣拂ヲ取調ル事
- 第四條 府縣營繕ノ豫算ヲ調査スル事
- 第五條 府縣廳及官宅倉庫竝附屬官舎等修繕費ヲ支出スル事
- 第六條 府縣所轄官舎及官庫其府縣ヨリ他官廳又ハ人民ニ貸渡シタル後其借料收入ノ手續ニ係ル事
- 第七條 官員官宅宿代ヲ成規ニ照シ取調及宿代收入ノ手續ニ係ル事
- 第八條 不用ノ官舎ヲ成規ニ照シ學校病院等ニ附與スル事
- 第九條 不用官舎賣却代金收入ノ手續ニ係ル事
- 第十條 不用物品賣却代金收入ノ手續ニ係ル事
- 第十一條 陸海軍々人軍屬ノ寡婦孤兒恩給令ニ照シ處分スル事
- 第十二條 小笠原島ニ關スル文書往復等ヲ取扱フ事
- 第十三條 外國公使領事轉免ノ節外務省ノ照會ニ依リ開港及開市場府縣竝地理局等ニ通知ヲ取扱フ事

- 第十四條 本局掌管事務ニ付府縣ニ推問及照會スル事
- 第十五條 本局掌管事務ニ於テ各局ニ合議スル事
- 第十六條 本局ノ簿書ヲ編纂スル事
- 第十七條 本局ノ年報ヲ編纂スル事
- 第十八條 局中ノ各掛ヲ廢置スル事

庶務局ヨリ取調局へ照會 十一年十二月二十日

貴局ニテ御起草相成候諸達又ハ規則ノ中本局主管ニ係ルノ事項ハ制定ノ際熟議討論ヲ盡シ他日ノ遺憾無之様致度且ハ主管ノ事項ニ就テハ制法ノ精神ヲ瞭知シ置カサレハ取扱上ニ於テ不都合モ有之義ニ付以來必御合議相成候様致度此段及御照會候也

庶務局處務順序 十二年八月七日假定

第一款 議案掛

- 第一條 卿輔及局長ノ命ヲ奉シ各地方施政上ニ係ル諸布達又ハ成規釐正等ノ方案ヲ起草シ或ハ官省其他へ稟議請問等ノ文案ヲ作ル可シ
- 第二條 官省府縣其他ヨリノ稟議請問等凡ソ例規ナキ條件ニ係ル文書ヲ擔任シ之カ回答及ヒ指令案ヲ草ス可シ但其關涉ノ諸省局ト合議シ卿輔又ハ局長ノ決ヲ取リ或ハ太政官ニ伺フ經而シテ執行スル等渾テ定例ニ依ル以下皆之ニ效ヘ 若申請書中疑義或ハ錯誤アルトキ小事ハ局長ヨリ照會シテ之カ辨明且往復ヲ重ヌルカ或ハ人民ノ休戚ニ關係スル等ノ事欸ニ際スル時ハ決ヲ卿輔ニ取リ法律ニ關スルトキ或ハ太政大臣ノ決裁ヲ仰キ以テ指令レ又ハ時宜主任ヲ派遣シテ辨理セムルコト有ヘシ
- 第三條 官省府縣其他ヨリ稟議請問等他ノ主管ノ省及諸局ヨリ合議ヲ要シ來ル時ハ各主任ニ於テ查閱シ以局議ヲ盡シ而シテ後尙他ノ省局ニ回付シ又ハ卿輔ニ上達スル等渾テ例ニ依リ取扱フヘシ 他日ノ係ル事項又ハ緊要ノ事件ナルトキハ局決ノ後編輯掛ニ屬シ合議摘要ニ騰寫セシムヘシ 若持廻リ其他至急ヲ要スル回議ナルトキハ局名ノ上ニ要再回ノ印ヲ捺シ一旦返附又ハ他局ニ回致スヘシ 而レテ其

庶務局處務順序 十八年六月二十五日庶務局ヲ廢シ縣治局ヲ設キ處務條例ヲ定ム

取調局處務ニ係ル規則 類必ス庶務局ニ合議ス 十七年一月二十三日取調局ヲ廢シ同局ハ十一年九月二日設置スル所取調局ノ部ニ改メ

再回ヲ待チ之ヲ以下皆之ニ倣ヘ 騰寫セシムヘシ

- 第四條 一般人民ノ建白及直願ノ書面ヲ回付シ來ル時ハ速ニ之ヲ稽査スヘシ其之ヲ理スルト却下スルトノ如キ皆明治九年四月四日卿ノ心得達假定手續ニ據テ處辨スヘシ
- 第五條 地方稅及府縣會ノ施設ニ關スル府縣ノ稟議請問ニ付テハ之カ指令答辨ノ議案ヲ草スヘシ
- 第六條 騷擾事件又ハ天變地異其他府縣臨時ノ費途ヲ請求シ或ハ例規ナキ拜借金ノ申請アルトキハ其類例ヲ考覈シ其可否ヲ審查シ而シテ之カ處置案ヲ作り卿ノ決ヲ取リ大藏卿ニ協議ヲ遂ケ太政大臣ノ制可ヲ經テ指令ノ手續ヲナスヘシ但現金交付ノ際ニ在テハ其都度傳票通知ノ手續ヲ怠ルコトナカルヘシ以下皆之ニ倣ヘ
- 第七條 府縣判任官月給定額ノ事ヲ掌管シ常ニ其割賦規則ノ適否ヲ照顧シ設シ時務ニ對シ不適當ト思考スルコトアル時ハ上司ノ命ヲ承ケ其增加減省ノ方案ヲ考ヘ之カ改正ノ議ヲ起スヘシ但府縣ノ内不時止ヲ得サルノ事項アリ特ニ増費ヲ要スル等ノ如キハ他ノ近例ヲ推シ而シテ內藏兩卿ノ協議ヲ要シ大臣ノ裁可ヲ經テ執行スヘシ
- 第八條 諸會社設立ノ請願ニ依リ各府縣ヨリ伺ヒ出ル時ハ先ツ其性質ヲ推究シ該地ノ形勢及時態ヲ察シ國安民利ニ妨害ナキヤ否ヲ考査シテ而シテ後許否又ハ任放ノ見込ヲ立テ卿輔以下ノ決ヲ取リ指令ノ手續ヲナスヘシ但シ議案掛リノ内人員令ノ手續ヲナスヘシ
- 第九條 小笠原島ニ係ル本局掌管ノ事務ヲ處辨スヘシ
- 第十條 外國人ニ關係シタル事件到來スル時ハ卿輔又ハ局長ノ命ヲ承ケ當務ヲ處辨スヘシ若夫外國公使領事轉免ノ節外務省ヨリ通知アル時ノ如キハ其旨開港及開市場府縣并ニ地理局等ニ通知スル等ノ手續ヲナスヘシ
- 第十一條 各主務擔任ノ件名及番號年月日等ハ日々月報ニ登記シ每月初旬ニ於テ官省府縣等ヲ區別シ已了未了ヲ判明ニシ其前月中ノ回議文書件數表ヲ作り受付掛ニ回付スヘシ

卿ノ心得達ハ直願書取扱方手續ナリ支費門受付ノ部ニ載ス

第二款 常務掛

第一條 本掛主管ノ事務ヲ分チ二科トス其科目左ノ如シ
府縣營繕科 府縣恩典科

第二條 營繕科管理スル所ノ簿書左ノ如シ

府縣營繕費元帳

甲乙三册

府縣營繕費日計簿

一册

諸官舍貸渡元濟牒

一册

官舍拂下代

一册

官舍貸渡料

上納元帳

甲乙三册

官宅宿代

一册

外國人官宅宿代

一册

不用品拂下代上納元帳

一册

官舍明細表

二册

成規類集

二册

第三條 府縣營繕ニ係ル申牒ヲ擔任スルモノハ先其新營及建増摸樣替ナル歟又ハ修繕ナル歟ヲ監別シ其請求額ヲ勘査シ(定額常費五百圓)(額外常費五百圓以上)(臨時費一萬圓)此三費ノ額ヲ區分シ日計簿ニ照シ定額殘金ヲ以支辨シ得ルヤ否ヤヲ考量スヘシ

第四條 其費額ノ支辨シ得ルモノハ其仕樣目論見帳(第九百二十八號)調查シ違算其外不明ノ廉アル定額常費ノ部分及同類以上トイヘ在形ノ修繕ハ本省限リ指令ノ草案ヲ起スヘシ(工事ノ要否等ニ於テハ官舍明細表ニ但毎回會計局ハ勿論地理警視諸局ニ於テモ交渉セルモノハ皆合議スヘシ)

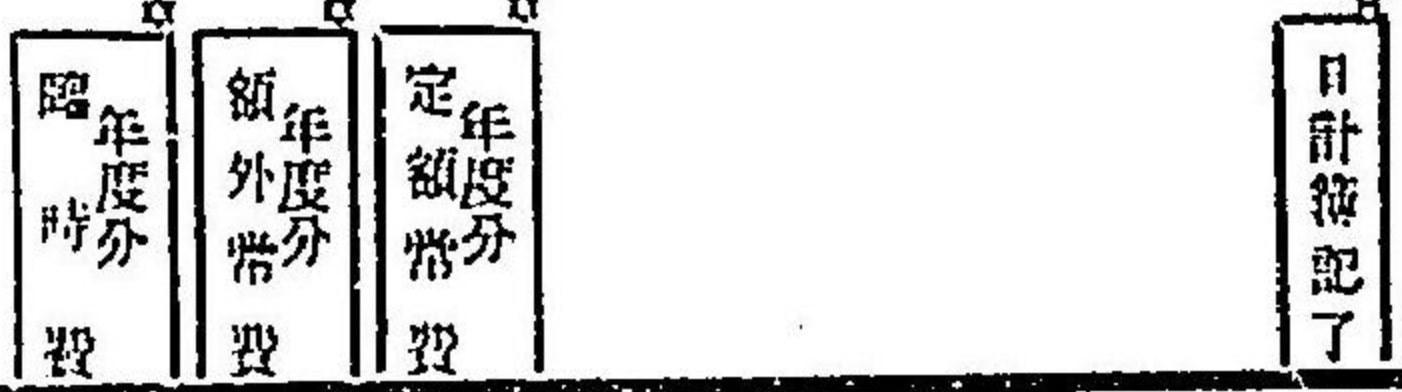
第五條 修繕ヲ除クノ額外常費以上ノ新營建繼續摸樣換ニ係ルモノハ太政官ヘ經伺ノ上指令ノ積取調フヘシ但一箇年五百圓以内ノ修繕ニ係ルモノハ毎三月請求ノ都度會計局ニ合議シ局長限交付ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 新營ニ係ルモノハ明治九年三月十五日日本省決判四諸官舍營繕費坪當リ標準ニ照シ建物ノ等級坪當ノ當否ヲ調查シ其縣廳新築ニ係ルモノハ明治十年四月二十四日決判廣島縣伺ノ節元濟總建坪比較表ニ基キ取調ヘ左ノ如ク回議案ニ前記シ政府經伺ノ分ハ伺書前記又ハ別紙ニ認メ差出スヘシ(舊材及修繕又ハ門扉等ノ如キ建坪ニ關セサルモノハ一定ノ準其記式概略左ノ如シ) 目論見高金何程ノ內何程削減殘金何程ノ內

一金何程 內譯(以下第九條マテ方格ヲ施) 何等建物何々建築費 標準以下金何程 此建坪何程一坪ニ付金何程 何等建物何々同上 但高金何程此建坪何程二階五割ヲ加ヘ合坪何程一坪ニ付何程ノ處坪當リ過當ニ付標準何等ニ據リ一坪何程ヲ以テ積替金員如此

一金何程 何等建物何々同上 標準以下金何程 敷地買上料并移 轉料共皆官費 府縣營繕費 合金何程 議案云々 調査已ニ了レハ目論見帳ハ取置キ圖面又ハ地所取調書等ノミ回議冊ニ添ヘ金額其他例ニ依テ元帳ノ右片ニ記載シ次回議冊ノ上欄外ニ記載シノ印ヲ捺シテ仕出スヘシ而シテ日計簿仕出高ノ部ニ於テ其金高ト府縣名ヲ書殘高ノ後ニ記載スヘシ

第七條 許可ノ後工事落成又ハ委任額內修繕ノ分等精算帳ヲ以金額請求ノ節ハ前日申出高即元帳ニ引合セ増減ノ有無ヲ認メ格外ノ増額等不都合無キニ於テハ元帳ノ左片ニ登記シ記載簿ノ印ヲ回議冊上欄外ニ捺シ會計局ニ合議シ局長限リ交付ノ手續ヲ爲スヘシ



第八條 回議濟ノ上金額交付傳票ノ手續ハ明治十年三月二十二日會計局ト協議ノ順序ニ依リ以テ局ヲ結フヘシ尤渡濟ノ上ハ前ニ會計局ニ達シタル通知書ニ(遞送濟)ノ印ヲ點シ返戻セシムルモノトス主任ニ於テハ其返戻ヲ待チ元帳ニ於テ(渡月)ノ印ヲ捺シ而シテ日計簿現渡高ノ部ニ記入スヘシ但步通リ内渡ヲ要スル時モ亦交付ノ順序ニ於テハ同斷タルヘシ

第九條 日計簿ニ記載シタル仕出高ノ廉々ヲ通計シ殘額ヲ記シ了レハ仕出ノ際元帳ニ記シ置キタル廉毎ニ一日計簿記了ノ印ヲ捺シ殘額内外トノ混淆ナカラシメンコトヲ要ス

第十條 官舎ノ拂下ヲ申請シ又ハ他局ヨリ合議アル時ハ官舎明細表ニ照シ其用不用ヲ勘査シ以テ可否ヲ決スヘシ就中倉庫ハ明治七年第二十八號本省達ノ意ヲ體シ九年八月二十八日大藏省ヘ協議濟ノ趣ニ基キ存置部分ノ倉庫ヲ拂下ル事由アル時ハ大藏省ノ協議ヲ要スヘシ

第十一條 官舎其他不用物品拂下其他諸上納金ノ申牒ヲ擔任スル時ハ夫々上納元帳ニ登記シ指命回議仕出ノ際第一類ノ通知書ヲ作り併テ局長ノ認印ヲ乞ヒ通知書ハ例ノ手續キテ大藏省ニ送付スヘシ

第十二條 官宅宿代ノ上納ヲ申立ル時ハ明治九年第五十三號及十年第三十七號公達ニ據リ調査スヘシ但外國人ノ官宅宿代ナルモノハ建築費元金ヲ十箇年ニ割元金償却ノ名義ヲ以テ住居中取立ルモノトス

第十三條 府縣所轄官舎ヲ以テ他省局又ハ人民ヘ貸渡シテ申請シ來ル時ハ官舎明細表ニ照シ他ノ用不用ヲ考ヘ約定ノ當否ヲ稽査シ或ハ地理局ニ合議シテ指揮ノ見込ヲ立ツヘシ許可回議濟ノ上ハ其府縣名及字建物ノ名稱坪數等之ヲ貸渡簿ニ登記シ他日貸渡料上納ノ節ニ照會シテ收受ノ手續ヲナスヘシ但明治十一年第三十號公達府縣官職ニ據ル時ハ本文ノ如キ

第十四條 公立ノ學校病院從前縣稅ヲ以テ設ヘ不用ノ官舎下與ノ申請アル時ハ六年十月九日大藏省ヨリ正院ヘ伺濟ノ成規ニ基キ而シテ官舎明細表ニ照シ他ニ必要無キモノハ無代下與ノ積局限ノ回議ヲ取調フヘシ但地所ヲ併セテ請求スル時ハ地理局ニテ擔當シ十一月十二日第七年第三百一十一號公達ノ制限ニ據リ處分ノ考案ヲ立本局ニ合議アルヘシ

七年第二十八號本省達ハ倉庫存置ノ件ナリ土地門部第ニ部ニ載ス

九年第五十三號及十年第三十七號公達ハ共ニ官舎貸渡規則ナリ土地門部第ニ部ニ載ス

府縣官制ハ地方官制ニ載ス
六年十月九日伺濟ハ不用官舎學校下與ノ件又七年第三百一十一號公達ハ學校敷地無代下與ノ件ナリ共ニ學政門部第ニ部ニ載ス

第十五條 各府縣所屬ノ官舎ヲ各省又ハ裁判所等ノ需用ニ依リ相當代價ヲ以テ讓渡ノ儀其府縣ト協議濟ノ末申請アル時其地所ニ關スルモノハ地理局ニ合議スヘシ但地所ノ請求ハ各廳ヨリ直ニ太政官ニ申立同官ヨリ當省ヘ御達アル時引渡方該府縣ヘ相達スルノ手續ヲナスヘシ

第十六條 前三條ニ係ルモノト雖旧舊獄舎又ハ廢寺院ノ如キ警視社寺兩局ニ於テ管理スルモノハ皆其諸局ノ主任トス但收入スル所ノ代價等ハ其計算ヲ明ニシ每一周年取纏メ本局ニ通知スルヲ以テ例トス故ニ其主局若シ遷延セントスルノ恐アルモノハ疾ク其主任ニ照會シ年報編製ノ差支ヲ生セシメサランコトヲ要スヘシ

第十七條 府縣營繕費ノ支出并官舎入額及不用品拂下金ノ收入等ハ日々各主任ニ於テ調置キ每月初旬ニ於テ前月分ノ出入ヲ表明シ以テ局長ノ檢閱ヲ經而シテ毎年七月ニ至リ前周年ノ總額ヲ合算シ以テ報告科ニ送付スヘシ(八年年度年報表式ニ依リ取調フヘシ)

第十八條 府縣營繕費豫算簿ハ毎年二月二日限本省ヨリ大藏省ニ回致スルノ成規タリ故ニ毎年十一月中府縣達案(警視社寺會計諸局ト合議シ前年達ノ規ヲ草シ)御輔ノ決ヲ取り達方ノ順序ヲナスヘシ格ニ比例シ一月十五日限進達スヘキ旨

第十九條 前條ニ依リ府縣ヨリ差出シタル豫算簿ニ就キ定額常費額外常費臨時費等ノ區分ヲ判明シ交涉諸局ト協議調査シ以テ本省ノ豫算簿ヲ一年ノ平均ヲ付シ(作リ)局長及主任捺印ノ上會計局ヲ經由シ毎年二月二日限大藏省ニ回送スルノ手續ヲナスヘシ

第二十條 以下賞典
府縣恩典科管理スル所ノ簿書左ノ如シ
褒賞傳票簿 恤救傳票簿 陸軍恩給名簿
海軍恩給名簿 文官平民賑恤名簿 水害風災表

第二十一條 篤行奇特孝子義僕ノ類通常ノ褒賞ハ明治八年第七百二十一號公達ニ照準シ府縣ニ於テ施行スルモノトス施行ノ後毎月末ヲ以テ束屆出ル節ハ恩典科之ヲ受ケ其當否ヲ調査シ成規ニ適セル者

ハ其事由金額及人員區別等詳カニ褒賞傳票簿ニ登錄シ而シ主任ノ檢印ヲ捺シ且其申牒欄外ニ金額ヲ記載シ局長ノ回覽ニ供シ同時第一類傳票通知書ヲ製シ局長ノ檢印ヲ取り之ヲ大藏省ニ送致スヘシ

第二十二條 前條褒賞ノ事項ニ付成規ニ照シ難キ歟又ハ疑義ヲ生セシ府縣ヨリ稟請若クハ照會ニ及フ時ハ類例ヲ搜索シ或ハ之ヲ參照ニ付シ指令及回答案ヲ草シ異例ノ件ヲ除外都テ局長限ノ決判ヲ要スヘシ若夫行狀絶倫ニシテ一般ノ成規ヲ以テ處シ難キ者ニ係ル時ハ審案稽査シ可成近例ニ比附シ相當ノ賞格ヲ立太政官へ上申ノ案ヲ草シ卿輔ノ決ヲ得テ之ヲ施行スヘシ

第二十三條 學校又ハ教育所ニ金物ヲ寄附シ及濟貧恤窮等ノ爲メ金穀物品ヲ差出ス者ノ中此他道路橋如キ其原質ニ由テ主管ヲ別ツテ勅奏任官及華族ハ賞蓋及褒詞共ニ判任官及有士族ハ一般人民ト同シハ八年九月本省議決ノ例ニ依ル勅奏任官及華族ハ賞蓋及褒詞共ニ判任官及有士族ハ一般人民ト同シ例ニ總テ褒賞ヲ受クヘキ人民本管ノ府縣ヨリ本省ニ伺フ經テ施行スルモノトス本局主任ハ賞蓋規則ニ照シ太政官へ上申及指令案ヲ草シ會計局へ合議スヘシ

第二十四條 前條人民ヨリ差出シタル金額四千圓未滿百圓以上ノ分ハ各府縣ニ於テ處分濟ノ上賞蓋下附ノ儀ヲ届出ルノ例規ナリ之ヲ受ル主任ハ賞蓋規則ニ照シ會計局へ合議ノ回議ヲ仕出シ尋テ同局ヨリ回送セル賞蓋ヲ受取り此賞蓋ヲ受取府縣ニ送還スルハ回各主任ノ擔當タルヘシトモ事務混雜任セシムル之カ副書ヲ作り通運會社ニ托シ該府縣へ送還スヘシ但其出金四千圓以上金蓋下ニ係ル者ハ先太政官ニ上申シ而シテ後賞蓋下附ノ旨其府縣應ニ指令長限ノ決判取計フヘシ

第二十五條 同上人民ヨリ出金十圓以上十圓未滿十圓未滿下附十圓本省乙第八十七號達ニ據リ府縣ニ於テ調製施行シ同年本省乙第二十五號達ニ基キ每月末之ヲ取束ネ届出ルモノトス又十圓未滿勅奏任官

十年本省乙第八十七號達ハ賞蓋規則ノ件官職門内務省二部ニ送ス

十年本省乙第百一十一號達ハ褒賞傳票簿ノ件官職門内務省二部ニ送ス

七年第百六十二號公達ハ救恤規則ノ件官職門内務省二部ニ送ス

八年第百二十二號公達ハ窮民一時救助規則ノ件官職門内務省二部ニ送ス

該家族褒詞ノ分ハ十年本省乙第百一十一號達ニ照シ前年七月ヨリ翌年六月マテ每一周年分取纏届出ルモノトス右申牒ノ都度會計局へ合議シ若シ申牒中他局ノ主管ト混同届出ル者ハ其局へ合局長ノ回覽ニ供シ而シテ其事由金額及人員等每件賞蓋名簿ニ登錄スヘシ

第二十六條 褒賞ハ總テ其原質ニ由テ主管ヲ別ツト雖モ年報書ハ本局ニ於テ合編スルモノトス故ニ毎年七月驛遞警視土木其他各局ヨリ褒賞ノ件名及員數ヲ計算シ本局ニ送致アルヘシ

第二十七條 以下救恤極貧ニシテ癡疾又ハ老衰者救助ノ例規外ニ係ル者明治七年本省乙第百六十二號公達ニ據リ府縣ヨリ同出ル節ハ同八年本省乙第八十五號達ニ照シ之ヲ調査シ以テ指令案ヲ草スヘシ其異例ヲ除外ハ都テ局長限ノ決判ニ屬スルモノトス但右第百六十二號規則ニ據ルニ及ハサル分ハ九年本省乙第四十

九號達ニ照シ府縣限施行ノ上毎三月之ヲ取束届出ルモノトス其屆書ハ各主任之ヲ受ケ大藏省乙第八號達ニ據リ額外常費ヲ以テ支拂追テ同省へ勘定任局長限ノ回覽ニ供シ而シテ其事由及金額人員等每件恤救傳票簿ニ登錄スヘシ

第二十八條 窮困無狀一般ノ成規ヲ以テ處分シカタク者アリ偶府縣ヨリ伺出ル時ハ審案ノ上類例アルモノハ之ヲ援引シ太政官へ上請ノ案ヲ草シ卿輔ノ決判ヲ得テ之ヲ施行スヘシ

第二十九條 窮民一時救助ハ明治八年七月第百二十二號公達ノ規則ニ據リ施行スルモノトス水火風震ノ難ニ逢ヒ家屋蕩燼流失シ目下凍餒ニ迫ル者ハ規則第一條ニ照シ十五日間ノ救助ニ止メ連市連村一時暴災ニ罹リシ者ハ規則第五條ノ通十日以内焚出米ヲ給與スル等渾テ府縣限施行ノ後毎三月取束届出ルノ成規ナリ其取扱方ハ都テ前條ニ準據スヘシ若シ事情不得止ノ場合ヨリ焚出十日以外ニ超過スルコトアル時ハ太政官へ其趣ヲ具狀スルモノトス

第三十條 各地方ニ於テ天災地變水害火災等ニ罹リ届出ル節ハ其事ノ輕重ヲ量リ卿輔及ヒ關係諸局ニ回覽シ或ハ太政官ニ上申スル等ノ手續ヲナスヘシ急速ヲ要スルモノハ局長ノ名ヲ以テ直ニ太政官書

九年第九十九號公達ハ兵制門官職與ノ部ニ載ス

海軍退隱令ハ兵制門官職與ノ部ニ載ス

壬申第十七號公布ハ衆議院議決ノ件ナリ民法門職制ノ部ニ載ス

記官ニ通牒スヘシ十一月九年九月同官ト照會但災害莫大ナル歟或ハ人爲ノ事變ニ係リ緊急處分ヲ要スヘキ事件起リ府縣ノ申報アル時ハ議案掛ト協議シ便宜取扱フヘシ

第三十一條 以下陸軍恩給扶助

陸軍々人軍屬ノ寡婦孤兒扶助料支給方ノ儀地方官ヨリ伺出ル節ハ明治九年十月第九十九號公達陸軍武官恩給令ニ準據シ調査ノ上內務卿ノ名ヲ以テ陸軍省ヘ送付ノ文案ヲ草シ局長限ノ決同省ヘ送付スヘシ同省ニ於テハ之ヲ查覆シ太政官ヘ上請スヘシ追テ同官ヨリ本省ヘノ達ヲ待チ該府縣ヘ達及大藏省ヘ通知ノ案ヲ草シ又局長ノ決判ヲ取り太政官下付恩給登錄寫帖番號ヲ添ヘ縣同時達方ノ順序ヲ爲シ而シテ其寡婦ノ姓名族屬鄉貫及恩給登錄寫帖ノ記號并ニ金額等陸軍恩給名簿ニ登錄スヘシ若シ地方官ノ申牒中不規則ノ處アラハ局長ノ名ヲ以テ廉々地方官ニ照會シ又其書中疑フヘキモノアリ斷決シ難キ者アル時ハ卿名又ハ局長名ヲ以テ陸軍卿及ヒ官房佐官ヘ照會スルコトアルヘシ

第三十二條 以下海軍退隱料

海軍々人軍屬ノ退隱料及一時賑恤并ニ寡婦孤兒ノ扶助料等ハ明治八年九月第四十八號公達海軍退隱令ニ據リ同省ヨリ政府ニ請求スルモノトス同省上請ノ上ハ太政官ヨリ本省ヘ達且同省ヨリモ通知アルヘキニ付本省ヨリハ該府縣ヘ達及大藏省ヘ通知ノ順序ヲ爲局長限而シテ海軍恩給名簿ニ登錄スヘシ

第三十三條 以下雜務

勅奏判官吏奉職中又ハ平民戰事ニ遭遇シ其他非命ニ斃レタルモノ等府縣ヨリ賑恤申請アル時ハ明治十年四月決議內規ニ依リ支給方ノ考案ヲ立局議ノ後內藏卿輔ノ決ヲ取り而シテ大臣ノ制可ヲ得テ指令スルノ手續ヲナシ而シテ文官平民賑恤名簿ニ登錄スヘシ

第三十四條

人民ヨリ諸獻納ノ請願ニ依リ府縣ヨリ伺出ル時ハ壬申第十七號公布ニ基キ許可スヘカラサルモノトシテ取調フヘシ但警視局ノ警察署ニ於ル社寺局ノ官國幣社ニ於ル等其地所建物又ハ橋梁等ヲ私費建設セント請フカ如キ已ニ例規ヲ成シタルモノハ主務局ノ合議ニ應スルコトアルヘシ

第三十五條

前條々ニ依リ取扱タル事務ニ就キ金穀收支其他年報編入ヲ要スルモノハ日々各主任ニ於テ調置キ毎月初旬其前月分ノ收支ヲ表明シ以テ八年度年報局長ノ檢閱ヲ經而シテ毎年七月ニ至リ前周年ノ總額ヲ合計シ以テ報告科ニ送付スヘシ

以上府縣恩典科ノ主務トス

右議案常務ノ兩掛ニ別チ各事務ヲ分任スト雖正事稍深重ナル歟若クハ相關係スル件ナル時ハ交互審議ヲ盡シ施行ノ際稽違ナカラシムコトヲ要ス

第三款 編輯掛

第一條 編輯掛管理スル所ノ簿書左ノ如シ

庶務類纂 庶務編年 經年 索引 編年 索引

官院省使局府縣布告布達日誌報告類

庶務日記 庶務局職員錄 省中回達 例規日載 合議摘要 圖書目錄 書目詳

第二條 本掛主管ノ事務ヲ分チ四科トス其科目左ノ如シ

編纂科 報告科 領收科 寫字科

第三條 以下編纂

議案常務兩掛各主任ノ回議已ニ結局シ圖書局ノ謄寫ニ係リ又ハ副書ヲ以テ回送セルモノ及局限完了ノ書類等ヲ回付シ來ル時ハ必ス先領收科ニ收受スヘシ

第四條 領收科ハ其決判及指令濟且圖書局長檢閱ノ印等ヲ點查シ次テ其件各年月日及主任姓名等ヲ(回議領收簿)ニ登記シ而シテ後(官院省使局府縣)ノ假部門ニ綴入シ以テ編纂科ニ付スヘシ凡ソ無印及或ハ別紙云々トアリテ其實ナキモノ等皆其主任ニ就テ正スヘシ

第五條 編纂科ハ逐次之ヲ校讀シ其誤脱ヲ正シ須ラク其主旨ヲ摘錄シ假ニ目次ヲ付シ(地方稅)府縣會其他類纂ノ部門ヲ分チ以テ編入スヘシ其部門左ノ如シ

- 地方稅 府縣會
- 公賣處分 從前民費諸費
- 府縣賦金 府縣間疑代人及總代 府縣規則ノ類

額外常費増費 臨時費 俸給
 騷擾事件 諸拜借 諸會社
 官省雜科 建白及直願 外國事件
 府縣營繕 官宅宿代 官舍拂下
 不用品拂下 賞典 恤救
 陸海軍恩給 獻納 天災
 依例諸屆 從前府縣稅及民費表 府縣雜科

第六條 編纂科ハ其類纂ノ目次ヲ執リ更ニ經緯ニ編ノ(索引)ヲ追録スヘシ一ハ以テ決行ノ年月ヲ追次シ經緯一ハ以テ官院省使府縣ヲ區分ス編年ノ體ニ倣フヘシ

第七條 寫字科ハ常ニ簿書ノ目次記録ノ補闕其他ノ繕寫ニ從事スヘシ

第八條 本局回議簿册整頓ノ期ヲ分テ四期トシ一月四月七月十月每三月其前三月中ニ於テ完了セシ簿書ヲ收束シ製本ニ付スヘシ

第九條 官院省使府縣ノ布告布達日誌報告ノ諸書ハ本掛ニ領置スヘシ

第十條 前條ノ諸書ヲ領收シ及之ヲ部分シ隨テ目次ヲ記入シ一ハ局長ニ進呈シ一ハ局中ニ整備シ其他各主務ニ配付回達スル等皆領收科ノ任タルヘシ

第十一條 編纂科ハ常ニ領置シタル諸布令印刷類ヲ點檢シ若シ遺漏アレハ之ヲ往復課等ニ索メ或ハ各科ノ餘暇ニ於テ之ヲ補修シ又ハ布告布達ノ改正及追加廢棄等ノ布達アル時ハ必ス先布達ノ原書ニ溯リ逐條掛紙ヲ以テ増補改正シ而シテ目次中其補正ノ年月番號ヲ注シ以テ搜索ニ便ナラシムヘシ

第十二條 以下錄事
 報告科ハ每週年本局年報書年報掛委員編製ノ事ニ任スヘシ但編製ニ供スル諸原書ハ本局各主務及警書ヲ整ヘ毎周年末之ヲ取纏メ
 報告科ニ回付スルモノトス

第十三條 報告科ハ明治十年第七十七號及十一年七番外本省達ニ依リ進達セル府縣稅收入表及民費賦

十年第七十七號十一年七番外本省達ハ府縣收入明細表等並形ノ件租稅門地方稅ノ部ニ載ス

課表ヲ受ケ一旦回覽ヲ經而シテ後之ヲ整頓シ以テ年報書ニ編入スヘシ

第十四條 報告科ハ太政官ニ於テ政表會議開設ニ方リ員ト叶議時々議會ニ臨ミ其政表課ノ照會ヲ承クル時ハ該報告書ノ編製ニ從事スヘシ

第十五條 報告科ハ本局日記及職員錄ヲ擔當シ局務ノ沿革諸掛ノ廢置局中官員ノ進退及褒貶委任ノ任免派出官員ノ往復其他局中一切ノ事件他日ノ考證トナスヘキモノハ其要領ヲ摘録シ各其年月日ヲ詳ニシ以テ平日ノ參考ニ具ヘ兼テ年報編成ノ用ニ供ス可シ職員錄ハ各官任免昇降ヲ詳カニシ其年月

第十六條 領收科ハ省中及本局ノ諸達ヲ受ケ而シテ其一時ノ通知報道ニ止マルモノハ之ヲ(省中廻達)ニ登記シ其苟クモ規程例則ニ係リ處務上ノ標準トナルヘキモノハ之ヲ(例規日載)ニ騰録シ速ニ各掛ニ回達スヘシ回覽簿ノ上各員ノ認印ヲ點查

第十七條 寫字科ハ年報書ノ繕寫及表記計算ニ從事シ又ハ各主任ノ需メニ應シ他省他局ノ合議書ヲ騰寫シ(合議摘要)ニ綴入スヘシ

第四款 受付掛

第一條 受付掛管理スル所ノ簿書左ノ如シ
 官院省 受付件名簿 大藏省并ニ受付件名簿 文書照顧錄
 使察局 受付件名簿 本省諸局 宿直人名承印簿 勤休錄
 往復證簿 宿直日記 庶務局員宿所附 宿直人名承印簿

第二條 官院省使察局ノ諸達照會及府縣ノ申牒等本局主管ニ係ル一切ノ文書ヲ受付スヘシ

第三條 前條ノ諸文書ヲ受ル時ハ豫メ整置セル各種受付件名簿ニ於テ其件名并ニ往復課及本局ノ番號進達年月日等ヲ記載シ而シテ其件名ニ依テ管違ト認ムルモノハ往復課ニ返戻スヘシ若シ其主務ヲ鑒定シ而シテ後配付月日ヲ件名簿ノ欄外ニ傍記シ各主任ヘ配付シテ其認印ヲ要ムヘシ凡ツ文書ヲ付シテ證符ヲ要ムルハ受ケテ我ノ認印又ハ若局長充ニシテ直披親展等ノ傍記アルモノニ限り封筒上ニ番號ヲ記シ之ヲ往復證簿ニ記載シ直ニ局長ニ呈シ其認印ヲ受クヘシ

第四條 配付ノ後各主任ニ於テハ七日以内ニ之ヲ仕出シ局長ノ決ヲ乞フモノトス局長ハ檢印濟ミ之ヲ

受付掛へ下付スヘシ 若各主任ノ内所勞其他ノ事故アリ不參中其受持ノ官省府縣等ヨリ至急ヲ要スル直ニ之ヲ受繼キノ 申請照會等出ル時ハ其事由ヲ局長ニ告ケ更ニ任者ヲ求メ本主任ノ出務ヲ待タズ 局員ニ交付スヘシ

第五條 受付掛ハ各其回議册前面ヲ點視シ 卿輔ノ裁決ヲ得ヘキモノト他省他局ニ合議ヲ要スルモノト 局長限ノ決判ニ止マルモノトヲ監別シ 件名簿ニ上達又ハ回付ノ月日ヲ記シ 該受付ニ送致スヘシ

第六條 上局及諸局決判濟ノ諸回議ヲ回致シ來ル時ハ其決判ノ印及卿輔局長ノ檢印ヲ認 若脱漏アラハ 件名簿ニ記載シテ各主任ニ返付スヘシ

第七條 各主任於テ更ニ太政官上請又ハ他ノ省局府縣ニ照會又ハ指令ヲ朱記シタル本紙等ヲ該回議册ニ副ヘ以テ達方ヲ乞ヒ來ル時ハ速ニ往復課又ハ其省局ニ直達スヘシ

第八條 前條ニ依リ諸省局ニ發送シタル後該回議原書ニ於テ達濟主任ノ印アルモノハ再ヒ往復課ヨリ 返戻シ來ルヘシ 其印ナキモノハ直ニ圖書局ニ回シ圖書局ニ於テ之ヲ寫シ來ルモノハ直ニ各主任ニ付スヘシ 其原議ヲ留メ共寫ヲ以テ編輯掛ニ送致スルモノトス 其戻シ來ルモノハ直ニ各主任ニ付スヘシ

第九條 凡ソ府縣其他ヨリ再申又ハ回答ニ係ルモノ、如キハ件名簿上前號ニ記入シ 猶前主任ニ付屬スヘシ

第十條 毎月二日十七日兩度各種件名簿ニ就キ先ツ已了未了ヲ區別シ其未了ニ係ルモノ、内始テ配付シ又ハ上達回送シテ後十五日ヲ經過シ再ヒ受付掛ニ回リ來ラサルモノアル時ハ件名番號月日等ヲ照願錄ニ登記シ一應各主任ニ就キ 内局其他々局ニ於テ延滞ス 其稽緩ノ事由ヲ付箋セシメ以テ局長ニ申告スヘシ

第十一條 毎月初旬各主任ヨリ前月中ノ回議文書件數表ヲ回致シ來ラハ件名簿ト照合シ 不照合ノ所ア檢印ノ上局長ノ閱覽ヲ經毎年七月ニ於テ取纏 年報編製ノ報告料ニ回付スヘシ

第十二條 受付掛ハ宿直通知ノコヲ擔當シ常ニ其順番ヲ明カニシ豫メ順次表ニ於テ各員ノ認印ヲ取り 當直前三日ニ至リ再ヒ宿直順次承印簿ヲ廻シ毎日當直各自ノ名印ヲ要シ當日遺却ノ慮ナカラシムルコトニ注意スヘシ

第十三條 受付掛ハ局員出勤簿ヲ擔當シ毎月上旬ニ於テ前月分ノ勤休及所勞出張等ノ日數ヲ取調之ヲ 勤休錄ニ登記シ月々局長ニ呈スヘシ 但シ年末ニ於テハ之カ合計表ヲ作り局長ノ閱覽ヲ經テ編輯掛ニ送付スヘシ

第五款 淨書掛

第一條 太政官へ上陳書諸省局へ往復書府縣へ指令照會其他局中文書一切ノ淨書及謄寫ニ從事スヘシ 第二條 前條ニ依リ各主任ヨリ執筆ノ囑ヲ受ル時ハ先ツ其緩急ヲ問ヒ且其文面ノ長短ヲ識別シ即日主任ニ致スコトヲ得ルモノハ格別若其翌日又ハ數日ニ至ルヘシト考量スル時ハ其主任月報上ニ於テ認印ヲ與ヘ回議原書ヲ領置シ而シテ返付ノ際之カ消印ヲ要ムヘシ

第三條 凡ソ文書ハ必ス楷寫スヘシ 指令書ハ申牒ノ 但シ急ヲ要スル歟若クハ副紙別册ノ類或ハ行體ヲ用フルヲ得ルト雖モ決テ狂草略字等ヲ用フルコトナカレ

第四條 凡ソ淨書謄寫ヲ了スル毎ニ讀合校正ヲ怠ルコト勿レ

内務省庶務局ヨリ同省内局へ申牒十三年九月三十日 別册當局處務順序謄寫濟ニ付御廻シ及候尤本册ハ昨年中ノ假定ニシテ追々修正加除スヘキ有之今日 現行ノモノニハ無之候間其積ヲ以太政官へ御差出有之度此段申添候也

内局書記官ヨリ各局長へ達十四年二月一日 各局御主管事務ノ内地方稅ニ關係アル事件ハ細大ヲ不問總テ庶務局へ合議相成候様御取計可有之此段 及御通達候也

内務省ヨリ庶務局へ達十四年二月九日 賞典恤救陸軍恩給并海軍退隱料及扶助料ニ係ル書類悉皆戶籍局へ引繼可申事

陸海軍恩給扶助退隱料ニ係ル書類ヲ戶籍局ニ送ス

各局主管地方稅關係事務大庶務局ニ合議セシム

官職及救助慈善ニ係ル事務ヲ戸籍局ニ屬ス

逕勸懲所會救助貸下事務ヲ管ス

庶務局主管條件

十八年六月二十五日庶務局ト改稱シ庶務條例ヲ定ム

内務省ヨリ庶務局へ達 十四年二月九日
其局賞典及救助慈善ニ係ル事務自今戸籍局所管ト相定候條同局へ可引渡此旨相達候事

内務省ヨリ庶務局へ達 十五年四月二十五日
救助貸下ノ事務庶務局主管ト被定候ニ付右ニ關スル書類農商務省ヨリ可受取事

内務省庶務局ヨリ内局へ照會 十六年五月七日

過日及御送付候當局事務條項取調書別紙ノ通り更正致候ニ付最前ノ分ト御引替相成度此段及御照會候也

庶務局主管條件

一 府縣廳費及判任俸給ノ事

一 府縣會地方稅規則ノ事

一 備荒儲蓄法ノ事

一 區町村會法ノ事

一 區町村協議費ノ事

一 府縣廳舍營繕ノ事

一 請願規則ノ事

一 徵發令ノ事

一 戒嚴令ノ事

右ノ外各局課ノ主務ニ非ル事件ヲ處分スル事
内務省處務條例節錄 十八年六月二十五日(全文ハ内務省一ニ載ス)

十八年六月二十五日庶務局ヲ附シ縣治局ヲ置ク
十九年一月十六日處務條例ヲ改ム

縣治局

長 一人

次長 一人

第一部

長 一人

課僚 若干員

一 府縣ノ分合府縣廳ノ位置郡區役所戸長役場ノ廢設并位置ノ事

一 地方行政區畫ヲ定メ并其名稱ヲ變更スル事

一 府縣會町村會水利土功會等地方ノ會議ニ關スル事

一 地方行政事務ニシテ他ノ主管ニ屬セサル事件ヲ取扱フ事

第二部

長 一人

課僚 若干員

一 府縣并郡區町村ノ經濟ニ關スル事

一 地方稅町村費并賦金ノ賦課徵收ニ關スル事

一 備荒儲蓄ノ事

一 徵發事務ニ關スル事

一 地方廳舍建築修繕ノ事

内務省處務條例節錄 十九年一月十六日(全文ハ内務省一ニ載ス)

縣治局

長 一人

次長 一人

府縣課

長一人 課僚若干員

一 府縣會ニ關スル事

一 地方税賦課徴収及支出ニ關スル事

一 地方税經濟ニ屬スル財産ノ事

一 府縣ノ分合并府縣廳位置ノ事

一 地方行政事務ニシテ他ノ主管ニ屬セサル事件ヲ取扱フ事

郡村課

長一人 課僚若干員

一 區町村會水利土功會等ニ關スル事

一 郡區役所戸長役場ノ廢設并位置ノ事

一 郡區町村ノ分合并名稱ノ事

一 區町村費賦課徴収及支出ニ關スル事

一 區町村共有物ノ事

一 徵發事務ニ關スル事

地方費課

長一人 課僚若干員

一 府縣官郡區長俸給ノ事

一 府縣廳費ノ支辨ニ關スル事

一 府縣廳舎建築修繕ノ事

一 備荒儲蓄ノ事

一 賦金ノ賦課徴収ニ關スル事

勅令節錄 十九年二月二十六日(全文官制中ニ見ス)

第九條 縣治局ニ府縣課郡區課及地方費課ヲ置キ其事務ヲ分掌セシム

第十條 府縣課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 府縣會ニ關スル事項

二 地方税賦課徴収及支出ニ關スル事項

三 地方税經濟ニ屬スル財産ニ關スル事項

四 賑恤救濟ニ關スル事項

五 地方行政事務ニシテ他ノ主管ニ屬セサル事項

第十一條 郡區課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 區町村會水利土功會ニ關スル事項

二 區町村費賦課徴収及支出ニ關スル事項

三 區町村共有物ニ關スル事項

四 徵發ニ關スル事項

五 行旅病人及行倒人ニ關スル事項

第十二條 地方費課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 府縣官郡區長俸給ニ關スル事項

二 府縣廳費ノ支辨ニ關スル事項

三 府縣廳舎建築修繕ニ關スル事項

四 備荒儲蓄ニ關スル事項

五 賦金ノ賦課徴収ニ關スル事項

主計課事務ノ始
七年十一月十五日主計課
ヲ第四局ト爲ス本省分課
事務ノ部ニ置ス

内務省ヨリ各寮司課へ達 七年一月二十七日
本省中主計課ヲ置候條此旨爲心得相違候事
庶務課ヨリ内務省へ同七年一月十九日
本省各寮司ニ於テ拜借返納等ヲ始金穀出納ニ關スル事件不尠且省中一切之經費ニ至迄計算検査ノ規則
不相立候テハ到底計算上多少ノ不都合ヲ可生ト被存候條本省中主計之一課ヲ被置計算検査ノ事務一切
擔當整理致シ候方可然ト被存候右決定之上ハ同課事務章程等更ニ取調可相候條也
庶務課ヨリ内務省へ同七年一月二十三日
主計課被置候ニ付各寮司課へ御達案左ニ相伺申候尤職制事務章程ハ主計課長御銓選ノ上御渡相成可然
ト存候也

主計課事務ヲ始
七年十一月十五日主計課
ヲ第四局ト爲ス本省分課
事務ノ部ニ置ス

内務省ヨリ各寮司課へ達 七年二月十日
今般主計課ヲ被置候ニ付來ル十二日ヨリ事務取扱候條金穀ニ關涉スル案件ハ一切同課へ協議可致候此
段相違候也

用度課府縣出張所管轄
事務ヲ管ス

内務省ヨリ用度課へ達 七年二月十三日

常盤橋内府縣出張所營繕事務今後其課於テ可取扱此段相違候事

用度課府縣出張所管轄
事務ヲ管ス

内務省ヨリ用度課へ達 七年二月十七日

府縣出張所之儀是迄大藏省所轄之處以來於當省所轄候ニ付同省打合之上地券書替其他區入費營繕等之
出費當一月分ヨリ一切其課ニ於テ取扱可申此段相違候也

主計課處務假規程
七年十一月十五日主計課
ヲ第四局ト爲ス本省分課
事務ノ部ニ置ス

主計課處務假規程 七年二月二十四日

當課ハ本省及ヒ各寮司等ノ金穀出納ノ事ヲ總括シ檢案登記查計受與ノ四科ヲ分チテ之レヲ辦理ス其處
分左ノ如シ

檢査科

省中定額ノ金穀出納ニ關スル事務實際ノ施爲ヲ審案シ處分ノ當否ヲ検査シ或ハ歳費及ヒ臨時支發ノ
費用等ヲ考究決算スル事ヲ掌ル

第一

省中ノ常額金或ハ臨時費用ヲ需用スル如キハ長官ノ指令ニ隨テ議案ヲ具シ省議既濟ノ後之レヲ上進
シ制可ノ命アレハ其金穀ハ傳票ヲ以テ大藏省ニ通達シ用度課ヲシテ領收セシム

第二

歳費ノ定額ハ每歳一月ヨリ十二月迄省中各寮司課ヨリ調出セシメ以テ精査總結シテ本省歳費ノ額ト
ナシ前年十一月十日ヲ限リ課長ニ致シ卿輔ノ決判ヲ經テ後之ヲ上進ス

第三

歳額ヲ分チ月費ノ額ヲ定ムルニハ毎月各寮司課ニテ事務ノ緩急ヲ計リ支發ノ多寡ヲ調出スル處ヲ檢
査合計シ以テ本省月費ノ額トナシ各月五日ヲ限リ課長ニ致シ卿輔ノ決判ヲ經テ後傳票ヲ以テ大藏省
ニ通達ス

第四

省中費用ノ金銀ヲ大藏省ヨリ領收シ用度ニテ銀行ニ寄スルハ同課金銀預帳ニ記載シ本課及ヒ用度
課長檢印スルヲ則トス

第五

凡各寮司課府縣等ヨリ回議既濟ノ金穀ヲ領收セント乞フハ其旨ヲ式ノ如ク具狀シ原議書ニ副テ本
課へ出サシメ卿輔ノ檢印及ヒ區別帳ニ照合檢印シテ登記科ニ附ス

第六

省中ノ歳費ハ總テ本資ト消費ト區別決算シ月計ハ翌月五日限リ歳計ハ翌年一月中ニ總括合計セシメ
課長ニ致シ卿輔ノ決判ヲ得以テ大藏省ニ進達ス

第七 金銀ノ出納其定則アルモノト雖トモ課長以上ノ可印ナクシテ專恣之レヲ處分スルヲ得ス

第八 官員月給旅費其外總テ成規アルモノハ其時々各寮司課ヨリ其長官檢印ノ上調書ヲ出サシメ本科及ヒ查計科調査ノ後課長ノ檢印ヲ受ケ登記科ニ附ス
登記科

省中定額金銀出納ノ順序ヲ設ケ諸帳簿ヲ造リ日々ノ入出遺漏混淆無之様點檢考査ノ上悉ク登記シ日月歳費ヲ一目明瞭ニスル等ノ事ヲ掌トル

第一 各寮司課等ニテ支發スル處ノ金銀ハ卿輔ノ判決ノ回議ニ照準シ日計簿ニ登記シ收ムルモノハ前日ノ殘金ニ加ヘテ惣數トナシ發スルモノハ其數ヲ減シテ本日現在ノ數ヲ詳記ス

第二 日計簿并區別帳ニ登記セシ處ノ支發ノ金銀及ヒ殘金等毎月合算シ查計科ニ附シテ後課長ノ檢印ヲ受ク

第三 凡日計簿ニ掲クル入拂ノ内決算ニ至ラサルモノハ本入拂ト錯雜ナラサル爲メ詳悉部分シテ區別帳ニ朱書シ返納ノ分ハ返此印ヲ捺シテ之ヲ分ツ

第四 各寮司課等ニテ回議既濟ノ金銀ヲ領收セント乞フトキハ檢案科查印ノ上傳票簿ニ記載割印シ以テ其主任ヘ交付ス

第五 各寮司課ニテ金穀ヲ收納或ハ返納セントスルトキハ式ノ如ク具狀シ檢案科ニ出サシメ同科查印ノ上

收納簿ニ部類ヲ分チ其次第ヲ詳記割印シ以テ其主任ニ交付ス

第六

各寮司課回議ノ内卿輔等指令ノ文書有テ後考ニ供フヘキモノハ其全文ヲ登記シテ課中ニ留ム

精算科

省中於テ支發スル金穀一切ノ出納計簿入拂ノ多寡品價工料ノ當否等迄精細查計シ成規アルモノハ能其規則ニ照合シテ追算査定シ註誤ナキヲ要ス

第一

諸寮司課府縣等ヨリ調出スル金穀納拂ニ關スル回議ハ悉皆查算シ若シ誤謬アルハ其主任ニ推問シテ改修セシメ精算訖テ表紙ノ右端ニ查計濟此印ヲ捺シテ登記科ニ附ス

第二

諸寮司課ヨリ進達スル會計簿表ハ悉ク檢査精算シ若シ適當セサル事アルハ其譯ヲ附紙ニ詳記シテ主任ニ返シ改正セシメ式ノ如ク表紙ノ右端ニ捺印シテ檢案科ニ附ス

第三

築造修繕其他別途ニ額費ヲ立ルモノハ初發ノ回議ニ照準シテ之ヲ查算ス

第四

省中官員ノ名簿ヲ置常ニ轉免新任等ヲ改正シ月給又ハ旅費等ヲ支給計査ノ參考ニ供ス

第五

官員轉免月給ノ増減賜金ノ規則及ヒ旅費定則其外成規アルモノハ遺漏ナク集録シ以テ回議ニ照合シテ查計ヲ詳ニス
受與科

第一

諸寮司課其外ヨリ發スル處ノ文書等ヲ一切收受シ或ハ交付シ布達回達日誌考課狀等ノ事ヲ掌ル

回議其他ノ書類ヲ交付スルハ書銘番號月日等受證簿ニ記載シ受付課ニ達シテ證印ヲ受ク

第二

諸文書ヲ返達或ハ各課ニ附與スルハ課長ノ檢印ヲ受ケ銘稱等授證簿ニ詳記シテ必ス證印ヲ請ク

第三

本課ノ建白回議等課長以上決判セシモノハ即日書寫シテ本課ニ留メ原書ハ悉ク記録課ニ附ス

第四

布令回達等ハ書寫シテ本課ニ留メ受證簿ニ銘號ヲ記載シテ適當ノ課へ順達シ證印ヲ請ク

第五

各月十日ヲ限リ考課狀編收シ課長ニ致シ檢印ヲ請ケ受付科ニ附ス
以上大録以下事務ノ制限トス然レモ事務繁劇ノ際課中互ニ協助スヘシ

主計課ヨリ内務省へ伺 七年二月十八日
當課創業ノ際諸般繁雜不都合ノ虞モ有之候ニ付差向別紙ノ通假規定相立處分致度尤實際施行ノ上可否
精細取調猶相伺候據可仕候依之別冊相副此段相伺候也

庶務課ヨリ内務省へ伺 七年九月三日

本省詰番巡查ノ儀ハ警視長申立ノ趣有之來ル五日限御引上ノ義相伺置候就テハ爾後本省御構内取締ノ
儀ハ仕丁門番ニテ擔當致シ夜中巡邏爲致候方可然哉尤見員ニテハ引足兼候ニ付等外四人増員相成候據
仕度右御決判ノ上ハ人撰ノ義ハ用度課ニテ取調可申上候此段相伺候也 七年九月四日決判

取締掛事務 八年十月日開

第一部

一 諸物品渡納調査

用度課省中取締掛ヲ管
ス
八年十月日開取締掛事務
ヲ部分ス

取締掛事務ヲ部分ス
九年五月十二日用度課處
務順序中取締方條件ヲ定

第二部

- 一 修繕
- 一 御拂物
- 一 區入費
- 一 修繕目論見
- 一 修繕諸費日計

第三部

- 一 給仕小使進退取扱
- 一 正院印鑑
- 一 本省印鑑
- 一 等外出仕以下給仕小使職務向監督スル事
- 一 湯呑所用槇炭油其外物品請渡小使給料仕出ノ類
- 一 非常用具取締

第四部

- 一 通夜視察方
- 外ニ兼非常用具取扱小使職務向取締

右之通
一 第二部第三部ヨリ一人ツ、辰ノ口分省へ日々出仕ノ事
一 辰ノ口分省ハ玄關詰御門詰ノ者夜中ハ非常用具取扱小使職務取締等可相心得事

第四局議案 八年十月二十七日
今般取締掛被設置候ニ付テハ其職掌ニ於ケル御玄關詰御門詰之等外出仕給仕小使ニ至ル迄之職務ヲ監

督シ營繕事務并物品諸渡納ノ調査其他總テ内外ノ取締ヲ體認シ名實悖戾ナク各共處ヲ竭スヲ要旨トナ
ス仍而其方法順序ノ義ハ追々可相伺候得共目下差懸リ左ニ書載ノ事務概略區分ヲ以取扱候様可仕存候
此段至急相伺申候

第五局處務順序

九年一月四日第四第五兩
局ヲ併シ用度ヲ整理ス

內務省第五局處務順序 八年十月十四日

本局ハ本省及各寮局ノ經費府縣營繕費土木費警察費等ノ金穀出納ヲ考究シ大小細科ニ當否ヲ検査シ勘
查仕上ヲ總括ス因テ第一部二部ヲ置キ及編算掛傳票掛書記豫算調查掛等ヲ置キ之ヲ辦理セシム其所務
ノ順序左ノ如シ

- 第一部 警保寮 戶籍寮 地理寮
- 第二部 勸業寮 驛遞寮 土木寮
- 第三部 衛生局
- 第四局 第五局

第一條 凡省中一切ノ經費ハ太政官達ノ制限ニ照準シ定額常費額外常費臨時費ト區別シ月々ノ定額金
ヲ傳票掛ニ付シ第四局ニ送付ス

第二條 各寮局一切ノ經費其他諸收入稅之如キ省議ヲ乞フモハ其金員當否及各科目ヲ考究シ各目廉
分帳記ニ照シ定額金ヲ超加不超加ヲ検査シテ尙成規定例アルモノハ之ニ照據シ考證ニ備フヘキモノ
ハ要再回ノ印ヲ押シ御輔決判ノ後成規簿ニ登記シテ本議ハ主務ノ寮局ヘ返付ス

第三條 各寮局官員月給及諸雇給旅費等ノ如キ成規定例アルモノハ其寮局頭長及本局長檢印ノ後主務
ノ寮局ヘ返付ス

第四條 各寮局官員及諸雇ノ者登用轉免派出歸省養痾等照合ノ爲メ官員進退簿ヲ造リ是ヲ日々職務課
ヘ送リ於同課其人名及其事由ヲ記載セシメ月給旅費増減等ノ廉々規則ニ準シ之ヲ月給旅費検査簿ニ
登寫檢印シ他日ノ考證ニ備フ

第五條 省中一切ノ定額經費金穀ハ日計要領及第四局出納掛リノ日計簿ニ照シ之ヲ合計シテ他日編纂
ノ憑據ニ備フ

編纂掛

第一條 省中一切ノ經費金穀受拂勘定帳ハ布達ノ雜形ニ倣ヒ前月ノ分翌月八日限其寮局管理スル所ノ
經費勘定帳ヲ調出ノ上調査精算シ誤謬アルモノハ其主任ニ付シテ之ヲ改正シ後總括勘定帳ニ通り内
譯明細表一通リ編製シ第二局往復掛ヲ經テ御輔ニ呈シ御ノ調印ヲ請フテ扣ノ分ハ本局ニ留メ元書ノ
分ハ第二局ヘ送付シ清本ハ其月二十日限リ大藏省ニ送致ス

第二條 省中月費總括勘定帳大藏省検査既済ニ至レハ最前出ス所ノ請取證書ト大藏御決算濟ノ證書ト
ヲ交換ス若シ殘金アルトキハ更ニ第二號ノ證書ヲ大藏省ヘ送致ス然ル後毎月十五日限月計表ヲ製シ
年表ハ勘定濟二十日ヲ限リ調製シ何レモ御輔ノ檢閱ニ供ス

傳票掛

第一條 凡省中ノ金穀受納ハ制限ニ從ヒ傳票ヲ作り番號ヲ立テ定額金高ヲ傳票録ニ登記シ局長檢印并
割印ノ上第二局ヲ經テ御ノ證印ヲ請ヒ大藏省ヘ送達シ尤受領ノ分大藏省出納寮ヨリ通知次第第一號
ノ證書ヲ作り第四局ヘ送付ス收納金穀ハ常用準備ヲ區分シ前顯ノ如ク發票手續ヲナシ逐次大藏省出
納國債兩寮ヨリ通知次第收納傳票第四局ヘ送付ス

第二條 通例傳票ハ其月ノ定日 大ノ月ハ二十五日 二月ハ二十三日ヲ限リ日々定規ノ刻限ニヨリテ第
四局ヘ發票シ以テ之ヲ各寮局ニ報知ス尤モ非常至急ノ件ハ此限ニアラス

第三條 省中一切ノ定額常費金各寮局ニ支給スル金穀ハ一箇年ノ定額ヲ十二分ニ割一箇月分ノ金額ヲ
前月末ニ寮局頭長押印ノ證書ヲ出サシメ其金額ヲ傳票録ニ登記シ割印シテ四局ニ發票ス

書記掛

第一條 凡各寮局ヨリ合評ノ回議面ヲ受付シ件銘簿ニ其件銘及番號主任ノ姓名等詳記シ各掛リニ交付
ス各掛リ協同ノ上ハ局長ヘ達シ決判濟主任ヘ返付又ハ各寮局ヘ送達ス尤其時々件銘簿ニ證印ヲ請フ

ヲ緊要トス

但局内回議ト雖前條ノ如クス尤簿冊ハ各種分帳ニシテ他ノ回議ト混淆セサルヲ要ス
第二條 本局官員ノ進退出入其時々職員録ニ詳記シ常ニ局中へ揭示ス新任アルトキハ履歷書ヲ出サシメ置進退ノ節々之ヲ増補シ都テ身上ニ關スル諸願何屆等ノ類ハ正副ヲ出サシメ局長之ニ捺印シ本省職務掛へ送致ス副ハ諸願何屆簿ニ編收ス

第三條 院省使公布布達日誌ノ如キ第二局ヨリ到ルモノ一切部類ヲ分チ番號順序ヲ逐フテ各冊子ニ集綴シ直チニ局長ニ達ス尤別紙ニ見出シ目錄ヲ整調シ款件ヲ記載シテ一覽簡易ナルヲ緊要トス

第四條 官省使布達及掛合書等ニ付回答或ハ各寮局へ御達案同等ノ回議部類ハ都テ決判濟淨書ノ上夫々送致シ原議ハ各掛リ主任へ返付ス

第五條 凡テ各寮局回議ノ内合評決判濟ノ時返付送達ニ臨要再回ノ捺印アルハ之ヲ改テ後日参考要用ノ部類ナレハ再來ノトキ遺漏ナク謄寫シテ回議簿ニ集綴ス若シ再遲延ニ至ラハ帳記ニ因テ督催スヘシ

第六條 省中布達ノ類ハ回達ノ即時之ヲ謄寫シ正寫共ニ局長へ速達ス局長一覽捺印ノ上本紙ハ各寮局へ順達寫書ノ方ハ各掛リユ回致シ後省中布達簿ニ集綴シ參考ニ備フ

第七條 局内回議事由完結ニ至レハ原書圖書寮へ送付シ本書ハ同寮エ保存シ謄寫ノ分ハ局内回議簿ニ順次集綴シ遺漏錯雜ナキヲ要ス

豫算調査掛

第一條 本省及各寮局其年七月ヨリ翌年六月マテ一箇年分ノ經費金額豫算ヲ取調明細簿及計表第一葉ヨリ五葉マテヲ三箇月間ツニ編製シ逐次大藏省へ送致ス

但第一葉計表翌年ノ費額豫算取調明細簿并計表トモ毎年二月二日マテニ編製シ大藏省へ送付ス
第二條 各寮局ノ内事務ノ興廢ニ隨ヒ初發差出シタル經費豫算明細簿送付ノ後費額増減スルアレハ其時々正院允許ヲ經テ三箇月毎ニ其多寡ヲ添加削減シ明細簿并ニ計表ヲ添へ大藏省へ送付ス

以上

第五局ヨリ内務省へ伺 八年十月二日
本省中第五局本年五月三十日御達ニ寄リ都テ主計ノ事務豫メ順序ヲ以テ御達ニ相成候處其後會計年度整理ニ付テモ夫々順序ヲ相設ケ且ハ今般本省中一切ノ經費金額モ御確定ニ付テハ傳票等モ屢相變リ差向即今順序左ノ通相心得申度此段兼テ相伺置候也 八年十月十四日決判

出納掛 九年二月二十九日

用度課中出納支給掛
職務順序
九年四月十七日加度課
會計課ト改メ五月十二日
職務順序ヲ定ム

一 本省經費ハ支給掛ヨリ支出ノ金額甲乙帳ヲ傳票ト見做シ原簿ニ登記シ主任兩名以上調印シ課長ノ檢印ヲ受ケ第十八條公布ノ通切符ヲ製シ甲號ハ本人ニ下付シ乙號ハ當日限り取纏實金局エ送付スヘシ
但通知書送達方ハ送達簿ヲ備置月日何號ヨリ何號マテ合何枚ト記載シ該局ノ證印ヲ受ケ可シ
一 各寮局エ渡金ハ總テ支給掛ヨリ通知書ヲ送付ス 此通知ハ各寮局ヨリ兼テ該掛エノ通知書ナリ之ヲ傳票ト見做シ前條ノ順序ヲ以テ受取人ニ渡ス 受取書ハ甲乙帳ニシテ寮頭及主任ノ證印ヲ印鑑ニ照シテ通知書ハ渡濟ヲ押印シ支給掛へ返付スヘシ

一 當日拂出シノ金員ハ科目ニ不關各寮局ヲ區分シ總括日表ヲ製シ每翌日御輔ニ呈ス
一 拂出シ切符證號ハ本省及各寮局毎ニ番號ヲ分チ番號ノ肩書ニ本省此印 日計簿ト符合スヘシ
一 渡先職工商ニアラスシテ本省寮局へ渡ス節ハ切符面渡先ノ肩へ本省此印ヲ押ス以下ニ準スヘシ
右ノ外細目ノ義ハ追々可相伺候

支給掛

一 本省定額金支出スルハ回議決判濟直ニ乙帳簿ニ記載シ主任兩名以上調印課長ノ檢印ヲ受ケ本人ヨリ差出候書面相添出納掛へ送付スヘシ該掛ニ於テハ此帳簿ヲ通知傳票ト見做シ切符拂方ノ手續ヲ爲スヘシ簿冊并本人書面へ渡濟ヲ押印シ直ニ支給掛エ返付スヘシ
一 各寮局ハ歲月額ヲ元ニ記載シ各寮局ノ通知ニ依リ拂出シ原簿ニ登記シ主任兩名以上調印課長ノ檢印ヲ受ケ通知書エハ主任調印ノ上出納掛へ送致ス該掛ニ於テハ切符拂出終ラハ通知書エ渡濟ヲ押印

シ支給掛エ返戻ス該掛後日照會ノ爲メ保存スヘシ
 一 支給掛本省各寮ノ日計表本省ハ從前ノ通大小科目ヲ區ヲ製スヘシ
 一 退省後非常ノ拂ヲ要スル節課長ヘ急報宿直ノモノ取計アラハ翌日當掛ヘ達スルトス
 右ノ外細目ノ義ハ追々可相伺候

川度課議案 九年二月二十九日
 今般第十八號公達ニ基キ定額金仕拂方ノ義出納支給兩掛ニテ差向別紙ノ順序ヲ以テ取扱候積尤實際ニ於テ差支ノ義有之候ヘハ尙改正方相伺候積ニ御坐候至急御決裁相成度奉伺候也
 但詳細ノ義ハ追々相伺候

內務省ヨリ用度課ヘ達 九年四月十七日

其課自今會計課ト改稱候事

○川度課ハ本省開廳ノ際置ク所七年十一月十五日第四局第三課ト爲リ八年五月三十日第四局ト爲リ九年一月七日又用度課ト爲リ是ニ至リ此改稱アリ

內務省ヨリ主計課ヘ達 九年四月十七日

其課自今相廢候條右事務會計課ヘ可引渡事

內務省ヨリ會計課ヘ達 九年四月十七日

主計課相廢候條右事務同課ヨリ可受取事

內務省達 九年五月六日

院省使ヨリ當省ヲ經由下付候金數從前會計課ニテ取扱候所自今驛遞寮ニ於テ掌管候條此旨相達候事

內務省會計課處務順序 九年五月十二日決刊

本課ハ省中一切ノ金數ヲ檢査出納シ各寮局勘定帳ヲ調査總括シ省中常用ノ物品ヲ購求配渡及諸官員月

第十八號公達ハ見金納拂規則ヲ財政門出納諸則ノ部ニ載ス

用度課會計課ト改稱
 十年一月十一日會計局ト爲ス本省分課事務ノ部ニ載ス

主計課ヲ廢シ事務ヲ會計課ニ併ス
 主計課ハ七年一月二十七日廢ク所七年十一月十五日廢シテ第四局ヲ置キ八年五月三十日第五局ト爲リ九年一月七日又主計課ト爲リ是ニ至リ廢ス

會計課寮官府縣金數送付事務ヲ廢シ寮ニ屬ス

會計課處務順序
 十年一月十一日第三號達ヲ以テ各省中該寮ヲ廢ス

給旅費等ヲ支給シ修繕及省中取締等ノ事務ヲ擔任ス因テ本課ヲ分テ三科トナシ科外ニ受付ヲ置ク其處務ノ順序左ノ如シ

檢査掛

- 一 凡省中一切受納ノ金銀大藏省ヘ照會及各寮局ヘ通知等ノ事務成規定例ニ依リ草案ヲ起シ卿輔決判濟又ハ課長ヘ委任ノモノハ其決判濟傳票通知簿ニ騰記シ如式本書ヲ製シ大藏省ヘハ往復掛ヲ經各寮局ヘハ本課ヨリ直ニ送付ス
- 一 定額内外及臨時費等毎月大藏省ヨリ受取高及現金差引簿現金納拂局ヨリ廻送ノ節ハ當掛ヘ受付差引簿ハ直チニ出納掛ヘ送付シ受取高ハ大藏省通知簿ト照合誤謬ナキニ於テハ如式第一號證書ヲ製シ受證原書ト割印并課印檢印ノ上卿ノ調印ヲ請ヒ出納掛ニ送付ス
- 一 各寮局一切ノ收入及經費省議ヲ乞フモノハ其金員當否及各科目ヲ考究シ尙成規定例アルモノハ之ニ照應シ他日考證ニ備フヘキモノハ要再回ノ印ヲ押シ卿輔決判ノ後成規簿ニ騰記シテ本議ハ主務ノ寮局ヘ返付ス
- 一 各寮局官員旅費宿直賄料等ノ如キ卿輔ノ決裁ヲ不乞本課ヘ合評スルモノハ成規ニ照合シ査算ノ上課長檢印主務ノ寮局ヘ返付ス
- 一 本課ニテ仕出スヘキ金銀出納ニ關スル諸回議及月表面表之類一切調査檢印ノ上課長捺印ス
- 一 金穀出納ニ關スル省中一般ノ定規廢立ノ原案及各寮局ヨリ同上ニ付照會等ノ回答案課長ノ命ニ依テ起草ス
- 一 省中一周年ノ收入經費豫算內譯簿毎年二月十五日迄ニ寮局ヨリ送致スル所ノ簿册成規雛形照準調査精算シ及本省收入經費豫算ヲ調製シ總括概計表及內譯明細簿ヲ製シ卿輔ノ檢閱ヲ經テ二月二日限リ大藏省ヘ送致ス
- 一 一周年收入經費御決定後事務廢立等ニテ金額増減ノ儀各寮局ヨリ通知アルキハ大藏省ヘ照會等成規ニ依リ草案ヲ作り卿輔ノ檢閱ヲ經テ大藏省ヘ送致シ同省照會濟ノ上ハ原簿ヲ添刪シ主務ノ寮局ヘモ

依テ本省中改メ各局ヲ置キ本課ヲ廢ト改稱ス

通報ス

- 一 省中一切ノ收入經費毎月金銀受拂勘定帳ハ翌月八日迄ニ其寮局ヨリ送致スレハ之ヲ調査精算シ本省收入經費勘定帳ヲ調製シ總括勘定帳ヲ編纂シ御輔檢閱ノ上其月二十日迄ニ大藏省ヘ送致ス
- 一 省中經費總括勘定帳大藏省檢査既済ニ至レハ大藏御決算濟ノ證書ト最前出ス所ノ一號證書トヲ領受シ若シ殘金アルキハ更ニ第二號ノ證書ヲ製シ大藏省ヘ送致ス
- 一 本省中各局課官員等外月給及給仕小使其他諸雇給并各地出張旅費恩賞等成規ニ照シ之ヲ仕出シ御輔或ハ課長決判濟仕拂ノ通知ヲ出納掛ニ送付ス
- 一 廳中費營繕費等本省ノ經費ニ係ルモノハ其主任ヨリ送致スル證書ヲ用途ニ仕拂ヲ爲スハ前條ニ同シ
- 一 官錄稅其他諸收入本省中ニ係ルモノ例規ニ照シ大藏省ヘ納方回議ヲ仕出シ課長決判之上同省ヘ納方出納掛ヘ通達ス
- 一 各寮局課ヨリ府内ヘ郵送スル郵便切手ハ毎月需用ノ凡積ヲ以テ各寮局課ヘ渡シ置月末差出ス所ノ仕拂差引書ヲ總括編成シテ月計表及年計表ヲ製ス
- 一 本課中ニテ使用ノ郵稅ハ凡積ヲ立前以テ區分相立置日々仕拂ノ書狀數及稅額共日計表及月計表ヲ作り總括月計表ヘ編入ス
- 一 大藏省ヘ收入スヘキ金銀各寮局ヨリ傳票ヲ受付ルキハ其種類ヲ鑒別シ如式納傳票ヲ製シ收入金通知簿ト割印并課長檢印ノ上御ノ調印ヲ請大藏省ヘ送付シ同省ヨリ納方ノ通知アラハ各寮局ヨリ差出ス傳票ヘ與書シ通知書一同出納掛ヘ送付ス
- 一 毎月總括勘定帳大藏省ヘ送達後十日ヲ限月表ヲ製シ年末勘定帳送達後二十日ヲ限リ年表ヲ製シ御輔ノ閱覽ニ供ス
- 一 各寮局課官員及諸雇ノ者登用轉免派出歸省養病等照合ノ爲メ官員進退簿ヲ造リ日々職務掛リヘ送り於同掛其人名及其事由ヲ記載セシメ月給旅費増減等他日ノ考證ニ備フ

出納掛

九年第十八號公達ハ現金納拂規則ナリ財政門出納掛規則ノ部ニ載ス

- 一 各寮局定額常費ヲ受拂ナスニハ毎月大藏省ヨリ受取ヘキ金額檢査掛ヨリノ通知高ヘ前月ノ越高ヲ合セ其月ノ元受高トシ各寮局ヨリ通知次第切符渡方ヲ爲スヘシ
- 一 但本文渡方順序ハ明治九年第十八號公達及本課同濟順序ニ照準取扱フ
- 一 額外常費臨時費ハ受取方大藏省照會濟之旨其時々檢査掛ヨリノ通達ヲ押ヘ前條ノ手續キニ依テ拂切符渡方ヲ爲ス
- 一 毎日受拂ノ金銀日計表ヲ製シ課長檢印御輔ノ閱見ニ供ス
- 一 毎月大藏省ヨリ受入ノ金銀同省ヘノ諸請取證書檢査掛ニテ調製送致スレハ種類ヲ區別シ寮局分ケ日計簿ヘ騰記シ課長檢印濟本書ハ現金納拂局ヘ送付ス
- 一 現金納拂局ヨリ毎月月末ニ現金差引簿ヲ送致アラハ日計簿ヘ照合誤謬ナキニ於テ月計表ヲ製シ御輔ノ檢閱ヲ經テ后之ヲ順次編纂シ年末總計表ヲ製スル根據トス
- 一 毎月受拂ノ金銀查算整頓ノ上ハ各寮局現金差引仕譯書ヲ製シ拂人ヨリ受取置ク證書ヲ添ヘ主務ノ寮局ヘ送付シ其月大藏省ヨリ受入ノ金銀定規ノ通第一號證書ヲ出サシム
- 一 省中收入ノ金銀納付之節ハ主務寮局ヨリ直チニ現金納拂局ヘ假納取計同局請取證ヲ以テ送付スレハ證書原簿ヘ金員及事由ヲ騰記シ寮局ヘハ課長證印ノ請取證ヲ付與シ納拂局假證書ハアイロンセーフヘ保存シ置ク
- 一 前條收入金本納之節ハ各寮局ヨリ差入タル納傳票ヘ與書ノ上大藏省納通知ヲ添檢査掛ヨリ送付スレハ最前假納ノ金員ヘ照合差違ナキニ於テハ收入簿ヘ騰記シ大藏省ヘ納證書ヲ製シ收入簿ト割印并課長證印之上最前受取置現金納拂局請取證ヲ以テ納方ヲ爲スヘシ
- 一 本省各寮局常費或ハ額外常費等出納察現金納拂局ヘ現金備有之内ヨリ府縣其外ヘ送付スル金銀受取ハ當課金穀交付掛ヨリ主務宛ノ課長假證書持參ニ付當掛ヘ備置追テ其主務長證書ト交換ス

用度課

一 省中ヲ取締リ主務官員ヲ各所ヘ配置シ門出入及省内晝夜巡視ス

十四年五月日開會計局國務分課係中川度課事務分掌ヲ定ム

- 一 平常閉切ノ門開閉ノ由ハ取締ノモノ出張開門中附切入出ヲ視衛ス
- 一 出火其外非常ノ事件アラハ其機ニ應シ取締方兼テ手配注意ス
- 一 門出入ハ別テ堅固ニ衛リ怪敷體ニ見認ルル上ハ糺ノ上入出ヲ許スヘシ異情アリト見受ルルハ取押尙取糺ノ上詰合査官ヘ引渡スヘシ
- 一 院省使廳府縣ノ官員勅奏任ヲ論セス御用筋ニテ昇省ノモノ収次ヲ乞フルハ名刺ヲ取速ニ主任ヘ達ス省中不案内ノ者アラハ懇切ヲ旨トシ示諭ス
- 一 卿輔昇降ノ節支關詰取締ノ者迎送ス
- 一 正院門鑑并本省印鑑共受渡ヲ爲シ寮局課ヘ配渡ノ物品時々寮局ヘ出張現品調査ス
- 一 省中給仕或ハ小使等ヲ支配シ課中宿直割等ノ事ヲ專掌ス
- 一 諸工商ハ勿論小者等物品門外ヘ持出スルハ用度掛ノ印鑑并品名ノ斷書持參セサルモノハ一切外出ヲ止ム
- 一 夜間ハ取締ノモノ不寐番ヲ立時間毎省内巡視ス時間概テ定置ト雖モ不時變換ス
- 一 金額五百圓以上ノ新營修繕共正院ヘ具申スルモノハ草ヲ起シ五百圓以内五十圓以上ノ新營修繕ハ卿輔ノ決ヲ乞ヒ五十圓以内ハ課長限リノ決判ヲ以テ施行ス
- 一 新築修繕共着手セント欲スルルハ其所用ノ物品其外共精細ニ積算シ而後廣告入札ヲ以テ之ヲ命ス
- 一 出面工職ヘ授クル釘鐵物ノ類其外共價當否ヲ廣ク問糺ス
- 一 費用渡方ハ其職工ヨリ代價書ヲ取立調査主任ノ檢印ヲ捺シ檢査掛ヘ送付ス
- 一 本省所轄ノ地券ヲ統轄シ其主任ノ官姓名ヲ東京府ヘ達置クヘシ
- 一 各寮局課需用物品一廉五十圓外ニ出ルモノハ至急ト雖モ卿輔ノ決ヲ請ニ非レハ施行ヲ不得右金額以內ハ課長限リノ決ヲ以テ處分ス
- 一 寮局課ヨリ臨時ニ物品需求ノ達或ハ回議送達アラハ細大トナク渡ノ當否ヲ考究至急ヲ要スル些末ノ

九年五月四日府縣金銀交
付事務ノ關係ニ關スル故
ニ本掛ノ事務順序ハ制定
上國選案ニ關シナリ
府縣往復規程ハ八年一月
第十六號ヲ以テ定ムル
所文書門交付ノ部ニ載ス

- 一 常用物品月々渡高ヲ考量月末ニ至リ翌月入用ノ品目ヲ掲載見本品持參ノ日限ヲ定メ廣告シ相當之品購求ス
- 一 賞與盃調整スレハ見本ニ照查シ其金銀盃ノ如キハ見本地金ノ性合ニ差違否違注意ス
- 一 書籍ノ内洋書ハ其質ノ當否ヲ圖書局ヘ照會購求ス
- 一 界紙類ハ其用紙并版木ヲ備置其職ニ命シ必本課内ニ於テ刷ラシム
- 一 購買品代價下渡ハ都テ商人ヨリ品名代價ヲ記載シタル書面ヲ取立調査ノ上主任檢印檢査掛ヘ送付ス
- 一 購買品ハ無漏原簿ヘ登録シ置寮局課ヨリ受取ヲ要スルルハ其主務長ノ檢印ヲ證トシ渡方ヲナス若受取方ニ付不相當ト見認ルニ於テハ之ヲ拒ム
- 一 物品ノ内消滅セサル品一寮或ハ一局ニテ一品ヲ多數需要ノ時ハ成丈ケ流用方ヲ達シ事實差支アルニ非レハ渡方ヲ爲サス
- 一 營繕費及ヒ購買費等日計表ヲ製シ卿輔ノ閱覽ニ供フ月計年表モ亦然リ
- 一 金穀交付掛
- 一 院省使廳ヨリ府縣ヘ下付ノ金穀ハ都テ往復規程ニ照準受授ス
- 一 本省指令ノ分主務寮局ニ於テ内務卿ヨリ大藏卿宛ノ傳票ヲ發シタル旨通知アラハ通知録ヘ登記シ課長之ニ檢印シ後證ニ備フ大藏省指令ノ分主務寮頭課長名印ニテ受取方取計ヘキ旨ヲ當課ヘ達ス此達書ニ依リ通知録ヘ登記課長檢印ハ前條ニ均シ後内務卿ヨリ大藏卿宛ノ達書ヲ整往復課ヲ經テ大藏省ニ達ス傳票並達書等捺印ハ成規之通
- 一 省中寮局課ヨリ渡ノ通知アラハ曩ノ傳票發濟ノ通知ニ照合原簿ニ登記シ課長檢印ヲ受後課長ノ假證書ヲ製調交付方ヘ廻付ス大藏省指令ノ分渡方通知出納寮ヨリ來ラハ當省ヨリノ達原簿ニ照合登錄餘

ハ前條手續ノ通り

- 一 貸下金穀ハ大藏省理財課ニ於テ證書検査シ當課へ廻送ニ付渡ノ通知出納寮ヨリ來ラハ此證書持參受取ヲナス渡方ニ臨ミ證書面ノ府縣官轉任スルカ或ハ病死等ノ事アレハ當課長普通ノ假證書ヲ以テ受取更ニ證書理財課へ出スヘキ旨該府縣へ當課長ヨリ達シ最前ノ證書返戻ス
- 一 内務大藏兩省ヲ除ノ外院省寮局ヨリ送達ノ金穀送付セハ原簿ニ登録課長檢印ヲ受後假證書ヲ調製交付方へ廻ス
- 一 還祿資金及新舊公債證書或ハ利子等國債寮ヨリ渡ノ通知アラハ原簿へ登記餘前條手續通り
- 一 交付方ニ於テハ課長假證書ニ依リ府縣名ヲ區分シタル帳簿へ登録シ課長檢印假證書ト割印ヲ受ケ大藏省渡ノ分證書出納寮へ持參現金交換ス本省并寮局常費其外納拂局ニ現金備アル中ヨリ下渡分ハ其寮局ヨリ何府縣へ送達スヘキ旨ノ通知アルニ付交付掛ヨリ當課出納掛へ課長假證書持參納拂局渡ノ切符ヲ受ク
- 一 金穀遞送方爲替許可濟ノ府縣ハ兼テ通知ノ抵當高ニ照準送付シ其他ハ郵便爲替又ハ銀行三井組等ノ兩替ヲ以テ送達シ其抵當超過スルモノ亦ハ爲替未開ノ地ハ通運會社ニ托シ送達ス
- 一 爲替或ハ通運會社へ托スルハ條約面或ハ命令書等ニ照ラシ領受ノ證書ヲ取置原簿ト照合課長ノ檢印ヲ受ク
- 一 爲替金或ハ現金遞送等豫テ取置タル抵當高ヲ目途ニ遞送ヲ命シ公債證書ノ如キハ通運會社ニ托スルヲ常トス
- 一 還祿資金下渡方東京府下寄留ノ者ハ其情願ニ任セ當地ニ於テ渡方ヲ許シ東京府屬官出省ヲ達シ渡方ヲナス
- 一 金穀交付ノ原簿員數ノ脇へ遞送或ハ爲替等月日及ヒ事由ヲ詳記シ課長ノ檢印ヲ受送達後府縣ヨリ到達ノ報知或ハ府縣官證書到達等モ詳記課長ノ檢印ヲ受尙前條ノ如シ
- 一 府縣官證書到達セハ主務省寮局へ課長ノ達書ヲ添最前ノ假證書ト交換ス

- 一 甲ノ下付金ヲ以テ乙ノ上納金ニ交換シ或ハ其幾分ヲ遞送スル如キハ該府縣長官ノ依頼ニ依テ處分ス
- 一 出京判任官其他へ金穀直渡ノ如キハ該府縣長官ノ依頼アルニアラサレハ下付セス
- 一 遞送費爲替費等下渡ヲナスハ受取人ヨリ書面ヲ取立成規ニ照ラシ調査ノ上主任檢印精算掛へ送付ス
- 一 日々受納或ハ送付等ノ金額日表ヲ製調御輔ノ閱覽ニ供フ月計年計モ亦然リ

受付

- 一 當課掌管ノ事件ニテ府縣ヨリ直ニ郵達或ハ當地在京長次官ヨリ上達スレハ之レヲ領置シ其府縣名ヲ區分シタル帳簿ニ登記シ順次番號ヲ附シ其專務ノ掛々へ送付領受ノ證印ヲ徵スヘク若シ當課管セサル事件アラハ其主務へ送付ス
- 一 往復課ヲ經由シテ來ル上申書ヲ受付スルハ同課ヨリノ送達簿ニ書載アル府縣名及ヒ件名等照合領置ノ證印ヲ徵シ更ニ當課ノ件名簿ニ登録シ專務ノ掛へ送付スルハ前條手續ノ通りタルヘシ
- 一 府縣ヨリ當課へ直ニ郵達スル書類ノ領受證ハ到達後三日内ニ郵便ニ托シ發遣ス
- 一 往復課へ上達ノ書中ニ當課專掌ノ事件アラハ同課ニテ領受ノ證ヲ發遣シ其旨付箋ヲ以テ通知スルヲ例トス
- 一 府縣其他ヨリ來ル書類ノ中當課管掌外ノ件アラハ一種ノ主管違ヒノ件ノ送達簿ヲ整理其件名ヲ書シ原書へハ其趣ヲ付箋シ主務へ送付領受ノ證ヲ徵ス亦往復課ヲ經由シテ來ル書類ノ中主管違ヒノモノハ同課へ返付ス
- 一 本省經費ニ係ハル諸回議寮局課ヨリ來ラハ受付簿へ登記シ課長ノ檢印ヲ受ケ後チ主務ノ掛へ回付主務調整ノ上再回アラハ帳記シ課長ニ出シ決判濟主任へ回送ス
- 一 當課限仕出ス回議ノ中内局ノ決ヲ乞フモノハ當課決判ノ上往復課へ送致決判濟同課ヨリ返戻アラハ決判濟月日ヲ記入シタル印章ノ肩へ課長ノ檢印ヲ受ケ院省使府縣へ掛合或ハ達濟等ノ類モ同上タルヘシ
- 一 他寮局課及ヒ課中モ回議或ハ掛合ヨリ起ル往答伺書類ハ都テ最前登記ノ圈内へ記シ他日ノ搜索ニ便

ナルヲ要ス

一省內達類ハ受テ課長ニ達シ檢印ヲ得後寫取シ各掛ヘ回達周止ヨリ返戻ノ後綴込置キ達シ原書ハ寮局課ヘ送付ス

一府縣委任以上ノ官姓名ヲ記シタル掛札并當課官員錄等ヲ調整ス

一日々各掛リヨリ出ス表ノ類ヲ聚集シ課長ニ出シ決判濟内局ヘ達シ回覽濟各主任ヘ返付ス

一上達書類及掛合書類等月十五日ヲ區分シ稽緩ナク取調フヘシ

會計課何九年四月二十九日

今般主計課事務營課ヘ合併ニ付更ニ課務ヲ精算出納用度府縣金穀交付掛ノ四區ニ分チ事務處辨可仕依之處務順序別冊ノ通取調此段相伺候也

内務省ヨリ會計課ヘ達 九年十月三日

各寮局課經費金穀收入共出納一切ノ事務以來其課擔任ト相定別紙ノ通各寮局課ヘ相達候條事務受取候様可致因テ自今各寮局課ニ係ル金穀處務順序別冊ノ通ニ候條右ヘ照準可取扱此旨相達候事

内務省ヨリ各寮及衛生博物二局ヘ達 九年十月三日

其寮局經費金穀收入共出納ノ事務ハ以來會計課ヘ擔任爲致候條右事務同課ヘ引渡可申候因テ爲心得處務順序相添此旨相達候事

但府外ニアル支廳分局製造所等ノ如キハ從前ノ通尤勘定手續ハ第十一條ニ照準可取計儀ト可心得事

各寮局課金穀出納ノ事務改正ニ付會計課處務順序

今般省中金穀出納ノ順序改正從前各寮局課ニ取扱候金穀出納及新營修繕ノ事務東京府内ノ分以來會計課擔任ト定右事務ヲ整理スル處務順序左ノ如シ

第一條 本課中ヘ支給及營繕掛ノ二掛ヲ増置シ各寮局課ヲ區分受持ヲ定メ該事務ヲ取扱フヘシ

第二條 各寮局課一周歲ノ經費豫算内譯明細簿ヲ標準トシ一切ノ費用ヲ仕附決テ超過セサルヲ要ス

各寮局課金穀處務順序
十四年五月日會計局分
課條規ヲ定ム

但本條明細簿ノ下組ヲ編製スルニ方ツテハ該主務ノ寮局ニ於テ事務ノ都合ト費額ノ多寡等取調本課ヘ協議ノ上豫算ヲ制定スヘシ

第三條 前條制定ノ經費ト雖モ事務ノ緩急ニ因リ主務寮局及本課ニ達シ互ニ流用増減セシムルコトアルヘシ

第四條 本省構内ニアル各寮局課ノ出納ハ本課ニテ取扱構外ニアル寮局ヘハ同課ヨリ其局ヘ出張事務取扱フヘシ

但府外ニアル支廳分局製造所等ハ從前ノ通主務寮局於テ取扱其出納ノ順序ハ第十三條ニ照準取計フヘシ

第五條 官員月給備給及宿直賄料三大節賜餼料等ノ如キ定規アルモノハ直チニ支給掛ニテ仕出シ課長決判渡方取扱フヘシ

第六條 官員以下旅費手當ノ類及需用品買上筆墨紙炭薪等通常ノ物品ハ豫テ備置主務運送賃郵便稅電信料等ノ如キハ主務ノ寮局課ヨリ掛合或ハ通知ニヨリ渡方或ハ買上ノ廻議ヲ作り卿輔又ハ課長決判渡方ヲ爲ス

第七條 各寮局課ニ於テ新營修繕ヲ施行セントスルハ先ツ築造ノ性質ト石煉瓦木繪圖面ヲ以テ本課照會スヘシ本課ニ於テハ實地檢査ノ上仕様金高等ヲ取調一廉費額五十圓未滿ノモノハ課長專決シ五十圓以上千圓未滿ノモノハ卿輔ノ許可ヲ得テ施行シ千圓以上ニ至ルモノハ正院ヘ伺ノ文案ヲ作り卿輔ニ呈ス

第八條 堤防費府縣定額金期月渡ノ分各府縣ヨリ渡方申請アラハ土木寮ヘ受付本課ヘ合議シ本課ヘ合金額支出ヲ合議スル迄ニシテ事務上ニ渡方ノ指令取計追テ受取方申出ルハ直チニ本課ヘ送付シ同干預スル課ニハ之ナリ第九條モ亦同シ

課ニテ現金拂出シ驛遞寮ヲ經テ府縣ヘ遞送スヘシ

但各府縣ヨリ每三箇月勘定帳總計帳及一村限金高帳差出スルハ土木寮ニテ受付調査濟勘定帳ハ本課ヘ送付シ同課ニテ總括勘定帳ヲ製スルモノトス

九年十二月二十一日第八
條ヲ改正ス

官職門 官制 内務省一

九年十二月二十一日第十
格改正

第九條 各府縣於テ道路橋梁堤防等臨時費用ヲ要シ定額外別途支出ヲ上申スルハ土木寮ニテ其情實
ヲ調査審察止ムヲ得サルモノハ正院ヘノ伺案及指令案ヲ起草シ本課合議ノ上卿輔ニ呈ス

第十條 府縣營繕ノ儀府縣ヨリ上申ノ節ハ調査指令等ノ事務ハ從前ノ通主務局ニテ取扱金額遞送方及
勘定帳編製等ノ事務ハ第八條堤防費ニ準シ本課ニテ取扱フヘシ因テ府縣ヨリ差出ス所ノ精算帳主務
局ニテ處分濟ノ上ハ無遲滯本課ヘ送致スヘシ

第十一條 諸貸下金勸業寮及勸商局ヨリ等出納ノ事務ハ本課ニテ取扱フト雖モ事務ノ當否ニ干預スル
コナシ

第十二條 作業費中此順序第五條ヨリ第七條迄ニ屬スル諸費ハ本課ニ於テ擔當スルコト通常經費ニ異ナ
ルコトナシト雖モ事業上ニ屬スル諸費ハ豫算金額ニ照準右ニ超過セサルニ於テハ其出納ヲ調理スル迄
ニテ當否ニ至テハ干預スルコトナシ因テ豫シメ費目ヲ區分シ置クコト左ノ如シ

但官員以下俸給旅費給與廳中費營繕費等ノ類
事業費

但諸物品製作ニ付器械類及製作ニ屬スル諸物品ヲ購求シ或ハ牧羊場ニテ牛馬羊ヲ買入及右ヲ蓄
養スル諸物品ヲ購求山林培養伐木等ノ類

第十三條 府外ニアル支廳分局製造所等ノ經費受拂ノ儀左ノ箇條ニ照準取扱フヘシ

第一項 各支廳分局製造所等一箇年ノ經費定額常費ヲ十二分シテ一ヶ月ノ額ト定メ其半額ヲ前月末
ニ送付シ殘半額ハ實地仕拂ノ景況ニヨリ其幾分歟或ハ全額ヲ月末迄ニ相渡シ月費仕拂ノ上殘金ア
ルモ一旦證書ヲ以テ返納イタシ更ニ翌月分月額ヘ差加ヘ交付スヘシ

但額外常費臨時費渡方ハ從前ノ通

第二項 月費仕拂ノ分ハ例規之通内譯明細表及通算表ヲ製シ主務寮局ヘ差出該長官檢印ノ上本課ヘ
送致シ同課於テ總括勘定帳ヘ編入スヘシ因テ以來各寮局ヨリ勘定帳差出スニ及ハス

第三項 月費仕拂ノ内追算渡等ニテ其月精算ニ至ラサル分ノアル節ハ未決算仕譯書ヲ製シ前條ノ手
續ヲ以テ本課ヘ送致スヘシ

第十四條 各寮局課ニテ不用ノ物品之アルモ本課ヘ受取置ニ箇年兩三度之ヲ點檢シ需用ノ見込之ナ
キ分ハ入札拂ニ取計フヘシ

第十五條 官祿稅其他諸收入金ハ例規ニ照シ本課ニ於テ取扱大藏省ヘ納方ヲ爲スヘシ

第十六條 各寮局課豫算内譯明細簿並總括勘定帳編製及物品購買ノ手續現金受渡ノ順序等ハ本課既定
ノ處務順序ニ照準取扱フヘシ

右之通相定候事

會計課處務順序中改正

十四年五月日與會官制處
務分課條規ヲ定メ
十年三月日與會第八條ヲ改
正ス

內務省達ヨリ各寮局課ヘ達 九年十二月三十一日

會計課處務順序中第八條第十條別紙ノ通改正候條爲心得此旨相達候事

第八條 堤防費府縣定額金期月渡府縣ヨリ申請アラハ本課合議ノ上本課ヘ合議スルハ金額支出ヲ合議
ハ之ナク第九條ニ準シ渡方指令シテ後金額支出方本課ヘ通知シ同課ニテ現金拂出シ驛遞寮ヲ經テ府縣ヘ遞送
スヘシ

但土木寮ニテ毎三箇月ニ總括勘定帳ヲ編製シ本課ヘ送付同課ニテ調査精算ノ上更ニ大藏省ヘ送付
スヘキ勘定帳ヲ製スルモノトス

第十條 府縣營繕ノ儀府縣ヨリ上申ノ節調査指令等ノ事務ハ從前ノ通主務局ニテ取扱金額遞送ノ節ハ
本課ヘ通知ノ上同課ニテ現金拂出シ驛遞寮ヲ經テ府縣ヘ遞送スヘシ

但勘定帳調整ノ義ハ本課ニテ取扱フヘシ因テ府縣ヨリ精算帳上申アラハ主務局ニテ調査濟直ニ本
課ヘ送付スヘシ

會計課ヨリ內務省ヘ伺 九年十二月二十日
本年十月月中本課事務御改正ニ付御渡相成候處務順序中土木費取扱方不都合ノ應有之候間第八條第十條
左ノ通御改正相成度此段仰高親候也

會計局處務順序第八條
改正
十四年五月日閣會議
務分課條規ヲ定ム

内務省ヨリ土木局へ達 十年三月日閣
會計局處務順序第八條別紙ノ通告正同局へ相達候條爲心得此旨相達候事
内務省ヨリ會計局へ達 十年三月日閣
其局處務順序第八條別紙ノ通告正候條此旨相達候事
別紙

一堤防費府縣定額金期月渡府縣ヨリ申請アラハ主務局ニテ取扱渡方指令シテ後金額支出方本局へ通知
シ同局ニテ現金拂出シ驛遞局ヲ經テ府縣へ遞送スヘシ尤定額ヲ増減シ或ハ期月ヲ變易スルコトアラハ
本局へ合議 本局へ合議スルハ金額ノ増減期月ノ變換ヲ合議スル迄スヘシ
會計局ヨリ内務省へ同十年三月二十一日

堤防費府縣定額金期月渡ノ分當分處務順序第八條ニ依リ當局へ合議ノ上支出ヲ要シ來候處右金額ハ前
以御確定相成居期月ニ望ミ歩合ヲ以テ御下付相成候義ニ付共時々合議ノ上御支出相成候モ彼是重複ノ
手數ニモ相成候ニ付以後合議ハ被差止度就テハ別冊第八條掛紙ノ通御改正相成可然ト存候因テ當局及
土木局へ御達案共併テ奉候也

會計局處務分課條規 十四年五月決裁

十六年七月二日條規ヲ改
正ス

第一條 會計局ハ其處務規程ニ條擧スル事項ヲ支分シテ左ノ各課掛トナシ之ヲ分任掌理スヘシ

檢查課 調査掛 豫算掛
傳票掛 簿記掛

出納課

支給課

用度課 調度掛 營繕掛
省中取締掛 廢掛

文書課 庶務掛 受付掛
記録掛

第二條 各課掛ハ第四條以下ニ掲グル其分掌ノ制限ニ遵ヒ之ヲ擔當處分スヘシ

第三條 事務ノ繁簡ニヨリ局員ヲシテ各課掛ヲ兼務セシムルコトヲ得ヘシ

十五年三月二十八日條規
掛ヲ決置掛ト改ム

第四條 檢查課ハ其擔任ノ事務ヲ調査豫算傳票簿記ノ四掛ニ分チ之ヲ調理スヘシ

第一項 調査掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理スヘシ

一局中發議各局ノ合議ニ拘ハラズ總テ諸回議ヲ查閱シテ其當否ヲ檢考算査スル事

一金錢出納ニ關スル省中一般ノ成規廢立ノ原案及ヒ之レニ屬スル諸案ヲ起草スル事

第二項 豫算掛ハ全省ノ收支豫算ニ關スル一切ノ事項ヲ整理シ之レニ屬スル諸計表等ヲ調理スヘシ

第三項 傳票掛ハ全省ノ經費收入ハ勿論總テ大藏省ヨリ領受若クハ納入ノ傳票ニ係ル一切ノ事項ヲ調理スヘシ

第四項 簿記掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理スヘシ

一成規ノ複記式ニ據リ毎日收入支發スル金錢ヲ各簿冊ニ登記シ之ニ屬スル諸計表ヲ調理スル事

一收入及支出金ノ決算ヲ整理シ成規ノ決算帳及ヒ勘定帳ヲ調理スル事

第五條 出納課ハ左ニ掲グル各項ノ事務ヲ調理スヘシ

第一項 金錢受渡ニ關スル一切ノ事項ヲ調理シ之ニ屬スル計表ヲ調理スル事

第二項 金錢出納ノ取扱ヲ命スル銀行等ノ命令書ヲ起草シ之ニ屬スル庶務ヲ整理スル事

第三項 各局所要ノ郵便切手ヲ購入及ヒ取扱ヲナス事

第六條 支給課ハ各局ヲ區分シテ擔當ヲ定メ其一周歲ノ豫算額ヲ標準トシテ一切ノ費用ヲ支辨シ併セテ其收入金ノ受納ニ係ル諸務ヲ調理スヘシ

第七條 用度課ハ其事務ヲ調度營繕省中取締既ノ四掛ニ分テ之ヲ調理スヘシ

第一項 調度掛ハ全省所要物品ノ購求交付及不用品ノ賣却賞杯ノ調理等ニ係ル一切ノ事務ヲ調理シ之ニ屬スル諸計表ヲ編製スヘシ

第二項 營繕掛ハ諸廳舎ノ新築修繕等總テ工事ニ關スル一切ノ事務ヲ調理スヘシ

第三項 省中取締掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理スヘシ

十五年三月十五日閣會議
務分課條規ヲ定ム

十六年四月十二日附掛ヲ
添テ第四項ヲ削リ第三項
中ニ附加ス
十四年六月日關文書課處
務假順序ヲ定ム

- 一省中取締ニ關スル一切ノ事項ヲ調理シ門鑑其他取締上ノ器具ヲ保管シ其受渡ヲナス事
- 一火災消防具ヲ保管シ常ニ其使用ヲ訓練シ出火及ヒ非常ノ節臨機ノ處分ヲナス事
- 一本省所屬ノ建物用地及ヒ地券ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一巡視門衛及給仕小使ヲ監督スル事
- 一省中設置ノ電信分局ニ關スル事項ヲ管理スル事
- 第四項 厩掛ハ厩馬ノ飼養馬車ノ運轉馭者馬丁ノ監督等總テ厩事車馬ニ關スル一切ノ事項ヲ管理ス
- 第八條 文書課ハ其事務ヲ庶務、受付、記録ノ三掛ニ分テ之ヲ掌理スヘシ
- 第一項 庶務掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理スヘシ
 - 一辭令ノ立案、局印ノ管守、職員錄、履歷書ノ編製、出勤簿ノ調査、及局員願同届ノ傳達等總テ職務ニ關スル一切ノ事項ヲ調理スル事
 - 一局長ノ命ヲ受ケ各種ノ文案ヲ起草シ又ハ書記傳達スル事
 - 一局長ノ年報書ヲ編製スル事
 - 一布告公達其他本省ノ達書等ヲ局中へ傳達スル事
 - 一各課掛ノ主管ニ屬セサル雜務ヲ調理スル事
- 第二項 受付掛ハ本局ニ於テ受理又ハ發遣スヘキ諸文書ヲ領受若クハ送付シ及ヒ局中ノ諸回議ヲ受授スル等總テ文書ノ受付ニ關スル一切ノ事項ヲ擔當處分スヘシ
- 第三項 記録掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理スヘシ
 - 一本局諸文書ノ編輯保存及ヒ出入ニ關スル事
 - 一局務整理上照準スヘキ會計法規纂輯ノ事
 - 一上申往復其他諸文書謄寫ノ事

府内外ノ別ナク金錢出
納事務ヲ會計局ノ主管
トナス

會計局文書課處務假順序
十四年六月決定
十六年八月二日會計局處
務假順序ヲ定ム

(職務)

(局長ノ書記)

內務省ヨリ會計局へ達 十四年六月三日
各局金錢出納ニ關スル事務掌管之儀ニ付明治九年十月中相達候趣モ有之候處來ル十四年度以降府内外ノ別ナク擧テ其局擔任ト相定候條府外ニアル各出張所藥場等右ニ屬スル事務夫々請取可申此旨相達候事

會計局文書課處務假順序 十四年六月決定

- 第一條、本課ハ本局處務分課條規ニ遵ヒ其事務ヲ支分シテ庶務、受付、記録ノ三掛ト爲シ其處務ノ順序ヲ定ムルヲ左ノ如シ
- 庶務掛
- 第二條 本局雇員及ヒ給仕ノ進退ヲ初メ總テ職務ニ關スル諸項ハ局長ノ命ニヨリ之ヲ調理シ其執行傳達ノ後ハ直ニ之ヲ帳記シテ檢査支給兩課へ通知ス但其進退ニ係ルモノハ每一箇月取纏メ内局へ進達スヘシ
- 第三條 局員ノ一身上ニ關スル願同届等ヲ領受シテ局長ニ呈シ其副書シテ内局へ進達スルモノ及局限指令ヲ要スルモノハ局長ノ命ヲ稟テ該案ヲ草スヘシ
- 第四條 局員ノ出勤簿ヲ保管シテ毎日之ヲ點檢シ翌月三日ヲ限リ前一月間ノ公勤表ヲ編製シ局長ノ檢閱ニ供スヘシ
- 第五條 局員ノ履歷書及ヒ職員錄ヲ編製シ宿直ノ順次ヲ定ムヘシ
- 第六條 諸達書等ハ受付掛ニ於テ之ヲ受授スヘシト雖モ其職務ニ關スルカ若クハ局長ノ名ヲ以テ傳達スルモノハ總テ本掛ニ於テ之ヲ處分スヘシ
- 第七條 局長ノ命ヲ受ケ臨時各種ノ文案ヲ起草シ又ハ之ヲ書記スヘシ
- 第八條 毎歲會計各主務ノ報告ヲ徵シ其一周年間ニ於テ施行セシ局務ノ成迹ヲ查考シテ局長ノ年報書ヲ調製スヘシ

(庶務)
(諸文書ノ受授)

第九條 前各條ノ外各課掛ノ主管ニ屬セサル庶務ヲ調理スヘシ

○受付掛

第十條 本局ニ於テ受理スヘキ文書及ヒ本局ヨリ他ヘ發遣スル文書竝ニ局中ノ回議ハ總テ之ヲ受付送達スヘシ

第十一條 諸文書ヲ領受シ若クハ交付セントスルハ其件名月日等ヲ帳簿ニ登記シ其順次ヲ以テ番號ヲ付スヘシ但照會往復等ノ如キハ原議アリテ起ルモノハ向ニ其原議ノ件名ヲ帳記シタル圈内ニ記入シ之レト同一ノ番號ヲ付シ他日ノ搜索ニ便ナラシムヘシ

第十二條 諸文書ヲ交付スルニ省中各局及ヒ局内ハ其件名等ヲ記載セシ原簿ニ諸官廳ハ別ニ送付簿ヲ添付シ之ニ其領收者ノ證印ヲ徵スヘシ但シ各地方ヘ郵送スル文書ノ内其事件ノ重要ニ涉ルモノハ別ニ送狀ヲ付シ之ニ其領收印ヲ徵スヘシ

第十三條 本局ノ主管ニ係ル諸達照會通知等到達ノ日ハ第十一條ノ手續ヲナシタル後局長ノ閱覽ヲ經テ之ヲ主務課ヘ送付スヘシ

第十四條 局内起草ノ諸回議ヲ領受シタル日ハ第十一條ノ手續ヲ爲シテ之ヲ局長ニ呈シ其決判ノ後内局ノ裁決ヲ乞フヘキモノハ往復課ヘ其他ハ該主務若クハ合評ヲ要スル各局ヘ回付スヘシ

第十五條 本局ノ合評ヲ要スル諸回議ヲ各局ヨリ送致スル日ハ其件名月日等ヲ記帳シタル上直ニ其主務ヘ送付シ該主務ニ於テ調査濟ノ上再ヒ之ヲ領受シテ局長ニ呈ス其決判ノ後ハ第十四條ノ手續ニ從ヒ之ヲ回付スヘシ但本局要再回ノ記印アルモノハ回付ノ際之ヲ別帳ニ掲記シ其時日ヲ經過シテ猶再回セサルハ之ヲ督促スヘシ

第十六條 布告公達其他諸達書等印刷例數アルモノハ直ニ之ヲ局長竝各課ニ頒布シ其他ハ謄寫濟ノ上之ヲ回覽ニ付スヘシ

第十七條 上申往復書等第十一條ノ手續ヲ經タル後御輔若クハ内局書記官ノ名ヲ以テスルモノハ往復課ヘ送致シ其他ハ直ニ之ヲ發遣スヘシ

(受授文書ノ調査)

第十八條 毎月末ニ至リ上申照會及ヒ内局ヘ上達書ヲ調査シ一箇月ヲ經過シテ未タ裁定若クハ回答ナキモノハ其件名月日ヲ掲記シテ局長ノ檢閱ニ供スヘシ

第十九條 各主務ヘ送付シタル公文ハ處分ノ濟否ヲ調査シ其未濟ノ件ハ之ヲ督促シテ掩滯ナカラシムヘシ若シ連日ニ涉リ未タ完濟セサルモノハ其事由ヲ詳ニシ件名月日等ヲ掲記シテ局長ノ檢閱ニ供スヘシ

第二十條 日々受付シタル諸文書ノ種類件數ヲ調査シテ日表ヲ調製シ局長ノ檢閱ニ供スヘシ

○記録掛

第二十一條 本局諸回議ノ處分完結セシモノハ各主務ヨリ之ヲ徵收シ其内局ノ決判ニ係ルモノハ之ヲ往復課ヘ其他ハ之ヲ圖書局ヘ送付スヘシ

第二十二條 前條ノ諸回議ヲ圖書局ヨリ回付セシ日ハ之ヲ類別編輯シテ他日ノ參照ニ供スヘシ

第二十三條 各局合評ノ回議ニシテ後照ヲ要スルモノハ各主務ニ於テ要再回ノ印ヲ押捺スヘキヲ以テ其再回スルヲ待テ謄寫ノ上之ヲ編輯スヘシ

第二十四條 布告布達其他諸達等局中回覽ノ後ハ之ヲ編輯シテ他日ノ參照ニ供スヘシ

第二十五條 金錢出納ニ屬スル法規定期例ハ別ニ之ヲ彙輯シテ局員處務上參照ノ用ニ供スヘシ

第二十六條 本局ノ諸文書ヲ保管シ局員ノ閱覽ヲ要スル日ハ其時々之ヲ出入スヘシ又處務上參照ヲ要スル書籍類ハ其主務掛ノ請求ヲ調査シテ設備ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十七條 本局ヨリ他ヘ發遣スル上申文書往復書等ヲ初メ局務整理上須要ノ書類ニシテ謄寫ヲ要スル日ハ總テ之ヲ謄寫スヘシ

第二十八條 諸文書淨書校合ノ際ニ於テ成規ノ文例書式等ニ抵觸スルカ若クハ誤脱アリト認ムルモノハ其主務ニ通告シテ之ヲ訂正セシムヘシ

第二十九條 諸文書ヲ謄寫セシ日ハ必ス其主任者ニ就テ之ヲ校合スヘシ
校了ノ日ハ校合者ト共ニ其而シテ其計數ニ係ルモノハ更ニ主任者ヲシテ之ヲ査算セシムヘシ

(處分済回議ノ送付)

(編輯)

(諸文書ノ保存)

(謄寫)

取締掛巡視事務心得ヲ
定ム
十六年七月二日會計局分
課規中取締掛ノ調理事
項ヲ定ム

但至急ヲ要スル場合ニ於テ主任者不參等ノ節ハ其同掛ノ者ニ就キ之ヲ校合若クハ查算セシムヘシ
會計局ヨリ取締掛へ達 十五年三月十五日
巡視奉務心得別紙ノ通相定候條此段及御達候也
追テ臨時巡邏ノ儀ハ兼テ及御達置候通可被心得候事
巡視心得

- 第一條 巡視ノ職タル非常ヲ看護シ火災ヲ豫防スルニアリ故ニ晝夜省内ヲ巡邏視察シ若シ火盜其他ノ災變ニ罹ルアルハ則チ豫防ノ情急ニ出ルヲ不免ニ付厚ク注意スルヲ要ス
- 第二條 出勤中ハ必ス官與ノ服帽ヲ著冠シ靴ヲ穿チ容儀ヲ嚴肅ニスヘシ
- 第三條 夜々每一時ニ省内ヲ普テ巡視シ不寐番時計管中ニ投丸スヘシ其投丸時間ハ午後第六時ニ始メ翌日午前第五時ニ至ルヘシ
- 第四條 省内ニテ不審ノ者ヲ認得スル時ハ徐カニ事故ヲ推問スヘシ其跡ノ疑ハシキモノハ拘留ノ上其始末ヲ取締官員及本局宿直へ報知スヘシ
- 第五條 近傍出火ノ節ハ各部署シテ速ニポンプヲ配置シ運水ノ手配ヲナスヘシ
- 第六條 ポンプハ專ラ他ノ火勢ヲ消防スル爲メ準備ノ器械ニ付近火ト雖モ局長ノ命アルニ非レハ門外へ輒出スルヲ得ス
- 第七條 非番ノ節ト雖モ本省近傍出火アルキハ必ス速ニ出勤スヘシ

會計局検査課中簿記掛
ヲ決算掛ト改稱ス
十六年七月四日會計局分
課規ヲ改正ス

會計局ヨリ各局課會掛へ通知 十五年三月二十八日
當局検査課簿記掛ヲ決算掛ト改稱相成候間此段及御通知候也
會計局ヨリ内務省へ伺 十三年五月二十二日

本局検査課簿記掛ノ名稱ヲ案スルニ一體簿記ノ文字ハ獨リ複記法ニ據リ記入セル帳合ノミニ止ラス廣ク諸簿冊ニ登錄スル掛リノ如ク相聞ヘ而シテ其實經費決算書及報告書等ヲ取扱ヒ決算ヲ整理スルノ任ニ有之何分名實相反シ甚ク穩當ナラス依テ検査課豫算掛ト對照シ自今簿記掛ヲ決算掛ト改稱致シ可然歟相伺候也 五月二十五日決刊

會計局處務分課條規第
一條用度課中ヲ改正ス
十六年七月四日會計局分
課規ヲ改正ス

會計局ヨリ各局へ通知 十六年四月十二日
當局處務分課條規第一條用度課中廢掛ヲ廢シ第七條第四項ヲ刪除シ第三項ノ第六左ノ通增加相成候條此段及御通知候也
一 厩馬ノ飼養馬車ノ運轉駁者馬丁ノ監督等總テ厩事ノ車馬ニ關スル一切ノ事項ヲ管理ス
會計局ヨリ各局課へ通知 十六年七月四日
當局分課條規今般別紙之通改正候條此段及御通知候也

十六年八月二日分課條規
ニ據リ處務順序ヲ定ム
十七年四月九日更ニ分課
條規ヲ定ム

會計局分課條規
第一條 會計局ハ其處務ノ事項ヲ區別シテ左ノ分課トナシ第二條以下ニ掲クル制限ニ遵ヒ之ヲ掌理スヘシ
局長附書記 書記掛 受付掛
検査課 調査掛 督務掛
主計課 核算掛 決算掛
出納課 傳票掛
收支課 第一部 第二部
用度課 調度掛 營繕掛
庶務掛 省中取締掛 物件掛
文書課 庶務掛 報告掛
記録掛

各出張所

第二條 局長附書記

第一項 書記掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理ス
一 辭令ノ立案局印ノ管守職員錄履歷書ノ編製出勤簿ノ調査宿直割局員願同届ノ傳達等總テ職務ニ關スル事

一 局長ノ命ヲ受ケ各種ノ文案ヲ起草シ又ハ書記傳達ノ事

第二項 受付掛ハ諸文書ヲ領受若クハ送付シ及局中ノ諸回議ヲ受授スル等總テ文書ノ受付ニ關スル一切ノ事項ヲ調理ス

第三條 検査課

第一項 調査掛ハ局中ノ發議各局ノ合議ニ拘ハラズ總テ諸回議ヲ查閱シテ其當否ヲ檢考算査ス

第二項 督務掛ハ諸事業施行上ニ就テハ現場ニ臨檢シ及常ニ局務ノ滯否如何ヲ視察ス

第四條 主計課

第一項 豫算掛ハ全省ノ收支豫算ニ關スル一切ノ事項ヲ調理ス

第二項 決算掛ハ成規ノ式ニ據リ收支ノ金錢ヲ登記シ諸計表及決算帳現計報告書等ニ關スル一切ノ事項ヲ調理ス

第三項 傳票掛ハ大藏省ヨリ領受若シクハ納入ノ傳票ニ係ル一切ノ事項ヲ調理ス

第五條 出納課ハ左ニ掲クル各項ノ事務ヲ調理ス

第一項 金錢受渡ニ關スル一切ノ事

第二項 收支ノ金錢ヲ成規ノ式ニ據リ登記シ之ニ屬スル計表ヲ調製スル事

第六條 收支課ハ左ニ掲クル各項ノ事務ヲ調理ス

第一項 一周年豫算額ヲ標準トシテ一切ノ費用ヲ處辨シ及收入金ヲ受納スル事

第二項 豫算外臨時收支ニ係ル諸務ノ事

第七條 用度課

第一項 調度掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理ス

一 全省所要物品ノ購求交付及不用品ノ賣却等ニ係ル事

一 全省ノ刊行物及各所へ發遣スル電信郵便運搬物ノ事

第二項 營繕掛ハ諸廳舎ノ新築修繕等總テ工事ニ關スル事務ヲ調理ス

第三項 省中取締掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理ス

一 省中取締ニ關スル諸務ヲ整理シ併セテ巡視門衛及給仕小使ヲ監督スル事

一 火災消防具ヲ管理スル事

一 厩ニ關スル一切ノ事項ヲ管理スル事

第四項 物件掛ハ用地及地券建物其他物品諸器械等ノ財産ヲ管理シ之ニ屬スル一切ノ事務ヲ調理ス

第八條 文書課

第一項 庶務掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理ス

一 諸規則ノ廢立及疑問説明等ノ文案ヲ起草スル事

一 各課掛ノ主管ニ屬セサル雜務ノ事

第二項 報告掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理ス

一 年報書ノ編製及公布類局中へ傳達ノ事

一 官報掲載ニ係ル事務ノ事

第三項 記録掛ハ左ニ記列スル事項ヲ調理ス

一 諸文書ノ編輯及ヒ保管ノ事

一 會計上ノ成規定例纂輯ノ事

第九條 各出張所事務ハ別ニ定ムル規則ニ據リ調理ス

會計局ヨリ內務省ヘ伺十六年六月八日
去ル明治十四年五月御決裁ヲ得本局處務分課條規ヲ設ケ各專掬ノ制限ヲ定メ諸般ノ體面ヲ一洗爾來二箇年經過ノ今日ニ至リ局務日ニ増シ月ニ加ハリ其多端ナル舊時ノ比ニアラス調理ノ舉否如何ヲ顧慮スル常ニ少カラス過般來局中特ニ臨時調査委員ヲ設ケ各課ノ事務ヲ實際審査セシメ篤ト思考仕候ニ當時至便ノ方法タルモ今日既ニ迂遠ニ屬シ或ハ處理妥當ナラサルモノアリ又名ノ實ニ稱ハサル等事務沿革ノ然ラシムル勢ノ止ムヲ得サルニ出ツルモノアレハ理論實際便否共宜キヲ量リ時ニ隨テ之ヲ改良セサレハ事務經理ノ進路ヲ誤リ其弊害ノ及フ處決シテ鮮少ニアラス就テハ今後更正ヲ要スル條件及ヒ各課處務順序ノ細款ニ至テハ尙追々其中可仕候得共先ツ局務分課ノ大體ヲ改正シ年度ノ分界即チ來七月一日ヨリ施行仕度別冊分課條規改正案相添此段仰高裁候也
但臨時調査委員ヲシテ審査致サセ候書類清覽ヲ要スル節ハ御下命次第捧呈可仕候也

會計局ヨリ各課ヘ達 十六年八月二日

當局處務順序別冊ノ通相定候條此旨相達候事

會計局處務順序

會計局主掌分任ノ制ハ分課條規ニ據リ其處務ノ順序ヲ立ツル左ノ如シ

總則 第一章

第一條 各課通則

- 第一項 凡ソ收支ノ憑書ハ局長ノ檢印アルモノニアラサレハ證據ト爲スヲ得サルモノトス
- 第二項 凡ソ憑書及ヒ帳簿ノ字畫ハ最モ正フシ他日不明瞭ナラサラシメンコトヲ要スルモノトス
- 第三項 凡ソ投票開札ハ檢査課立會局長ノ面前ニ於テ執行スルモノトス
- 第四項 凡ソ金錢物品ノ請求書ハ該局長ノ捺印ヲ以テ證トナスモノトス
- 第五項 凡ソ上申往復等ノ文書淨書濟ニ方リテハ主任者文書課員ト校合スルモノトス

會計局處務順序
十七年四月九日順序中
改正ス

- 第六項 凡ソ官報ニ掲載セント認ムル文書ハ主務課長官報掲載ノ印ヲ捺スルモノトス
 - 第七項 凡ソ完結シタル簿書ハ速カニ文書課ヘ送付スルモノトス
- 局長附書記

第二章 局長附書記ハ局員職務ニ關スル事項及ヒ文書ノ受授ヲ掌リ擔任ヲ二掛ニ分チ左ノ條項ニ據テ其事務ヲ調理ス

第二條 書記掛

- 第一項 本局ノ官印ヲ管守シ局員ノ職務ニ關スル事項備員進退等局長ノ命ニ據リ辭令ノ立案其他ノ手續ヲ爲シ執行ノ後其進退ニ係ルモノハ每一箇月收纏メ內局ヘ進達シ給與ニ關スルモノハ即日檢査收支兩課ヘ通知スルモノトス
 - 第二項 局員一身上ニ關スル願同屆書等ヲ領受局長ニ呈シ其副書シテ內局ヘ進達スルモノ及局限リ指令ヲ要スルモノトモ局長ノ命ヲ受ケテ該案ヲ草ス
 - 第三項 局員ノ出勤簿ヲ保管シテ毎日之ヲ點檢シ翌月三日ヲ限リ前一月間ノ公勤表ヲ製シ局長ノ檢閱ニ供ス
 - 但日給備員ノ出勤日數ヲ取調ヘ毎月末收支課ヘ通知ス
 - 第四項 局員ノ履歷書及ヒ職員錄ヲ編製追調シ宿直ノ順次ヲ定メ豫テ之ヲ揭示シ更ニ通知簿ヲ以テ宿直者ノ認印ヲ徴シ置クモノトス
 - 第五項 局員廢休早出居殘ノ日數表ヲ調製シ毎月局長ノ閱覽ニ供ス
 - 第六項 局長ノ命ヲ受ケ臨時各種ノ文案ヲ起草シ又ハ之ヲ傳達ス
 - 第七項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス
- 職員錄 分課職員錄
奉命錄 備員黜陟通知簿

出勤捺印簿 履歷書
略履歷書 宿直通知簿

日給備出勤日數調扣帳

第三條 受付掛

第一項 本局ニテ受理スヘキ文書及本局ヨリ他ヘ發遣スル文書竝ニ局中ノ回議ハ總テ之ヲ受付スルモノトス

第二項 諸文書ヲ領受シ若クハ交付セントスルモハ其件名月日等ヲ帳簿ニ登記シ其順次ヲ以テ番號ヲ付ス尤照會往復等ノ如キ原議アリテ起ルモノハ向キニ其原議ノ件名ヲ帳記シタル圍内ニ記入シ之レト同一ノ番號ヲ付シ他日ノ搜索ヲシテ便ナラシム

但金券添付及ヒ封入ノモノハ封緘授受等ニ注意シ即時本項ヨリ第四項迄ノ手續ヲ爲ス尤現金ハ一切受理セサルモノトス

第三項 諸文書ヲ交付スルニ方リ省中各局及局内ハ其件名簿ニ諸官廳ハ別ニ送付簿ヲ添付シ之ニ其領收者ノ證印ヲ徴ス

第四項 布令伺照會通知等到達ノモトハ本條第二項ノ手續ヲ爲シ局長ノ閱覽ヲ經テ其主務課ヘ送付ス

第五項 局内起草ノ諸回議合評ノ各課捺印濟ノ上領受シタルモハ本條第二項ノ手續ヲ爲シテ之ヲ局長ニ呈シ決判ノ後内局ノ裁決ヲ乞フヘキモノ及ヒ他局課ヘ合評ヲ要スルモノハ往復課ヘ其他ハ該主務者ヘ廻付ス

但局長決判濟ニ際シ該回議欄外ヘ何月何日會計局長決判ト記載ス

第六項 各局ヨリ合評ヲ要スル回議ハ其件名月日等ヲ記帳其主務課ヘ送付シ該主務課及檢查課捺印濟ノ上再ヒ之ヲ領受局長ニ呈シ決判ノ後ハ第五項ノ手續ニ據テ之ヲ回付ス
但本局ニ再回ヲ要スル回議ハ別帳ニ件名ヲ記シ置キ再回遲延ノモノハ之ヲ督促ス

第七項 各局課ヨリ合評アル諸回議ヲ各課ヘ送付スルニ方テハ關係アル各課名ノ印ヲ押捺シ回付スルモノトス

第八項 上申照會回答指令等ノ本書本條第二項ノ手續ヲ經タル後卿輔若クハ内局書記官ノ名ヲ以テスルモノハ往復課ヘ送致シ其他ハ直チニ之ヲ發遣シ其回議原書ハ文書課ヘ送付ス

但各局ヨリ再回ヲ要スル回議ハ處分濟速ニ該局ヘ回送ス

第九項 上申照會及ヒ内局ヘ上達セル書數ヲ毎月五日迄ニ取調ヘ一箇月ヲ經過スト雖モ裁定回答ナキモノハ其件名月日ヲ記載シテ局長ノ檢閱ニ供シ檢查課ヘ送付ス

第十項 局内各主務課ヘ送付シタル公文ハ毎月五日迄ニ取調一箇月ヲ經過スト雖モ完結ニ至ラサルモノハ其件名月日ヲ記載シテ局長ノ檢閱ニ供シ檢查課ヘ送付ス

第十一項 日々受付シタル諸文書ノ種類件數ヲ取調ヘ日表ヲ製シ每一箇月取纏メ局長ノ檢閱ニ供ス

第十二項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必ス備置モノトシ其他ハ便宜ニ任カス

卿輔同發議件名簿 省往復件名簿

回議件名簿 府縣申牒件名簿

局内發議件名簿 集治監申牒件名簿

出張員申牒件名簿 郵便送致簿

再回往復簿 日表上申簿

送致簿

檢查課

第三章 檢查課ハ總テ會計ニ關スル諸回議文書ノ調査及ヒ各課各出張所事務上ヲ檢督シ擔任ヲ二掛ニ分チ左ノ條項ニ據テ其事務ヲ調理ス

第四條 調査掛

- 第一項 凡ソ各局課等ヨリ本局ニ合評ノ回議諸文書ハ總テ其當否ヲ審案檢考ス
 - 第二項 局内各課ニ於テ立案ノ回議諸文書モ亦前項同様ノ手續ヲ爲ス尤收支ニ係ル憑書ハ類別番號ヲ記載ス
 - 第三項 前兩項諸文書ノ内金員其他數量ニ係ルモノハ一廉限リ檢字印ヲ捺シ調査ノ證トス
 - 第四項 局内各課ト本掛トノ意見協ハサル時ハ其理由ヲ批朱シ局長ノ決ヲ乞フ
 - 第五項 本掛ヲ經由シタル回議上ニ付テ局長ヨリ下問アレハ之ニ對シテ答議説明ヲナスノ責ニ任ス
 - 第六項 本掛ヨリ局長ニ送呈スル諸文書ハ總テ受付掛ヲ經テ上達スルモノトス
 - 第七項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス
憑書番號書留簿
- 第五條 督務掛
- 第一項 本掛ハ左ニ掲記ノ各件ハ其主務課ヨリノ通知ニヨリ現場ニ臨ミ實況ヲ檢査シ意見ナキモノハ其票面或ハ現場ノ書面ニ認印ヲ捺シ意見アレハ主務課ニ協議シ若シ意見ヲ異ニセハ其狀ヲ局長ニ具申ス
 - 一 營繕起工ニ方リ投票開札之時
 - 一 同上歩通り落成内金渡ニ方リ其建築ノ模様
 - 一 新營繕繕落成ノ時
 - 一 地所建物購入或ハ他ニ係リ受授ノ時
 - 一 諸物品購買投票開札ノ時
 - 一 不用物品賣却投票開札ノ時
 - 第二項 毎月一回各出張所ヲ巡回實況及帳簿ヲ點檢シ局長ニ具狀ス尤帳簿記入等ノ錯雜アラハ協議訂正セシム

十二年第五十號公達ハ經費科目條例十四年第三十四號公達ハ收入科目表ナリ共ニ財政門出納規則ノ部ニ載ス

會計法ハ財政門總ニ載ス

十五年第二十一號公達ハ定額金流用ノ件財政門出納規則ノ部ニ載ス

- 第三項 本局負擔ノ建築工場等臨時巡察ス
 - 第四項 府縣各出張所ハ第一項ヨリ第三項迄ノ場合ニ於テ特ニ命令アルモノトス
 - 第五項 時々各課ノ簿書若クハ物品ヲ點檢勉メテ整理ニ就カンコトヲ計畫ス若シ淹滞ニ屬セルモノハ課長ニ協議結了ニ至ラシム
 - 第六項 諸公文未濟件名調書受付課ヨリ送付アラハ逐件其主務課ヘ協議シ結了ニ至ラシム
 - 第七項 局内各課事務整否繁閑ノ景況ヲ平常視察シ局長ノ諮問ニ答フ
 - 第八項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス
臨檢錄
- 主計課
- 第四章 主計課ハ收支ノ豫算決算及國庫ニ對シ受納スル傳票ノ事項ヲ掌リ擔任ヲ三掛ニ分チ左ノ條項ニ據テ事務ヲ調理ス
- 第六條 豫算掛
- 第一項 本省所管收支ノ豫算ハ收支課ヨリ送付ノ調書ニ付詳査調理ノ上豫算内譯帳編製會計法第二章第十二條ノ手續ヲ了シ追テ太政官決定ノ上其科目金員ヲ收支課ヘ通知ス
 - 第二項 收支豫算ノ科目ハ明治十二年十二月第五十號同十四年四月第三十四號公達ニ準據ス
 - 第三項 諸費豫算額太政官決定ノ上ハ各局及警視廳集治監府縣ヘ達シノ文案ヲ起草ス
 - 第四項 經費豫算決定ノ後増減ヲ來シ收支課ヨリ仕譯書回送ノ場合ニ於テハ其事由ヲ詳査シ會計法第二章第十七條ノ手續ヲ了シ收支課ヘ通知ス
 - 第五項 收入豫算決定ノ後増減ヲ來シ收支課ヨリ仕譯書廻送ノ場合ニ於テハ其事由ヲ詳査シ會計法第二章第二十條ノ手續ヲ了ス
 - 第六項 据置額自十五年度經費殘金翌年度ヘ併算及豫算科目金員ニ過不足ヲ生シ流用方收支課ヨリ照會アルニ於テハ其事由ヲ詳査シ明治十五年四月第二十一號公達ノ手續ヲ了シ收支課ヘ通知ス

留置額ノ特達ハ財政門總
費ノ部ニ載ス

- 但本項据置額ハ明治十五年四月二十八日令第五十八號ノ特達ニ係ル
- 第七項 本省所管經費ノ據置額外豫算科目金員ニ過不足ヲ生シ流用方收支課ヨリ照會アルニ於テハ其事由ヲ詳查シ會計法第二章第十六條ノ手續ヲ了シ收支課ヘ通知ス
- 第八項 本條第三四六七項ノ場合ニ於テ本局府外出張所ハ局長ヨリ府内出張所ハ本課ヨリ通牒ノ手續ヲ爲ス
- 第九項 府縣警察費及營繕土木費等豫算額決定後増減及流用ヲ要シ主務局ヨリ合議アルトキハ其事由ヲ詳查金員件名ヲ記帳シ其回議ハ卿輔決判即日再回ノ印ヲ捺シ置キ再回ニ方リ原議ヲ騰寫シ追テ太政官裁可又ハ大藏省承認回覽ノ時若クハ大藏省會計検査院ヘ報告案ノ合議ニ際シ其趣旨ヲ追記シ之ヲ收支課ヘ通知ス
- 第十項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス

第七條 決算帳 追調簿

- 第一項 凡金穀出納ノ記簿式ハ明治十一年十一月八日大藏省無號及明治十五年九月受坤第一六八號通達ニ因ル
- 第二項 記簿ノ憑書ハ局長ノ決判ヲ證トス
- 第三項 毎日計算表ヲ調製シ局長ノ檢閱ニ供ス
- 第四項 收支現計書及報告書ハ明治十五年二月第二十七號大藏省通達ニ依リ會計法第三章第二十七條第二十八條ノ手續ヲ爲ス
- 第五項 決算帳ハ明治十五年八月第七十八號會計検査院通達ニ據リ會計法第四章第四十條ノ手續ヲナス
- 第六項 每會計年度歲入出決算報告書ハ明治十五年十月第九十四號及明治十六年二月第十四號

記簿式ハ財政門總ニ收支
現計書及報告書并ニ決算
帳及每會計年度歲入出決
算報告書ハ共ニ財政門決
算ノ部ニ載ス

上納及未納仕譯書式ハ財
政門出納諸則ノ部ニ載ス

- 大藏省通達ニ據リ會計法第四章第四十二條ノ手續ヲ爲ス
- 第七項 收支ノ憑書決算ニ關スル分ハ各主簿者ニ於テ管理整頓シ他へ出サ、ルモノトス尤假拂及繰替拂ノ憑書ニ限リ記帳濟ノ後收支課ヘ返付ス
- 第八項 假拂及繰替拂等決算遲延ニ至ルモノハ收支課ヘ決算ノコヲ催促ス若シ延滞甚シキモノハ検査課ヘ通牒ス
- 第九項 出納閉鎖ノ期ニ際シ決算ニ至ラサルモノ收支課ノ通報ニヨリ會計法第三章第二十九條ノ手續ヲナス
- 第十項 前年度ノ收入金上納及未納仕譯書收支課ノ通報ニヨリ明治十五年七月大藏省第七九號回達及明治十六年一月受坤第三號通達ノ手續ヲ爲ス
- 第十一項 會計主務官吏アル場所 警視廳 集治監 土ノ 決算帳ハ收支課ヨリ送達スル勘定帳ニヨリ其交付金ニ對シ調製會計法第四章第四十條ノ手續ヲ爲ス
- 第十二項 本掛中左ニ掲載ノ帳簿ヲ備置クモノトス
 - 日記簿
 - 原簿
 - 雜收入内譯簿
 - 經費内譯簿
 - 日計簿
 - 旅費明細簿
 - 打切金内譯簿
 - 臨時寄託願末簿
- 第八條 傳票掛
- 第一項 豫算決定ノ上ハ會計法第三章第二十五條並明治十三年七月大藏省回達經費請求概則ニ準據シ仕譯書ヲ調整其年度ノ頭初ニ於テ大藏省ヘ通知ノ手續ヲ爲ス
- 第二項 諸經費各地送金場所仕譯書ハ明治十五年二月大藏省受坤第二九號照會ニ據リ收支課ノ調書ニ就キ調製大藏省出納局ヘ報告ノ手續ヲ爲ス

經費請求概則ハ財政門出
納諸則ノ部ニ載ス

送金場所仕譯書式モ同上
ノ部ニ載ス

仕置式ハ財政門出納部
明ノ部ニ載ス

- 但經費ノ内増減額アルニ際シテハ其時々本項ニ準ス
- 第三項 雜收入納付期限場所仕譯書ハ明治十六年二月大藏省受坤第二十四號照會ニ據リ前項ノ手續ヲ爲ス
- 第四項 定式ノ經費ハ前月中旬ニ到リ内務卿ヨリ大藏卿ニ宛テタル傳票ヲ調製シ大藏省ヘ送付ノ手續ヲ爲ス尤府縣警察費集治監經費ノ如キ豫テ同濟ノ分ハ其期ニ臨ミ發票ス
- 但支出場所仕譯アルモノハ傳票ニ添付ス
- 第五項 諸經費豫算外増額等臨時請求スル金額ハ何濟原議添付收支課ヨリ元受通知ニ當リ傳票ノ手續ヲ爲ス
- 第六項 元受金ハ大藏省出納局ヨリ渡方通知書ヘ管守證書若クハ拂出切符ヲ添送付ニ際シ金員ヲ照査受證原簿ニ記載領受證書ヲ調製局長調印ヲ得テ領受證書及管守證書等ハ出納課ヘ送致シ元受濟ヲ收支課ヘ通知ス
- 但既ニ受入レタル金額ノ内科目變更アルトハ其事由ヲ傳票錄受證原簿ニ記入ス
- 第七項 收入金上納ハ收支課ヨリ本納通知ニ依リ傳票錄ニ記載每一箇月ヲ束子明治十五年七月大藏省第七九號回達及同十六年一月受坤第三號通達ニ準據傳票ノ手續ヲ爲シ大藏省出納局ヨリ納方通知次第本納憑書ヲ作り會テ收支課ヨリ送致ノ回議書添付出納課ヘ返付ス
- 第八項 經費仕拂殘額返納ノ金員收支課ヨリ本納方通知アラハ傳票錄ニ記載シ前項ノ手續ヲ爲ス
- 第九項 操替借リ及甲乙年度證書ヲ以テ納受ノ金額ハ本條第四項第五項ノ手續ニヨル
- 第十項 北海道三縣濟貧恤窮貸下及外國ニ於テ危難ニ罹リタル内國人ヘ我領事館ニ於テ歸國旅費其他一時操替貸下等ノ金額アルトハ主務局ヨリ原議回送通知次第内務卿ヨリ大藏省ヘノ通知書ヲ調整シ原議ヲ添ヘ大藏省ヘ送付ノ手續ヲ爲ス
- 第十一項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任ス

元受傳票錄 受證原簿

上納傳票錄 經費元受通知簿
返納傳票錄 貸下金通知簿
操替借 受納傳票錄

出納課

第五章 出納課ハ現金出納ニ關スル一切ノ事項ヲ掌リ左ノ條項ニ依テ其事務ヲ調理ス

第九條 出納課

- 第一項 現金ノ納拂ハ明治十五年六月受坤第一二三號及同十六年五月受坤第九五號大藏省通達各應現金管守順序ニ據テ取扱ヲ爲ス
- 第二項 凡金錢ノ出納ハ必ス局長決判ノ憑書ヲ以テ施行ス
- 第三項 元受金ハ主計課ヨリ送付ノ大藏省出納局管守證書及局長領受證書等ヲ得テ受ケ入レノ手續ヲ爲ス
- 第四項 諸納入金ハ管守順序第十一條ニ據リ納付順序ヲ作り納入ヘ交付シ現金ハ大藏省出納局出張現金取扱方ヘ直ニ渡サシメ該管守證書ヲ得テ受入レノ手續ヲ爲ス
- 第五項 假納金ハ其憑書收支課ヨリ受理セハ拂出切符ヲ調製大藏省出納局ヘ送付シ假納證書ヲ領置ス
- 第六項 本納金ハ其憑書主計課ヨリ受理セハ假納證書ヲ大藏省出納局ヘ送付シ本納證書ヲ得テ主計課ヘ回致ス
- 第七項 拂出シ切符ハ其支出ノ憑書ヲ收支課ヨリ受理番號ヲ記入シ之ヲ調製ス
- 但支出憑書ハ渡日三日前送付アルモノトス尤臨時至急ヲ要スル者ハ此限ニアラス
- 第八項 拂出シ案内切符ハ一廉限リ金員番號ヲ登記セシ送致簿ヲ以テ大藏省出納局ヘ送付ス
- 第九項 諸渡金ハ憑書支出日前日午前十時ヨリ當日午前十時迄ヲ一日ト定メ請取人ヨリ證書ヲ出サシメ金員印影ヲ照査シ切符ノ渡方ヲ爲ス

現金管守順序ハ財政門出納部ニ載ス

但非常至急ヲ要スル仕拂金ハ管守順序第九條ノ手續ニ據ル

第十項 諸渡金ノ證書ハ一箇月限り編纂シ本課ニ保存ス

但各地送還金ハ本證書到達ノ上收支課ヘ報告ス

第十一項 日々金錢收支濟ノ憑書ハ送致簿ヘ登記シ當日午前十一時迄ニ主計課ヘ送付ス

第十二項 現在金日表ヲ製シ局長ノ檢閱ニ供ス

第十三項 現金ノ收支決算書ヲ管守順序第十條ニ據リ大藏省出納局ヨリ送付アルニ當テハ之ヲ現

金受拂簿ト照査ス

第十四項 收支ニ際シ證書金ハ明細簿正貨ハ類別簿ニ登記ス

第十五項 本課事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス

現金受拂簿 假納證書留簿

受人證書明細簿 正貨類別簿

納金證原簿 交付金出納局證書留簿

憑書送致簿 案内切符送致簿

假納原簿 印鑑簿

收支課

第六章 收支課ハ諸經費收入等總テ收支ノ事項ヲ掌リ擔任ヲ三部ニ分チ左ノ條項ニ據テ其事務ヲ調

理ス

第十條 第一部

第一項 收支ノ豫算ハ明治十二年十二月第五十號同十四年四月第三十四號公達ニ準據編製シ外國

ニ關スル正貨紙幣調書ト共ニ前年度十二月五日迄ニ主計課ヘ送付ス

第二項 警視廳集治監在府縣獄囚徒費警察費營繕土木費等ノ豫算申牒ハ本課ニ受理シ記帳等ノ手

收支豫算ノ公達ハ財政門
豫算ノ部ニ載ス

續ヲ了シ前年度十二月十日迄ニ主計課ヘ送付ス

第三項 凡經費ノ仕拂ハ豫算額ニ基キ超過スルヲ得ス若シ増減又ハ流用セントスルハ其事由ヲ

審案仕譯書ヲ調製シ主計課ヘ送付ス

但小科目以上ニ涉ルモノハ追テ主計課ノ通報ヲ得テ更正ス

第四項 雜收入豫算増減報告ハ明治十五年四月大藏省受坤第七六號通達及十六年二月大藏省租稅

局第一二五八號通牒ニ據リ每三箇月調製シ每期ノ翌月五日限り主計課ヘ送付ス

第五項 府縣警察費營繕土木費等ノ豫算額決定後増減又ハ流用ヲ要シ主務局ノ合評アルハ其事

由金員ヲ記帳シ置キ追テ主計課ノ通報ヲ得テ之ヲ更正ス

但警視廳集治監府縣等ヨリ本項ノ申牒アルハ本課ニ受理シ記簿等ノ手續ヲ了シ主計課ヘ送

付迫テ該課ノ通報ニヨリ更正ス

第六項 諸經費各地送金場所仕譯調書ハ明治十五年二月大藏省受坤第二九號照會ニヨリ乙年度分

ヲ甲年三月二十五日迄ニ之ヲ主計課ヘ送付ス

但仕譯調書送付ノ後増減アルニ際シテハ其時々本項ニ準ス

第七項 雜收入納付期限場所仕譯調書ハ明治十六年二月大藏省受坤第二四號照會ニヨリ前項ノ手

續ヲ爲ス

第八項 通常經費每三箇月本拂及假拂高ヲ取調ヘ將來支出ノ見込ヲ併セ翌月十日迄ニ局長ヘ申報

ス

第九項 前年度雜收入上納及未納明細調書ハ明治十五年七月大藏省第七九號回達同十六年一月受

坤第三號通達ニ準據調製シ毎年八月二十日迄ニ主計課ヘ送付ス

第十項 毎年度經費金額 據置 殘餘アルハ明治十五年四月第二十一號公達ニ準據翌年度ヘ併算スヘ

キ仕譯書ヲ調製シ主計課ヘ送付ス

第十一項 毎年度出納閉鎖ノ期ニ際シ若シ收支ノ決算ニ至ラサルモノアルハ一廉限リ金員事由ヲ取調ヘ二月二十五日迄ニ主計課ヘ送付ス

第十二項 各局課ヨリ臨時ニ寄托スル金員ヲ收支スルハ憑書決判ノ上出納課ヘ送付ス

第十三項 本部事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必ス備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス

豫算差引簿 未決算整理簿

年賦金追徴簿 臨時寄託金受拂簿

雑収入豫算差引簿

第十一條 第二部 第三部

第二項 第二部第三部擔任ノ費目ヲ定ムル左ノ如シ

第二部 本省經費

第三部 警視廳經費 集治監經費 府縣警察費

在府縣獄囚徒費 營繕費 土木費

神宮式年造營費 古社寺保存費 阿片費

雜件費 雜收入

第二項 凡收支ニ係ルモノハ左ノ順序ニ據テ憑書ヲ調製シ納拂三日前迄ニ出納課ヘ送付ノ手續ヲ爲ス尤臨時至急ヲ要スルモノハ三日前ノ限ニアラス

一 俸給ハ仕出基簿ニ據ル

一日給備及寫字生給料ハ該局課長ノ檢印アルモノニ據ル

一 旅費ハ本人請求書ニ該局課長ノ檢印アルモノニ據ル

一 給仕小使給料賄料被服料需用品代營繕費諸職工人足船車備料運搬費郵便稅電信料庶費等ハ用度課ノ通知ニ據ル

一 府縣出張所警視廳集治監府縣等ヘ交付スヘキ金員ハ通知書若シハ請求書ニ據ル

一 雜收入及ヒ諸返納等ハ其通知書ニ據ル

第三項 甲月ニ受入レタル收入金及ヒ甲月ニ屬スル費用ヲ事故ナクシテ乙月ニ編入スルヲ得ス

第四項 各所經費交付方ハ會計法第三章第二十五條ニ照準シ權戶空知三池三集治監費沖繩根室兩縣警察費ハ別段ノ伺濟ニ據ル

第五項 收支ノ日限ハ憑書出納課ヘ回付ト同時ニ請求者ヘ通知ス

第六項 大藏省ヘ本納金原議ハ傳票ノ爲メ主計課ヘ送付ス

第七項 各地送遣金領收證書到達ノ旨出納課ヨリ報告アラハ本拂若クハ假出ニ更訂ノ手續ヲ爲ス

第八項 假出金ハ主務者ノ精算書ヲ得テ本拂ニ更訂ノ手續ヲ爲ス

第九項 俸給仕出基簿ハ進退黜陟其都度内局所屬局ノ通知ニ據リ之ヲ更正ス

第十項 會計主務官吏アル場所警視廳集治監土ノ勘定帳ヲ受理セハ本條第八項ノ手續ヲ爲ス

第十一項 阿片費ニ係ル取扱順序ハ別段定ムル所ニ據ル

第十二項 第一部第二部事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必ス備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス

受拂簿 假出簿

各地送遣簿 繰替簿

俸給仕出基簿 雜收入受拂簿

用度課

第七章 用度課ハ物品購買交付不用品ノ賣却印刷物及電信郵便運搬營繕財產既其他省中取締ニ關スル事項ヲ掌リ擔任ヲ四掛ニ分チ左ノ條項ニ據テ其事務ヲ調理ス

第十二條 調度掛

第一項 總テ物品購入ハ一廉金十圓以上ノモノハ局長決判ノ上投票ニ付シ其他ハ課長專決ス

- 第二項 日常需用品ヲ除クノ外一廉金百圓以上ノモノハ卿輔ノ決ヲ經ルモノトス
 - 第三項 物品代價其他ノ金員收支課ヨリ通知ノ豫算額ニ超過スルヲ得ス
 - 第四項 物品代價其他ノ金員請求書ハ事項ヲ検査シ檢印ノ上收支課ヘ送付ス
 - 第五項 不用物品賣却ニ際シテハ局長ノ決ヲ經汎ク投票ニ付シ其金員事由ヲ收支課ニ通知ス
 - 第六項 内外國人饗應アル時ハ主務局ノ通知ニ應シ調理等ノ事ヲ取調ヘ局長決判ノ上當日其場所ニ出張シ用度ヲ爲ス
 - 第七項 諸職工舟車人足等備入及臨時賄ハ需用ノ照會ニ應シ備入若クハ渡方ヲ爲シ毎月末該照會書ヲ局長ノ檢閱ニ供ス
 - 第八項 凡ソ刊行物圖書局ヨリ照會アレハ仕様及入札法ヲ營業者ヘ示シ投票ヲナサシメ價格金五十圓以上ハ卿輔金五十圓未滿ハ局長及圖書局長ノ決ヲ經テ原稿ヲ下付シ約定書ヲ取り刷成ノ上ハ圖書局ヘ送付ス
 - 但別段ノ元濟アルモノハ本項ノ限ニアラス
 - 第九項 書籍購入方圖書局ヨリ照會アレハ本條第二項末段ニヨリ尙本條第一項末段ノ順序ヲ以テ購入ス尤海外出版ニ係ルモノハ内地商人若クハ在外公使館ヘ依頼購入ノ手續ヲ爲ス
 - 但保存ノ目的ヲ以テ購入スルモノハ金額ノ多寡ニ拘ハラズ卿輔ノ決ヲ經ルモノトス
 - 第十項 官報及新聞紙雜誌類ハ圖書局ノ通知ニ據リ購入ノ手續ヲ爲ス尤前金拂ノ分ハ收支課ヘ通知シ追テ配達結了ノ後本拂更訂方ヲ通知ス
 - 但本邦ノ分ハ需用各局ヘ海外ノ分ハ圖書局ヘ直ニ配賦ナサシム
 - 第十一項 電信郵便及運搬物取扱方ハ別ニ定メタル取扱心得書ニ據ル
 - 第十二項 總テ正貨ヲ支消スル場合ニ於テハ金額ノ多寡ニ拘ハラズ卿輔ノ決ヲ經ルモノトス
 - 第十三項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必ス備ヘ置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス
- 豫算差引簿
修繕品書留簿

諸物品買上代價比較簿 書籍購買書留簿

電信送致簿

第十三條 營繕掛

- 第一項 營繕起工ハ圖面及仕様書ヲ調製シ見積リ代價詳細取調一ト廉金千圓以上ハ太政官金百圓以上ハ卿輔金百圓未滿ハ局長ノ決判ヲ經ルモノトス
 - 但金十圓未滿ノ修繕ハ課長專決ス
 - 第二項 總テ營繕ハ汎ク投票ニ付シ起工スルモノトス
 - 但金十圓未滿ハ便宜處分スルヲ得
 - 第三項 投票ニ付スルモノハ注文書及圖面仕様書ヲ熟視セシメ本人及保證人連署ノ承諾書ヲ差出サセタル上投票ヲ爲サシム
 - 第四項 投票落札セシ者ヘハ請負約定證書ヘ圖面仕様書ヲ添ヘ之レニ本人及保證人二名以上ヲシテ調印ナサシメ局長ノ檢閱ニ供ス
 - 第五項 工事竣成ノ上ハ検査課立會局長ノ檢覽ヲ受クルモノトス
 - 但建築中廉増或ハ模様替等ニテ増費ヲ要スル時ハ其積書ヲ調査シ事由詳記ノ上本條第二項ニ準據ス
 - 第六項 工事竣成經費仕拂方受負人請求書檢印ノ上收支課ヘ回送ス
 - 但事業中内金渡請求アルハ検査課立會出來形調査ノ上本項ノ手續ヲ爲ス
 - 第七項 營繕費ハ收支課ヨリ通知ノ豫算額ニ超過スルヲ得ス
 - 第八項 不用建物資却ニ際シテハ局長ノ決ヲ經汎ク投票ニ付シ其金員事由ヲ收支課ヘ通知ス
 - 第九項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必ス備ヘ置クモノトシ其他ハ便宜ニ任ス
- 豫算差引簿
營繕件名簿
小修繕日計簿

第十四條 省中取締掛

- 第一項 巡視給仕小使ヲ監督シ毎月末給仕小使ノ出勤日數ヲ取調ヘ收支課ヘ通知ス
 - 第二項 廩事及廩掛馬丁ヲ監督シ毎月末馬丁ノ出勤日數ヲ取調收支課ヘ通知ス
 - 第三項 皇城竝宮內省門鑑ヲ保管シ之レカ渡方ヲ爲スニハ省中各員ハ其局課長檢印アル請取證書ト引換ニ交付シ府縣官其他ヨリ借用申出アルハ其請取書ニ局長檢印ヲ得テ渡方ヲ爲ス
 - 但臨時需用ノ分ハ豫メ期限ヲ定メ置キ期日ヲ經過返納ナキモノハ速ニ取立ヲ爲ス
 - 第四項 火災消防具ヲ保管シ平常巡視竝小使ヲシテ其使用ヲ熟練セシム
 - 第五項 失火アルハ遠近ニ拘ハラス火元取調若シ本省管轄ノ各所近火ト見留ルハ唧筒一臺竝相當ノ人員ヲ率ヒ現場ニ出張消防ニ從事ス
 - 但本掛差支ノ場合ニ於テハ巡視ノ内代理セシムルヲ得
 - 第六項 本省近火ノ節ハ巡視小使等ヲ率ヒ消防ニ盡力シ若シ延テ本省ニ及ヒ消防ノ力能ハスト見留ムルハ第一ニ文書燒燼ナキ様盡力ス
 - 第七項 閉省中直願強訴者アルハ閉省中タルノ旨ヲ以説諭退散セシメ其趣內局書記官及局長ヘ通報シ若シ退散ヲ肯セサル者アルハ其旨通報ス
 - 第八項 本掛ノ内一人閉省一時前出頭省中ヲ巡視シ午後九時再ヒ巡視鎖鑰等ヲ監視ス尤休日ハ午前一回午後例刻ニ到リ巡視ス
 - 第九項 拾得物ハ五日間巡視詰所前ヘ掲示シ落失人知レサルニ於テハ成規ニ據リ其筋ヘ届方ノ手續ヲ爲ス
 - 但拾得人ヘ處分ノ顛末ヲ通知ス
 - 第十項 紛失物ハ本人ヨリ其事由ヲ届出サセ取調ノ上其筋ヘ届方ノ手續ヲ爲ス
 - 第十一項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必備ヘ置モノトシ其他ハ便宜ニ任カス
- 皇城宮內省門鑑札帳 豫算差引簿

給仕出勤簿 小使出勤簿

給仕小使履歷帳 給仕小使進退通知簿

巡視門番當直簿 非常用具明細簿

第十五條 物件掛

- 第一項 本省所屬ノ用地家屋共詳細帳簿ニ記載シ別ニ繪圖面ヲ製シ之ヲ保管ス
 - 第二項 各局課ヘ交付濟ノ備品ハ詳細帳簿ニ記載シ置クモノトス
 - 第三項 物品ハ備品ト消耗品トニ拘ハラス渾テ受拂ヲ帳簿ニ記入ス
 - 但毎月末受拂表ヲ製シ局長ノ檢閱ニ供ス
 - 第四項 各局課ヨリ請求アル物品ノ內常用品ハ課長專決其他ハ局長ノ決ヲ得テ渡方ヲ爲ス
 - 但常用消耗品ハ木曜日ヲ以テ渡方ヲナス尤臨時請求ハ此限ニアラス
 - 第五項 不用ノ建物及備品類各局課ヨリ返納アリタルハ爾後使用ノ用途ナキモノハ賣却ノ手續ヲ爲ス
 - 第六項 各局課ヘ交付シタル備品ハ臨時現品ヲ臺帳ト照查ス
 - 第七項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必備ヘ置クモノトシ其他ハ便宜ニ任カス
- 備品明細簿 印影簿
物品受拂簿
- 文書課
第八章 文書課ハ會計ニ關スル規則ノ起案文書ノ編輯報告及各課ニ係ラサル事項ヲ掌リ擔任ヲ三掛ニ分チ左ノ條項ニ據テ其事務ヲ調理ス
- 第十六條 庶務掛
第一項 會計ニ關スル規則ノ廢立刪補等ノ文案ヲ起草シ裁決施行ニ當リ明治十五年六月第三十二

九年三月及十六年五月本省總公文書門記録表ノ部ニ載ス

- 號公達ノ手續ヲ爲ス
- 第二項 會計ニ關スル規則上ノ疑議ハ其官廳へ質問照會ノ文案ヲ起草シ説明ヲ得テ各課へ通報ス
- 第三項 會計規則上ニ就キ他廳ノ伺又ハ疑問ニ應シ辨明若クハ指令案等ヲ起草シ決議ノ後其時々會計検査院ニ通報ス
- 第四項 各課ノ主管ニ屬セサル事務ヲ調理ス
- 第五項 本掛事務取扱ノ爲メ帳簿ヲ設クルハ便宜ニ任カス
- 第十七條 報告掛
- 第一項 布告公達等ハ局長及各課へ頒布ス尤會計規則上ニ係ル通知等ハ警視廳土木局集治監へ通報ノ手續ヲ爲ス
- 但回達類ハ局内ノ回覽ニ付ス
- 第二項 本局事務功程要領書ヲ調製シ翌年一月十五日迄ニ圖書局へ回送ノ手續ヲ爲ス
- 第三項 年報書ハ明治九年三月本省達ニ照據編製シ內務卿へ上呈ノ手續ヲ爲ス
- 第四項 官報掲載ニ係ルモノハ明治十六年五月本省第七號達ニ據リ收調へ局長檢閱ノ上圖書局へ送付ス
- 第五項 本掛事務取扱ノ爲メ帳簿ヲ設クルハ便宜ニ任カス
- 第十八條 記録掛
- 第一項 本局諸回議ノ處分完結セシモノハ各課ヨリ之ヲ領收シ內局ノ決判ニ係ルモノハ往復課へ其他ハ圖書局へ送付ス
- 第二項 上申又ハ照會中ニ係ル回議書受付掛ヨリ送付セハ之ヲ留置指令又ハ回答書ヲ得テ其回議書共ニ主務課へ送致ス
- 第三項 第一項ノ諸回議牒本ヲ圖書局ヨリ回付セシキハ類別シテ之ヲ編輯ス
- 第四項 各局合議ノ回議ニシテ後日ノ参照ヲ要スルモノハ各課ヨリ回付ヲ俟テ牒寫編輯ス

會計局分課條規更定
十八年六月二十五日會計局總務條例ヲ定ム

- 第五項 布告布達其他官報等ハ悉ク之ヲ編纂ス
- 第六項 會計ニ關スル法規定例ハ局員處務上參照ノ爲メ別ニ彙輯ス
- 第七項 本局處務上參照ヲ要スル書籍類ハ其請求ヲ調査シ設備ノ手續ヲ爲ス
- 第八項 本局ノ諸簿書ハ其主務課ヨリ引渡ヲ受ケ之ヲ保管ス
- 第九項 上申往復書等ヲ淨書シ及ヒ局務整理上要用ノ書類ヲ牒寫ス
- 但他へ發遣スル文書ハ主任者ニ就キ校合ノ上其原書欄外ニ相互捺印シ計數ニ係ルモノハ更ニ主任者ヲシテ算査セシムルモノトス
- 第十項 他ニ發遣スル文書ハ原議ト共ニ受付掛へ送付ス
- 第十一項 本掛事務取扱ノ爲メ左ニ掲載ノ帳簿ハ必ス備置クモノトシ其他ハ便宜ニ任ス
- 回議件名簿
要再回議件名簿
- 回覽件名簿
保管書目錄
- 書籍出納簿
簿冊件名簿
- 圖書局送致簿
- 各出張所
- 第九章 府内外各出張所ハ別ニ定ムル處務順序ニヨリ其事務ヲ調理ス
- 會計局ヨリ內務省へ伺十六年八月日附
常局分課條規決裁ニ付處務順序別冊ノ通制定候條御一覽濟實施致度候也
- 會計局ヨリ各課へ達 十七年四月九日
- 本局分課條規更ニ別紙ノ通り制定相成候條此旨相達候事
- 會計分課條規
- 第一條 會計局ノ事務ヲ左ノ五課十一掛ニ分チ其整理ニ便ナラシム掛ハ便宜分
- 庶務課 書記掛 記録掛 受付掛

十七年四月十四日傳票掛
ヲ屬シ北事務ヲ收支掛ニ
付ス
十七年四月十四日附掛
寫シ北事務ヲ省中取締掛
ニ付ス

- 二 検査課
 - 三 主計課 收支掛 豫算掛 決算掛 傳票掛
 - 四 出納課
 - 五 用度課 調度掛 營繕掛 省中取締掛 廐掛
- 第二條 庶務課
 - 一 書記掛
 - 局印ノ管守、職員履歷、出勤簿、宿直割及ヒ局長ノ書記其他各課掛ニ屬セサル雜務ニ關スル事
 - 二 記録掛
 - 會計上ノ成規定例諸文書ノ編纂及保管年報書編製文書謄寫ノ事
 - 三 受付掛
 - 諸文書ノ授受廻達及往復書謄寫ノ事
- 第三條 検査課
 - 局中ノ發議各局ノ合議等總テ諸回議ヲ檢考算査シ諸規則ニ關スル疑問説明ノ文案ヲ起草シ諸營繕及ヒ諸投票ノ開札等ヲ臨檢シ諸課ノ事務淹滯スルヲ視察スル事
- 第四條 主計課
 - 一 收支掛
 - 一周歲ノ豫算額ヲ標準トシテ一切ノ費用ヲ處辨シ及ヒ收入金ノ受納豫算外臨時收支ニ係ル諸務ノ事
 - 二 豫算掛
 - 本省ノ收支豫算ニ關スル事
 - 三 決算掛
 - 收支ノ登記諸計表及ヒ決算帳、現計報告書等ニ關スル事

四 傳票掛

大藏省ヨリ領受若クハ納入ノ傳票ニ關スル事

第五條 出納課

總テ金錢ノ受渡及ヒ其登記計表調製ノ事

第六條 用度課

- 一 調度掛
 - 本省所要物品ノ購求、交付管理、不用物品ノ賣却及ヒ刊行物、電信郵便、運搬物ニ關スル事
 - 二 營繕掛
 - 諸廳舎ノ新築修繕等總テ工事ニ關スル事務及ヒ用地々券建物等管理ノ事
 - 三 省中取締掛
 - 取締ニ關スル諸務、巡視、門衛及ヒ給仕、小使ノ監督、火災、消防具ヲ保管スル事
 - 四 廐掛
 - 廐ニ關スル一切ノ事項ヲ管理スル事
- 第七條 各出張所事務ハ別ニ定ムル規則ニ據リ調理ス

會計局事務順序中改正
條項

會計局ヨリ各課ヘ達 十七年四月九日
今般本局分課條規改正候ニ付テハ處務順序中追テ加除改正ヲ加フヘク候得共先以テ左ノ廉々相達候條
餘ハ從前ノ通可被心得此旨相達候事
一 課長ハ課員ヲ董督シ事務整頓ニ就カシムルノ任アルヲ以テ自今別ニ督務掛ヲ置カス各課員モ亦其意
ヲ體シ澁滯錯雜ナキヲ務ムヘキ事
一 凡ソ諸廻議ハ擔當課掛員一同協戮ノ上失誤ナカラシムルヲ務ムヘキハ勿論ナレ其責任ノ所歸ヲ明ニ
セン爲メ今後ハ從前ノ如ク査閱者悉ク回議書ニ捺印スルヲ止メ課長若クハ課長心得(課長若クハ課

長心得不在ノハ其首席ノ者及立案者各一印ヲ押捺スヘキ事
一各課互ニ通報又ハ協議ニ係ル事務従前書面ヲ以テ往復スルトヲ止メ各課長若クハ主任者口頭ヲ以テ
親密協議事務輕便ニ相運ヒ候様注意スヘキ事

内務省ヨリ各局課へ達 十八年四月二十四日

本省刊行條例廢止候條更ニ左ノ通心得ヘシ此旨相達候事

圖書刊行手續

- 第一 圖書ヲ刊行セントスルハ其官廳若クハ民間ニ公ニ爲スヘキモノハ主務局會計局合議シテ卿ノ裁
決ヲ經ヘシ
- 第二 圖書ヲ刊行スルハ主務局其體式ヲ定メテ會計局刷刊ノ手續ヲ爲スヘシ
但裝釘等ハ實用ヲ主トシテ虛飾ヲ省クヲ要ス
- 第三 圖書ヲ刊行スルハ出版條例附則第三項ニ依リ届出各其三部ヲ納本スヘシ
- 第四 各局課編輯ノ圖書ヲ書肆ニ委付シ刷刊發賣セシメントスルハ第一項ノ手續ニ依リ其局課ニ於
テ之ヲ取扱フヘシ
但書肆ヲシテ無代價納本セシメ又ハ買上ヲ約スルモノ、外ハ會計局合評ヲ要セス
- 第五 各局課ニ於テ刊行ノ圖書ヲ官員又ハ書肆へ拂下クルハ其旨ヲ會計局へ通牒シテ該代金ハ拂受
人ヨリ直ニ同局へ納付セシムヘシ
- 第六 各局課ノ常務ニ屬シ隨時印刷ニ付スル諸公文稿案等ノ如キハ主務局課ニ於テ直ニ便宜印刷ニ付
シテ其旨ヲ會計局へ通牒スヘシ
但卿又ハ内務書記官名ヲ以テ發付スル達訓示通牒書等ハ其時々會計局へ通牒スルヲ要セス
- 第七 諸公文書及秘密ニ係ルモノハ印刷局ニ付スヘシ

會計局圖書刊行事務ヲ
管シ刊行手續ヲ定ム
刊行事務ハ初メ圖書局ノ
所管タリ此ニ至リ會計局
之ヲ管ス從前ノ刊行條例
ハ文書門記録表ノ部ニ
載ス

會計局處務條例
十九年一月十六日處務條
例ヲ改ム

内務省處務條例節錄 十八年六月二十五日(全文ハ内務)

會計局

長 一人

次長 一人

第一部 長 一人

課僚 若干員

一 本省ノ收入經費豫算並決算ノ事

一 本省管理ニ屬スル廳府縣諸費ノ豫算並決算ノ事

一 金錢出納ノ事

一 出納検査ノ事

第二部

長 一人

課僚 若干員

一 本省使用品買上並不用品拂下ノ事

一 本省所轄地並建物保管ノ事

一 本省所屬官舎建築修繕ノ事

一 省中取締ノ事

會計局ヨリ各課へ通達 十八年六月二十五日

今般省中局課廢置ニ付テハ會計局之儀ハ別紙ノ通被定候條此旨通達候事

會計局分課
十九年二月初令第二號ヲ
以テ官制ヲ定メ其四月九

會計局

局長

庶務課長

第一部長

、課長

、課長

第二部長

、課長

、課長

第一部

一 本省ノ收入經費豫算並決算ノ事

一 本省管理ニ屬スル廳府縣諸費ノ豫算並決算ノ事

一 金錢出納ノ事

一出納検査ノ事

第二部

一 本省使用品買上並不用品拂下ノ事

一 本省所轄地並建物保管ノ事

一 本省所屬官舎建築修繕ノ事

一 省中取締ノ事

會計局

庶務課

書記編纂受付ノ事

第一部

主計課

一 本省ノ收入經費豫算並決算ノ事

一 本省管理ニ屬スル廳府縣諸費ノ豫算並決算ノ事

一出納検査ノ事

收支課

一金錢出納ノ事

出納ノ議案ヲ起シ納拂ノ證票ヲ發ス

第二部

用度課

一 本省使用品買上並不用品拂下ノ事

一 本省所轄地並建物保管ノ事

一 省中取締ノ事

營繕課

一 本省所屬官舎建築修繕ノ事

會計局ヨリ各部課ヘ達 十八年六月二十五日

本局分課別紙ノ通相定メ候條此旨相達候事

但年度分界ニ際シ別テ繁忙ニ付従前ノ通事務取扱遅々無之様注意可致事

第一部

主計課

會計局分課事務
十九年二月勅令第二號ヲ
以テ官制ヲ定メ其四月九
日國務規程ヲ定ム

- 一 本省並所管ノ收入經費豫算ヲ調製スル事
- 一 租稅明細書及稅表ヲ調製スル事
- 一 本省經費豫算決定額ヲ內務卿ヨリ各部局ヘ達ノ文案ヲ起草スル事
- 一 所管收入經費警察費土木費ヲ除ク豫算決定額ヲ內務卿ヨリ各廳ヘ達ノ文案ヲ起草スル事
- 一 租稅雜收入納付期限場所仕譯書ヲ調製スル事
- 一 諸經費各地送金場所仕譯書ヲ調製スル事
- 一 諸經費豫算上警察費土木費ヲ除ク臨時増減ヲ要スルハ稟候ノ議案ヲ起草スル事
- 一 收入豫算増減報告書ヲ調製スル事
- 一 經費豫算上警察費小科目以上ノ流用ヲ要スルハ照會據世定額ハ報告及指令出張所案ヲ起草スル事
- 一 本省經費豫算ニ對シ毎三月實費仕拂ノ計算書ヲ調製スル事
- 一 毎日計算帳ヲ調製スル事
- 一 毎月二回資金表ヲ調製スル事
- 一 毎月收支現計書報告書ヲ調製スル事
- 一 經費据置定額仕拂殘金ヲ翌年度ヘ併算スヘキハ其處分並上申通知等ノ文案ヲ起草スル事
- 一 太政官ノ特裁ヲ得タル營繕費年度後ニ於テ支用ヲ要スルハ大藏省ヘ承認ノ照會案ヲ起草スル事
- 一 出納閉鎖ノ期ニ際シ決算ニ至リ難キモノアルハ操越決算ノ開申案ヲ草スル事
- 一 收入經費ノ決算上ニ要スル諸證書ヲ調理スル事
- 一 本省並所管ノ收入經費諸決算帳ヲ調製スル事
- 一 本省並所管ノ收入經費ノ認可狀ヲ計算ニ照查シ決算完了スルハ內務卿ヘ申白ノ文案ヲ草スル事
- 一 本省並所管收入經費決算ノ報告書ヲ調製スル事
- 一 會計ノ豫算決算ニ關スル一切ノ記簿ヲ調理スル事
- 一 會計ニ關スル定例成規ノ廢立刪補等ノ文案ヲ起草スル事

- 一 總テ會計ニ關スル諸議冊ヲ查閱スル事
 - 一 但本局第二部ニ於テ豫算額中通常ノ物品購入方ニ係ル議冊ハ其代金仕拂ノ時ニ於テ之レヲ照校ス
 - 一 會計ニ關スル法規ノ疑條ニ就キ指令辨明照會等ノ議案ヲ起草スル事
 - 一 左ニ提揭スル條件ハ臨時其實際ノ狀況ヲ視察スルヲアルヘシ
 - 一 營繕起工ニ方リ投票開札ノ時
 - 一 同上歩通り落成内金渡ニ方リ其建築ノ實況
 - 一 新營繕繕落成ノ時
 - 一 地所建物購入ノ時
 - 一 諸物品購買ノ投票開札ノ時
 - 一 不用物品賣却投票開札ノ時
 - 一 左ノ四項ハ特ニ局長ノ指揮ニ依リ臨時委員ヲ設ケテ之ヲ執行ス
 - 一 本省收入經費決算ノ内譯ヲ精査スル爲メ證書ヲ調理スルニ從ヒ一箇年度ヲ二回若クハ三回ニ分チ之ヲ檢査スル事
 - 一 本局各部各課ノ金錢物品受拂ノ記簿及物品現在高ヲ檢査スル事
 - 一 毎年一回若クハ數回府内各出張所會計ノ實況ヲ檢査スル事
 - 一 所管ノ經費收入ニ關シ各廳ニ就キ收支ノ實況ヲ查閱スル事
- 收支課
- 一 本省並所管ノ收入經費一切ノ傳票案ヲ起草スル事
 - 一 本省並所管ノ收入經費等一切ノ出納廻議ヲ起草スル事
 - 一 會計主務ノ憑書ニ依リ金錢ノ出納ヲ執行スル事
 - 一 收入支出ニ對スル一切ノ證書ヲ授受スル事
 - 一 現在金日表ヲ調製スル事

- 一 大藏省出納局現金收支ノ決算書ヲ照査スル事
 - 一 本省並所管經費請求ノ仕譯書ヲ調製スル事
 - 一 前年度租稅雜收入納未納明細書ヲ調製スル事
 - 一 所管經費ノ豫算額ニ基キ増減流用ヲ追調スル事
 - 一 假出繰換臨時寄託金ノ部門ヲ分テ毎三月一廉限リ金員事由ヲ明載スル仕譯書ヲ調製スル事
 - 一 年度末ニ於テ未タ收支ノ順序ニ至ラサルモノ有ルハ每廉金員事由ヲ悉シ翌月十五日迄ニ明細仕譯書ヲ調製スル事
 - 一 所管收入經費ノ決算帳ヲ其納入交付ノ原額ニ照査スル事
 - 一 諸給與並出納上ニ關スル議冊ヲ查閱スル事
 - 一 收入支出ノ原據トナルヘキ諸件ヲ鈔錄追調スル事
- 會計局分課事務取扱項目

庶務課

- 一 局長ノ命ヲ受ケ機密文書ノ取扱及ヒ起草ヲナス事
- 一 本局ノ官印ヲ管守スル事
- 一 局員ノ職務ニ關スル事及ヒ一身上ニ關スル願何屆等ノ取扱ヲナス事
- 一 局員ノ履歷印鑑簿及ヒ職員錄ヲ編製シ宿直ノ順序ヲ定ムル事
- 一 出勤簿ヲ保管シ出勤日數調ヲナス事
- 一 諸文書ノ編纂規則書ノ類集書籍冊ノ保管ヲナス事
- 一 年報及ヒ報告ヲ編製スル事
- 一 諸文書ノ淨寫ヲナス事
- 一 諸公文ノ授受及回達ヲナス事
- 一 各部課ノ主管ニ屬セサル事務取扱ノ事

第二部

用度課

- 一 物品購入ノ事
 - 一 書籍官報新聞紙雜誌類購入ノ事
 - 一 刊行物取扱ノ事
 - 一 船車人足諸職工雇入ノ事
 - 一 内外國人饗應取扱ノ事
 - 一 不用品拂下ノ事
 - 一 用度ニ係ル費用豫算差引簿ノ事
 - 一 豫算差引月計年計表調製ノ事
 - 一 電信郵便運搬取扱ノ事
 - 一 電信郵便切手受拂簿差引ノ事
 - 一 物品保存ノ事
 - 一 物品交付ノ事
 - 一 物品出納簿記入ノ事
 - 一 倉庫毎日常有高表調製ノ事
 - 一 物品出納月計年計表調製ノ事
 - 一 省中取締ノ事
 - 一 廐ノ事
 - 一 巡視廐掛給仕小使馬丁車夫監督ノ事
- 營繕課
- 一 本省所管用地建物保管ノ事

- 一 用地建物購入及賣却ノ事
- 一 建築目論見仕樣圖面等調製ノ事
- 一 豫算差引月計及年計表調製ノ事
- 一 本課中ノ雜務取扱ノ事
- 一 現場監督ノ事

內務省處務條例節錄 十九年一月十六日(全文ハ內務省一三號ス)

會計局處務條例
十九年二月勅令第二號ヲ以テ官制ヲ定ム

會計局

長 一人 次長 一人

主計課

長 一人 課僚 若干員

- 一 本省ノ收入經費豫算並決算ノ事
- 一 本省管理ニ屬スル廳府縣諸費ノ豫算並決算ノ事
- 一 金錢出納ノ事
- 一 出納検査ノ事
- 一 用度課

- 長 一人 課僚 若干員
- 一 本省需用品ノ供給並不用品拂下ノ事
- 一 本省所轄地並建物保管ノ事
- 一 本省所屬官舎建築修繕ノ事
- 一 省中取締ノ事

主計課事務分掌

十九年二月勅令第二號ヲ以テ官制ヲ定ム其四月九日處務規程ヲ定ム

主計課事務分掌 十九年一月十九日假定

- 一 歲入出豫算書調製
- 一 臨時委員ヲ設ケ之ヲ調理ス
- 一 豫算増減流用
- 一 諸經費各地送金場所仕譯書調製
- 一 收入豫算増減報告書調製
- 一 据置定額仕拂殘翌年度へ併算處分
- 一 會計ニ關スル疑條辯明
- 一 投票開札並建築ノ實況地所建物購入方等ノ視察
- 右
 - 一 日計表調製
 - 一 收支現計書調製
 - 一 諸證書調理
 - 一 決算報告書調製
 - 右
 - 一 收支同議仕出
 - 一 切符調製
 - 一 現金受拂簿記入
- 一 租稅雜收入納付期限場所仕譯書調製
- 一 本省經費豫算ニ對シ每三月實費支拂計算書調製
- 一 豫算並現金差引
- 一 出納閉鎖ニ際シ未決算處分
- 一 諸回議檢案
- 一 三ツ切切符照校
- 一 資金表調製
- 一 同上報告書調製
- 一 諸決算帳調製
- 一 記簿
- 一 所管經費受拂
- 一 現在金日表

用度課分科 十九年一月十九日

一 物品購買

一 諸職工人足船車備入

用度課分科
十九年二月勅令第二號ヲ以テ官制ヲ定ム